

# **StorageTek Virtual Storage Manager GUI**

ユーザーズガイド

Release 1.0

**E72369-01**

**2016 年 1 月**

---

## StorageTek Virtual Storage Manager GUI ユーザーズガイド

E72369-01

Copyright © 2016, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

**U.S. GOVERNMENT END USERS:** Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporation およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Java はオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

---

# 目次

---

はじめに .....	9
対象読者 .....	9
ドキュメントのアクセシビリティについて .....	9
表記規則 .....	9
<b>1. 概要 .....</b>	<b>11</b>
<b>2. インストールおよび構成 .....</b>	<b>13</b>
製品配布媒体 .....	13
VM リソースの要件 .....	13
VM ソフトウェアのバージョン .....	13
VM システムの OS/ソフトウェアスタックの詳細 .....	14
VSM GUI ソフトウェアのダウンロード .....	14
VMware 環境用の VM システムの配備 .....	15
VM システムの構成 .....	17
VSM GUI のサイト固有の初期構成 .....	20
サイト構成タスク .....	20
必要なサイトデータ .....	21
VSM GUI ユーザー名とユーザーロールの定義 .....	21
サイトの構成手順 .....	22
データ取り込みプロセスの開始 .....	23
VSM GUI へのアクセス .....	23
<b>3. はじめに .....</b>	<b>25</b>
VSM GUI へのログイン .....	25
アクセシビリティ設定 .....	25
ユーザーロール .....	26
ログオフ .....	27

VSM GUI ダッシュボード .....	27
VSM GUI ナビゲーションツリー .....	28
Status .....	28
Display .....	29
Management .....	30
Administration .....	30
<b>4. 「Status」メニュー .....</b>	<b>31</b>
Dashboard .....	31
Status .....	32
VTV Counts .....	36
Free MVCs .....	38
Free MVCs: MVC Pools .....	38
Free MVCs: Media .....	39
MVCs in Error .....	40
MVCs in Error: MVC Pools .....	41
MVCs in Error: Media .....	41
Active Processes .....	42
プロセスの取り消し .....	47
Queued Processes .....	47
プロセスの取り消し .....	53
Tasks .....	53
<b>5. 「Display」メニュー .....</b>	<b>57</b>
Display CLINK .....	57
Cluster Links (CLINKS) .....	58
CLINK Status .....	61
CLINK Usage .....	63
Display Cluster .....	64
Clusters .....	64
CLINKs for Cluster .....	68
Display Configuration .....	71

Display Drive .....	74
Drives (RTDs and vRTDs) .....	75
Paths to Drive .....	79
Drive Status .....	82
Drive Allocation .....	83
Drive Requests Queued .....	84
Display MVC .....	86
Multi-Volume Cartridges (MVCs) .....	86
VTVs on MVC .....	92
MVC States .....	97
MVC Space Usage .....	98
Display MVC Pool .....	99
Multi-Volume Cartridge (MVC) Pools .....	100
MVCs in MVC Pool .....	103
MVC States in MVC Pool .....	109
Volumes in MVC Pool .....	111
Sizes in MVC Pool .....	112
Display VLE .....	113
Virtual Library Extension (VLE) .....	114
Drives (vRTDs) for VLE .....	116
Display VTD .....	119
Virtual Tape Drives (VTDs) .....	120
Hosts for VTD .....	122
VTD Status .....	125
VTD Usage .....	127
Display VTSS .....	128
Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS) .....	129
CLINKs for VTSS .....	132
Clusters for VTSS .....	135
Drive Paths for VTSS .....	139
Features for VTSS .....	141
Hosts for VTSS .....	143

VTDs in VTSS .....	145
DBU Percentage for VTSS .....	147
Display VTV .....	148
Virtual Tape Volumes (VTVs) .....	149
MVCs Containing VTV .....	153
VTV States .....	159
VTV Compression .....	161
VTV Counts .....	162
<b>6. 「Management」 メニュー .....</b>	<b>165</b>
Command Log .....	165
Audit Output .....	167
Exceptions .....	169
MVC Results .....	171
Tapeplex Results .....	173
VTVs Moved .....	174
VTV Results .....	176
Electronic Exports .....	178
Vary Output .....	179
Cancelled Processes .....	180
Audit .....	184
Audit by MVC .....	185
Audit by VTSS .....	188
MVC Drain .....	190
Drain by MVC .....	191
Drain by MVC Pool .....	195
Drain by Storage Class .....	197
Reclaim .....	198
Reclaim by All MVCs .....	199
Reclaim by MVC .....	200
Reclaim by MVC Pool .....	204
Reclaim by Storage Class .....	205

Reclaim by ACS .....	207
Reconcile .....	208
Reconcile by All MVCs .....	209
すべての MVC 内のすべての VTV を調整する .....	209
すべての MVC 内の選択した VTV を調整する .....	210
すべての MVC 内の管理クラスによって調整する .....	214
Reconcile by MVC .....	216
選択した MVC 内のすべての VTV を調整する .....	219
選択した MVC 内の選択した VTV を調整する .....	220
選択した MVC 内の管理クラスによって調整する .....	223
Reconcile by Storage Class .....	225
選択したストレージクラス内のすべての VTV を調整する .....	227
選択したストレージクラス内の選択した VTV を調整する .....	228
選択したストレージクラス内の管理クラスによって調整する .....	231
Vary .....	233
Vary by CLINK .....	234
Vary by RTD .....	234
Vary by VTSS .....	236
<b>7. 「Administration」メニュー .....</b>	<b>237</b>
Site Configuration .....	237
Configure Supported Tapeplexes .....	239
Create/Edit Tapeplex .....	240
新規 TapePlex の追加 .....	241
Tapeplex の編集 .....	241
Tapeplex の削除 .....	242
Create/Edit Host Data for Tapeplex .....	243
新規ホストの追加 .....	243
ホストの編集 .....	244
ホストの削除 .....	245
アプリケーションユーザーの構成 .....	246
Create/Edit User Information .....	246

ユーザーの作成 .....	247
ユーザーの編集 .....	248
ユーザーの削除 .....	248
Create/Edit User Roles for User .....	249
ユーザーロールエントリの作成 .....	250
ユーザーロールエントリの編集 .....	250
ユーザーロールエントリの削除 .....	251
Configure Alert Levels .....	251
Create/Edit Tapeplex Alert Levels .....	252
TapePlex の新規 VTSS Critical Level アラートの追加 .....	253
TapePlex の VTSS Critical Level アラートの編集 .....	253
TapePlex のアラートの取り消し .....	253
Create/Edit Alert Levels for VTSS .....	254
TapePlex の新規 VTSS アラートの追加 .....	255
VTSS アラートの編集 .....	256
VTSS アラートの取り消し .....	256
デフォルト構成プロパティの編集 .....	257
構成プロパティの編集 .....	258
サイト構成のサマリーの確認 .....	258
アプリケーションログ .....	259
データベース更新ログ .....	261
データベース更新ログのデータ表 .....	261
データベース更新のエラー .....	263
<b>A. フィルタの使用 .....</b>	<b>267</b>
<b>B. 問題の報告 .....</b>	<b>271</b>
<b>索引 .....</b>	<b>273</b>

# はじめに

---

このガイドでは、Oracle の StorageTek VSM GUI ソフトウェアについて説明します。VSM GUI には、VSM 環境での VTCS コマンドとユーティリティーに対するポイント&クリックの代替方法が用意されています。

## 対象読者

このドキュメントは、VSM GUI をインストール、構成、および使用する管理者とアナリストを対象としています。

## ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>) を参照してください。

### Oracle Support へのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>) を参照してください。

## 表記規則

このマニュアルでは次の表記規則を使用します。

表記規則	意味
太字	太字は、アクションに関連付けられたグラフィカルユーザーインターフェースの要素、またはテキストや用語集で定義される用語を示します。
斜体	斜体は、マニュアルタイトル、強調、または特定の値を指定するプレースホルダ変数を示します。
モノスペース	モノスペースは、段落内のコマンド、URL、例のコード、画面に表示されるテキスト、またはユーザーが入力するテキストを示します。



## 第1章 概要

### ようこそ

Oracle の StorageTek Virtual Storage Manager グラフィカルユーザーインターフェース (VSM GUI) には、仮想テープ制御ソフトウェア (VTCS) 管理への Web ベースのインターフェースと、StorageTek VSM ライブラリ製品のレポート作成コマンドが用意されています。

VSM GUI は、サイトの VM サーバー上の VMware 環境で実行するために仮想マシンとしてパッケージされており、VSM 関連データを収集、表示、および報告して、さらに Enterprise Library System (ELS) ソフトウェアに直接コマンド要求を発行するためにメインフレームホストシステムで SMC と通信します。

VSM GUI ユーザーインターフェースでは、VTCS コマンドへの直感的なアクセスをサポートするコンテキスト依存表示が提供されます。選択したオブジェクトに固有の追加情報を表示するために使用される動的なタブを備えた、グラフィカルレポートと表形式レポートが用意されています。



---

---

## 第2章 インストールおよび構成

この章では、VSM GUI ソフトウェアをインストールおよび構成する方法について説明します。

### 製品配布媒体

VSM GUI Web アプリケーションは、仮想マシン (VM) を使用して配布されます。VM 環境には、VSM GUI にアクセスするために必要なオペレーティングシステムおよびソフトウェアスタックが含まれています。VM をサイトの VMware 環境に取り込みます。配布のタイプは Open Virtualization Format (OVA) です。

### VM リソースの要件

最適な VSM GUI アプリケーションパフォーマンスのためには、次の最小リソースが製品 VM に割り当てられている必要があります。

- 32G バイトのメモリー
- 80G バイトの仮想ディスク領域
- 4 CPU

### VM ソフトウェアのバージョン

VSM GUI アプリケーション用の VM は、次の VM 環境で動作します。

VMware:

- VMware ESXi: 5.1.0、ビルド 1483097
- vSphere Client: 5.1.0、ビルド 1471691

---

**注記:**

VM サーバーの CPU の要件を満たしている ESXi バージョンを使用します。

---

## VM システムの OS/ソフトウェアスタックの詳細

VSM GUI アプリケーションをサポートするためにインストールおよび構成されるサードパーティソフトウェアコンポーネントは次のとおりです。

オペレーティングシステム: Oracle Linux 6.7

- ホスト名: vsmguisvr
- ユーザー: vsmgui (顧客アクセスのみ)
- ユーザー: oracle

Web サーバー: Weblogic 12.1.3

データベース: Oracle Database 12c リリース 12.1.0.1.0 - 64 ビット本番

## VSM GUI ソフトウェアのダウンロード

1. 次の URL の Oracle Software Delivery Cloud Web サイトにアクセスします。

`http://edelivery.oracle.com/`

2. サインインし、輸出規制契約に同意します。
3. 「Product」検索ボックスで StorageTek VSM GUI ソフトウェアを見つけ、Linux x86-64 プラットフォームを選択します。「Selected Products」ボックスで正しい製品およびプラットフォームを選択したら、「**Continue**」をクリックします。
4. 製品の使用可能なバージョンが表示され、現在のリリースが事前選択されます。これが正しい場合は、「**続行**」をクリックします。
5. ライセンス契約の条件を確認して受け入れ、「**続行**」をクリックします。
6. ダウンロードするファイルが表示されたら、「**Download All**」をクリックします。
7. ファイルがダウンロードされたら、md5sum ユーティリティを使用して、ダウンロードしたファイルを検証します。
  - UNIX/LINUX システムで、次のコマンドを使用します。

```
md5sum -c VSMGUI_file_parts.md5sum
```

- Windows システムでは、Microsoft がこのためにダウンロードできる Microsoft File Checksum Integrity Verifier (fciv.exe) を提供しています。

ファイルを個別に検証する必要がある場合、md5sum ファイルは ASCII テキストです。

8. ファイルの一部である .ova を結合して、完全な .ova ファイルを作成します。
  - UNIX/LINUX システムで、次のコマンドを使用します。

```
cat VSMGUI_n.ova.a* > VSMGUI_n.ova
```

ここで、*n* はファイル名内のバージョン番号 (1.2.3.00.000 など) です。

- Windows システムで、DOS ウィンドウから提供されているバッチファイル `cat_parts.bat` を実行します。
9. md5sum ユーティリティーを使用して、完全な .ova ファイルが正しいことを検証します。
    - UNIX/LINUX システムで、次のコマンドを使用します。

```
md5sum -c VSMGUI_n.ova.md5sum
```

ここで、*n* はファイル名内のバージョン番号 (1.2.3.00.000 など) です。

- Windows システムでは、Microsoft がこのためにダウンロードできる Microsoft File Checksum Integrity Verifier (fciv.exe) を提供しています。

チェックサムを手動で比較する必要がある場合、md5sum ファイルは ASCII テキストです。

10. 続行する前に、このリリースの VSM GUI リリースノートを確認します。

## VMware 環境用の VM システムの配備

1. Windows PC またはサーバーで、VMware vSphere Client ソフトウェアバージョン 5.1.0、ビルド 1471691 をインストールします。
2. VMware vSphere Client を起動し、インストール時に作成された資格証明を使用してログインします。

証明書に対してセキュリティーの警告が表示されることがあります。その場合は、「**Ignore**」をクリックします。

3. オプション: 以前の OVA インストールからの VM 構成を保存します。これが以前の OVA インストールおよび構成に対するアップグレードの場合は、次の手順を実行します。

- a. 現在のサイト構成を保存します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./siteConfigCopy.sh save
```

- b. サイト構成および LDAP 構成を PC またはサーバーにバックアップします。

```
/opt/Oracle/Middleware/Oracle_Home/user_projects/domains/vsmgui/config/  
config.xml
```

```
/home/vsmgui/siteConfigData.sql
```

4. 「**File**」メニューの「**Deploy OVF Template**」を選択して、VSMGUI\_n.ova ファイルを使用して VM を配備します。

---

**注記:**

これがクライアントソフトウェアをはじめて実行しているのであれば、「**Home**」画面が最初に表示されることがあります。その場合は、「**Inventory**」アイコンをクリックし、上記の指示に従って OVF テンプレートを配備します。

---

5. 次のように「Deploy OVF」ウィザードのプロンプトに従います。
  - a. 「**Source**」: VSMGUI\_n.ova ファイルを参照して、ソースの場所を選択します。次に、「**Next**」をクリックします。
  - b. 「**OVF Template Details**」: 「**Next**」をクリックして続行します。
  - c. 「**Name and Location**」: 配備されるテンプレートの名前および場所を入力します。これは、VM のタイプとバージョン番号 (たとえば、VSM\_GUI\_1.2.3.00.000) を知らせる名前にするべきです。次に、「**Next**」をクリックします。
  - d. 「**Storage**」: この VM のデータストレージを選択します。次に、「**Next**」をクリックします。
  - e. 「**Disk Format**」: 「**Thick Provision Eager Zeroed**」を選択します。次に、「**Next**」をクリックします。
  - f. 「**Network Mapping**」: ネットワークインベントリからソースネットワークを選択します。次に、「**Next**」をクリックします。
  - g. 「**Ready to Complete**」: 配備設定が表示され、これらが使用するオプションであるかどうか確認されます。

正しくない場合は、「**Back**」をクリックし、設定を修正します。

正しい場合は、「**Power On After Deployment**」を選択します。次に、「**Finish**」をクリックします。

## VM システムの構成

1. 新しい VM にアクセスします。
  - a. 仮想マシンの左側ペインのリストで新しい VSM GUI VM を選択します。
  - b. メインの右ペインで「**Console**」タブを選択します。デスクトップログインを表示するために「コンソール」画面のクリックが必要になることがあります。
  - c. Linux デスクトップにログインします。

ユーザー名: **vsmgui**

パスワード: **vsm6admin**

2. コマンド端末を開き、Linux/システム構成を実行します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./vsmGui_config.sh
```

3. すべての構成プロンプトを完了します。
  - a. 「**Would you like to configure/re-configure Network?**」で、「**y**」を選択します。
  - b. 「**Select Action**」で、「**Device Configuration**」を選択し、**Enter** キーを押します。
  - c. 「**Select a Device**」で、「**eth0**」を選択し、**Enter** キーを押します。
  - d. 「**Network Configuration**」で、サイト用のネットワーク構成データを入力します。

「Name」: eth0 または 「Device」: eth0 は変更しません。

「Use DHCP [\*]」で、スペースバーを使用して DHCP をクリアします。

静的 IP、ネットマスク、デフォルトゲートウェイ IP、およびオプションでプライマリとセカンダリの DNS サーバーを入力します。

「**OK**」を選択してデバイス構成を完了し、「**Save**」を選択して保存します。

- e. DNS 構成を入力します。この手順はオプションです。DNS の構成は、VSM GUI アプリケーションの使用には直接影響を与えません。

「**DNS Configuration**」を選択し、プライマリ DNS サーバー、および使用可能な場合はセカンダリとターシャリ DNS サーバーの IP アドレス、および DNS 検索パス (mycompany.com.など) を入力します。「**Hostname**」: vsmguisvr は変更しません。

「**OK**」を選択して DNS 構成を完了し、「**Save&Quit**」を選択して保存し、「**Network Configuration**」を終了します。

- f. タイムゾーンおよび NTP サーバー構成のプロンプトを完了します。
4. オペレーティングシステムは、構成スクリプトの完了時にリブートします。完了後、スクリプトが代わりにプロンプトに戻る場合は、次のようにリブートします。

```
$ sudo shutdown -r now
```

5. システムのリブート後に、コマンド端末を開き、Oracle Database サービスを起動します。

```
$ su - oracle (password = vsm6sqladm!)
```

```
$ sqlplus /nolog
```

```
SQL> connect sys as sysdba; (password = vsm6sqladm)
```

```
SQL> startup;
```

```
SQL> quit
```

```
$ lsnrctl start
```

```
$ exit
```

6. データベースを設定します。ユーザー: vsmgui として次のコマンドを入力します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./vsmGui_import.sh
```

7. VSM GUI 管理者になる既存の LDAP ユーザーを追加します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./vsmGui_user.sh
```

8. オプション: 以前の OVA インストールから VM 構成を復元します。

これが以前の OVA インストールに対するアップグレードであり、VM システム配備時に構成ファイルをバックアップしてある場合は、次の手順を実行します。

- a. siteConfigData.sql を /home/vsmgui にコピーします
- b. config.xml を /opt/Oracle/Middleware/Oracle\_Home/user\_projects/domains/vsmgui/config/config.xml にコピーします
- c. 次を実行して、サイト構成を復元します。

```
$ cd /opt/vsmgui/scripts
```

```
$ ./siteConfigCopy.sh restore
```

9. Oracle Database がオンラインの状態で、Weblogic サービスを起動します。

```
$ sudo service weblogicd start
```

コマンドは、起動時に端末に直接出力します。プロンプトが返されたあと、ステータスは次のコマンドを使用して検証することもできます。

```
$ sudo service weblogicd status
```

10. 認証のために LDAP サーバーにアクセスするように Weblogic を構成します。

Open LDAP または Microsoft Active Services を構成する方法については、リリースノートを参照してください。

11. LDAP 構成が完了したあとで Weblogic を再起動します。

```
$ sudo service weblogicd stop
```

```
$ sudo service weblogicd start
```

## VSM GUI のサイト固有の初期構成

初期の VSM GUI インストールプロセスの一部としてサイト構成が必要です。

---

**注記:**

サイト構成の値を追加または変更する前に、Ingest を無効化する必要があります。

---

サイト構成では、VSM GUI が正しく動作するために必要なローカルサイト固有の情報  
を定義します。

この情報には、データの収集元になる一連の TapePlex、各 TapePlex に接続された一連の  
ホスト、VSM GUI がサポートおよび表示するさまざまなアラート条件の値が含まれます。

さらに、サイト構成では、LDAP ディレクトリ内で VSM GUI にアクセスできるユーザー、  
およびユーザーごとに各 TapePlex で許可されるアクセスのタイプを定義します。

### サイト構成タスク

サイト構成タスクには次のものが含まれます。

- サポートされている TapePlex ごとに、TapePlex 名、およびログファイルメッセージの重要度レベルを指定します
- TapePlex ごとに、すべての VTV と初期化された VTV だけのどちらのデータを収集するの  
かを決定します
- 各 TapePlex に対して、接続されたホストごとの接続の詳細を提供します
- 各 TapePlex 用に定義されている少なくとも 1 つの HTTP サーバーが存在すること  
を確認します。VSM GUI では、定義されている HTTP サーバーからのデータを収集し、  
データを表示することのみできます。
- 構成されているホストごとに VSM GUI によってサポートされている ELS のバージョン  
を実行することを確認します
- VSM GUI にアクセスできる LDAP ユーザー名を指定します。オプションで、電子  
メールアドレスを指定します。
- 各 TapePlex 上の各ユーザーにユーザーロールを割り当てます。ユーザーロールは  
使用可能な VSM GUI ページのセットを定義します。ユーザーが TapePlex にア  
クセスできない場合は、そのユーザーはその TapePlex のデータを参照できません。

- 各 TapePlex のアラートレベルを定義します
- 各 TapePlex 内の VTSS、および各 VTSS のアラートレベルを定義します
- デフォルトのデータベース更新構成を必要に応じて変更できます。サイトのホストサイクル時間およびバッチレコードサイズを微調整するために、いくつかのサイト構成プロパティーが編集可能です。

## 必要なサイトデータ

サイト構成を実行する前に、次の情報を収集する必要があります。

- データが収集される TapePlex 名のリスト
- TapePlex ごとに、接続されたホストのリスト
- TapePlex ごとに、接続された VTSS のリスト
- 接続されたホストごとに、ホスト名または IP アドレス、SMC HTTP サーバーのポート番号、SMC サブシステム名、ELS サブシステム名、および ELS のバージョン
- VSM GUI へのアクセスが許可される LDAP ユーザー名のリスト
- LDAP ユーザー名ごとに、アクセスできる TapePlex の名前
- LDAP ユーザー名ごとに、アクセスできる各 TapePlex におけるユーザーロール

## VSM GUI ユーザー名とユーザーロールの定義

VSM ユーザーは、サイトの LDAP ディレクトリ内にある任意のユーザー名にできます。VSM GUI のユーザー名およびログインパスワードは、ユーザーの LDAP ログインおよびパスワードと同じです。

ユーザーがアクセスを許可されている各 TapePlex について、その TapePlex に対してユーザーに許可される VSM GUI へのアクセスのレベルを管理するユーザーロールが割り当てられます。

3つのユーザーロールがあります。

- **VsmViewer:** 「Status」および「Display」タブにのみアクセスでき、コンテキストメニュー、または指定された TapePlex の「Management」および「Administration」タブにはアクセスできません
- **VsmOperator:** 指定された TapePlex の「Status」、「Display」、「Management」、および「Administration」タブにアクセスできます (「Site Configuration」および「Download Logs」オプションを除く)

- **VsmGuiAdmin**: すべての TapePlex の「Status」、「Display」、および「Administration」タブにアクセスできます (コンテキストメニューへのアクセスを除く)

LDAP ユーザーは、「[VM システムの構成](#)」で最初の VSM GUI ユーザーとして識別されました。このユーザーのロールは **VsmGuiAdmin** です。このユーザーとしてログインし、サイトの初期構成を実行します。

## サイトの構成手順

VSM GUI のサイト構成手順は「**Administration**」メニューにあります。手順は、サイト構成プロセスの手順を示す、複数ページの Site Configuration Wizard の形式です。

---

### 注記:

Site Configuration Wizard の各データ入力フィールドの詳細は、7章「[Administration](#)」メニュー」を参照してください。

---

サイト構成を実行するには:

1. 「[VM システムの構成](#)」で VSM GUI に対して定義した静的ホスト IP アドレスをブラウザで開きます。
2. ログインプロンプトで、「[VM システムの構成](#)」で管理者として定義した LDAP ユーザー名を使用して VSM GUI にログインします。
3. ダッシュボードで、「**Administration**」タブをクリックし、「**Site Configuration**」を選択して Site Configuration Wizard を開きます。
4. 「**Introduction**」ページで、表示された情報を確認し、「**Next Page**」をクリックして構成プロセスを開始します。
5. 「[Configure Supported Tapeplexes](#)」ページで、TapePlex、および各 TapePlex に接続されるホストを定義します。次に、「**Next Page**」をクリックします。
6. 「[アプリケーションユーザーの構成](#)」ページで、VSM GUI アクセスを許可される LDAP ユーザー名、各ユーザーがアクセスを許可される TapePlex、アクセスできる各 TapePlex に対するユーザーのロールを定義します。次に、「**Next Page**」をクリックします。
7. 「[Configure Alert Levels](#)」ページで、サポートされる各 TapePlex 内の VTSS ごとに、クリティカルアラートレベルしきい値を定義します。次に、「**Next Page**」をクリックします。

8. 「[デフォルト構成プロパティの編集](#)」 ページで、必要に応じてサイトのホストサイクル時間およびバッチレコードサイズを微調整します。次に、「**Next Page**」をクリックします。
9. 「[サイト構成のサマリーの確認](#)」 ページで、構成設定がすべて正確であることを確認します。変更するには、「**Previous Page**」および「**Next Page**」をクリックしてページ間を移動します。
10. 終わったら、「**Done**」をクリックして Site Configuration Wizard を閉じます。ダイアログが表示されます。「**OK**」をクリックして、「**Site Configuration**」 タブを閉じます。

---

**注記:**

すべてのサイト構成データは、初期サイト構成プロセス中に定義される必要がありますが、いつでも変更できます。

---

## データ取り込みプロセスの開始

取り込みを正常に実行するには、サイト構成を完了する必要があります。

次のように取り込みプロセスを開始します。

1. ユーザー: `vsmgui` として VSM サーバーにログインします
2. コマンド端末を開き、次のコマンドを実行します。

```
$ sudo service ingestd start
```

## VSM GUI へのアクセス

サイト構成が完了して正常にデータを取り込んだあと、VSM GUI Web アプリケーションは、クライアントシステム上でローカルブラウザを使用して、次の URL でアクセスできます。

```
http://server name or IP:7003/VSM_UI/faces/UIShell
```

「[VM システムの構成](#)」 で VSM GUI 管理者として割り当てられた LDAP ユーザーとしてログインします。

---

## 第3章 はじめに

VSM GUI がインストールされてサイト用に構成されると、VSM GUI Web アプリケーションは、クライアントシステム上の承認済み LDAP ユーザーがローカルブラウザを使用してアクセスできます。

### VSM GUI へのログイン

ローカルブラウザでサイトの VSM GUI の内部 Web アドレスを開きます。VSM GUI へのアクセスを承認されている場合は、VSM GUI 管理者からこのアドレスを提供されるべきです。

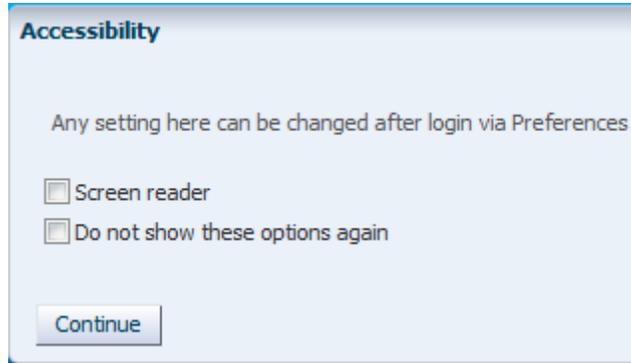
プロンプトが表示されたら、LDAP ユーザー名およびパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



承認されたユーザーである場合は、ログインが続行されます。そうでない場合は、サイトの VSM GUI 管理者に連絡してください。

### アクセシビリティ設定

ログインが成功すると、ダイアログが表示されます。



アプリケーションでスクリーンリーダーモードをアクティブにするには、「**Screen Reader**」をクリックします。

今後のログインでこのダイアログを非表示にするには、「**Do not show these options again**」をクリックします。

「**Continue**」をクリックしてダイアログを閉じ、VSM GUI のダッシュボードを表示します。アクセシビリティ設定は、今後のログイン用に記憶されます。

---

**注記:**

VSM GUI アプリケーションのページの右上隅にある「**Accessibility Settings**」をクリックすると、いつでもアクセシビリティ設定を変更できます。「Accessibility」ダイアログが表示されます。

---

## ユーザーロール

ユーザーによって VSM GUI へのアクセスレベルは異なります。

ユーザーがアクセスを許可されている各 TapePlex について、その TapePlex に対してユーザーに許可される VSM GUI へのアクセスのレベルを管理するユーザーロールが割り当てられます。

3つのユーザーロールがあります。

- **VsmViewer:** 「Status」および「Display」タブにのみアクセスでき、コンテキストメニュー、または「Management」および「Administration」タブにはアクセスできません
- **VsmOperator:** 「Status」、「Display」、「Management」、および「Administration」タブにアクセスできます (「Site Configuration」および「Download Logs」オプションを除く)

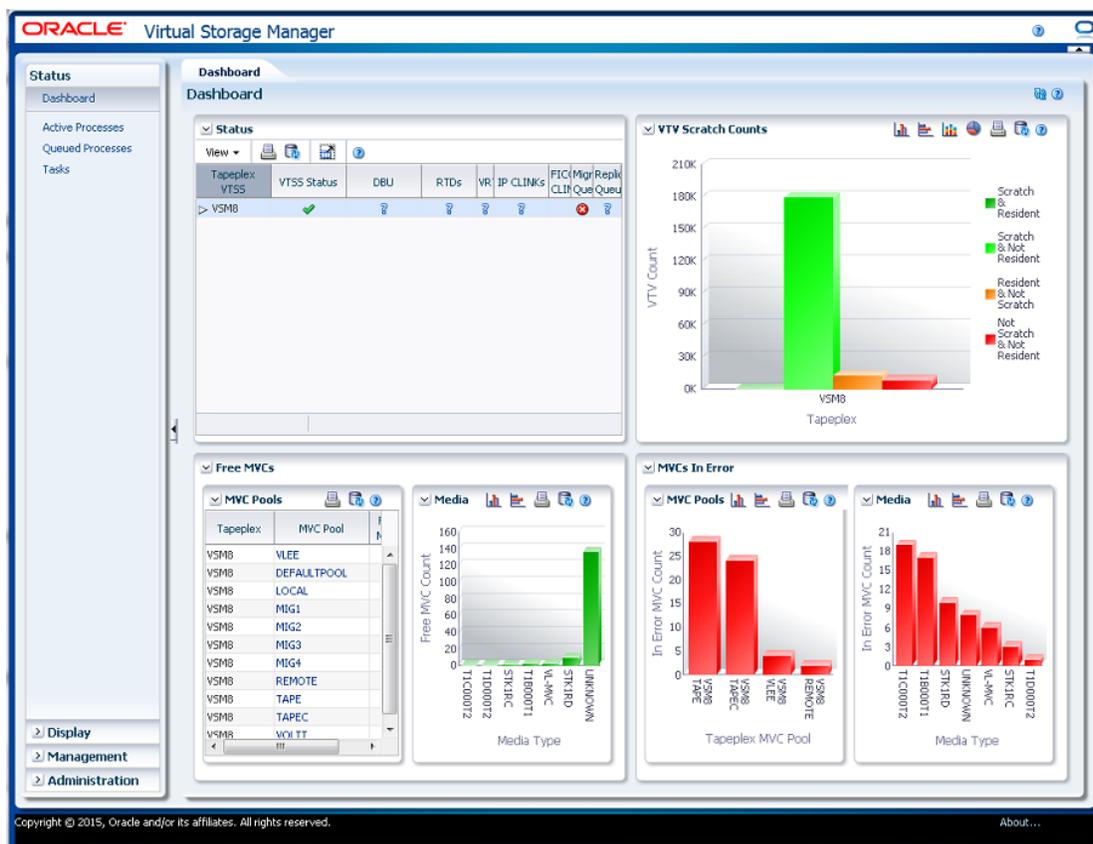
- **VsmGuiAdmin:** すべての TapePlex の「Status」、「Display」、および「Administration」タブにアクセスできます (コンテキストメニューへのアクセスを除く)

## ログオフ

VSM GUI セッションからログオフして終了するには、任意の VSM GUI 表示画面の右上にある「Logout」をクリックします。

## VSM GUI ダッシュボード

ログインしたあとの初期 VSM GUI 画面は「Dashboard」です。



ダッシュボードは、現在の VSM システムステータスを示し、主要なパフォーマンスメトリックのアラートを提供します。ダッシュボードは、VSM GUI セッション中に常に使用できます。

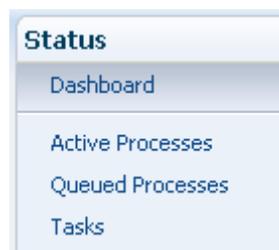
VSM GUI セッションを終了するには、「Logout」をクリックします。

## VSM GUI ナビゲーションツリー

ダッシュボードの左側にあるナビゲーションツリーには、VSM GUI レポートおよびコマンドの完全なセットへのリンクが含まれています。リンクは、「**Status**」、「**Display**」、「**Management**」、および「**Administration**」の4つのメニュータブに編成されています。

タブをクリックすると、メニューの詳細が表示されます。さまざまな機能へのアクセスは、「**ユーザーロール**」によって異なります。

### Status



4章「**Status** メニュー」オプションには、次のものがあります。

- 「**Dashboard**」
- 「**Active Processes**」
- 「**Queued Processes**」
- 「**Tasks**」

## Display



5章「*Display*」メニュー」オプションには、次のものがあります。

- 「Display CLINK」
- 「Display Cluster」
- 「Display Configuration」
- 「Display Drive」
- 「Display MVC」
- 「Display MVC Pool」
- 「Display VLE」
- 「Display VTD」
- 「Display VTSS」
- 「Display VTV」

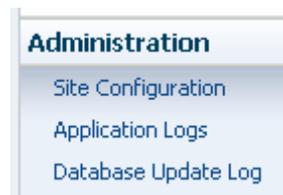
## Management



6章「*Management*」メニュー オプションには、次のものがあります。

- 「Command Log」
- 「Audit」
- 「MVC Drain」
- 「Reclaim」
- 「Reconcile」
- 「Vary」

## Administration



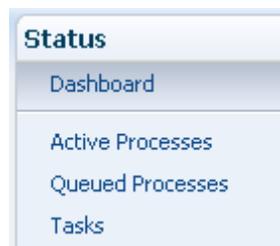
7章「*Administration*」メニュー オプションには、次のものがあります。

- 「Site Configuration」
- 「アプリケーションログ」
- 「データベース更新ログ」

---

---

## 第4章 「Status」メニュー



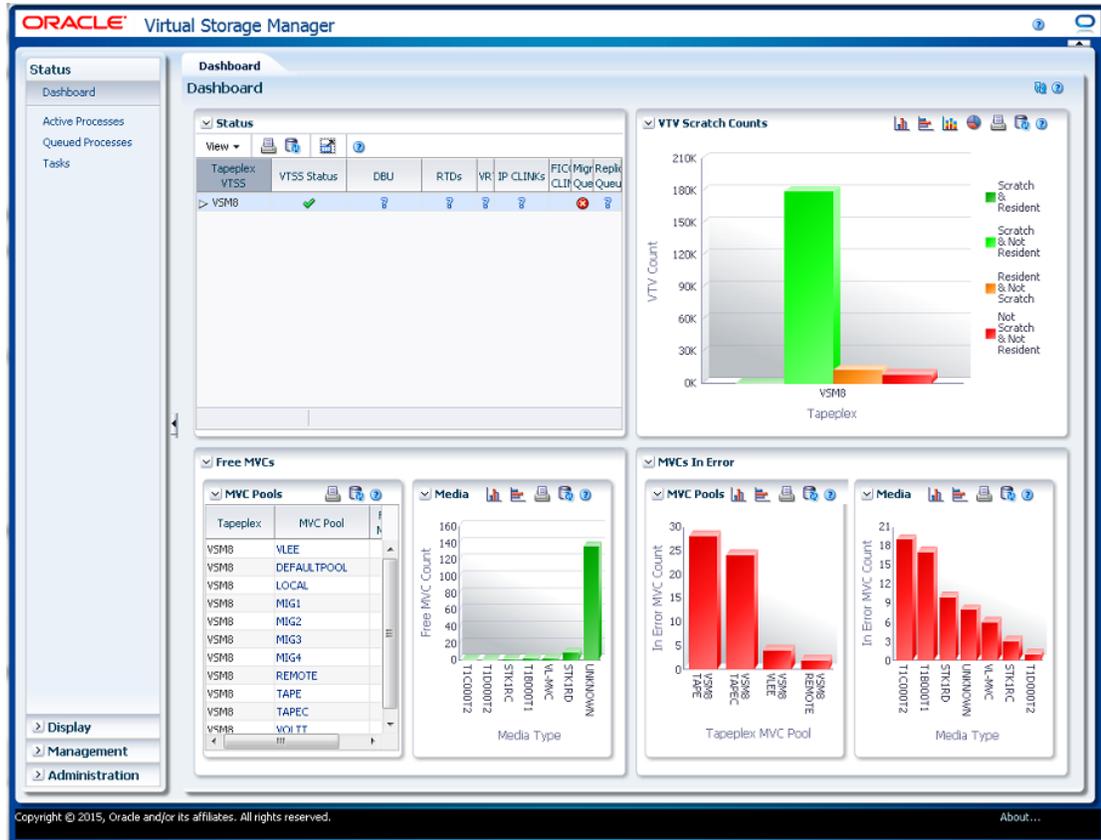
このメニューでは、次の VSM GUI ペインにアクセスできます。

- [「Dashboard」](#)
- [「Active Processes」](#)
- [「Queued Processes」](#)
- [「Tasks」](#)

### Dashboard

VSM GUI の「Dashboard」には、現在の VSM システムのステータスが示され、主要なパフォーマンスメトリックのアラートが表示されます。

「Dashboard」は最初に VSM GUI にログインすると表示され、VSM GUI セッション全体でアクティブなままになります。セッション中に「Dashboard」を再表示するには、単にペインの上部にある「**Dashboard**」タブをクリックします。



「Dashboard」の要素には次のものが含まれます。

- 「Status」
- 「VTV Counts」
- 「Free MVCs」
- 「MVCs in Error」

データベースのリフレッシュプロセスで問題が発生した場合、データベース更新のエラーメッセージが「Dashboard」の上部に表示されます。「Database Update Log」を表示して、データベースのリフレッシュプロセスを手動で管理するには、エラーメッセージをクリックします。

## Status

このデータ表には、各 TapePlex 内のすべての VTSS についてまとめて表示されたか、選択した TapePlex 内の各 VTSS を表示するために展開された現在のシステムステータスが表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Dashboard**」を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

TapePlex	VTSS	VTSS Status	DBU	RTDs	vRTDs	IP CLINKs	FICON CLINKs	Migrate Queue	Replication Queue
V	VSM8	Good	Good	Good	Good	Good		Good	Good
	VTSS16	Good	Good	Good	Good	Good		Good	Good
	VTSS17	Good	Good	Good	Good	Good		Good	Good
	VTSS18	Good	Good	Good	Good	Good		Good	Good
	VTSS32	Good	Good	Good	Good	Good		Good	Good

TapePlex 名の左側にある「**Expand**」ボタンをクリックすると、その TapePlex の VTSS が表示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

その詳細を表示するには、ステータスインジケータをクリックします。

- 「VTSS Status」または「DBU」のインジケータをクリックすると、選択した TapePlex または VTSS でフィルタ処理された「**Display VTSS**」パネルが表示されます。
- 「RTDs」または「vRTDs」のインジケータをクリックすると、選択した TapePlex または VTSS 上のそのドライブタイプでフィルタ処理された「**Display Drive**」パネルが表示されます。
- 「IPCLINKs」または「FICON CLINKs」のインジケータをクリックすると、選択した TapePlex または VTSS でフィルタ処理された「**Display CLINK**」パネルが表示されます。
- 「Migrate Queue」または「Replication Queue」のインジケータをクリックすると、選択した TapePlex または VTSS でフィルタ処理された「**Queued Processes**」パネルが表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex VTSS	TapePlex 名と、TapePlex 内の VTSS 名。
VTSS Status	<p>VTSS のステータスを示します。</p> <p>Good: VTSS が「Online」であることを示します。</p> <p>Warning: VTSS が「Online-p」、「Quiescing」、「Quiesced」、または「Started」であることを示します。</p> <p>Critical: VTSS が「Offline」または「Offline-p」であることを示します。</p> <p>Unknown: 「Online」、「Online-p」、「Offline」、「Offline-p」、「Quiescing」、「Quiesced」、または「Started」以外の値を示します。</p>
DBU	<p>DBU レベルを示します。</p> <p>Good: DBU が自動移行の高しきい値 (HAMT) より小さいことを示します。</p> <p>Warning: DBU が自動移行の高しきい値 (HAMT) 以上であることを示します。</p> <p>Critical: DBU がこの VTSS のアラートレベルより大きいことを示します。</p> <p>Unknown: DBU、アラートレベル、または HAMT 値が欠落していることを示します。</p>
RTDs	<p>RTD のステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ない RTD がオフラインです。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多い RTD がオフラインです。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多い RTD がオフラインです。</p> <p>Unknown: 一部の RTD のステータスが不明か、クリティカル/警告アラートレベルが欠落しています。</p>
vRTDs	<p>vRTD のステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ない vRTD がオフラインです。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多い vRTD がオフラインです。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多い vRTD がオフラインです。</p> <p>Unknown: 一部の vRTD のステータスが不明か、クリティカル/警告アラートレベルが欠落しています。</p>
IP CLINKs	<p>IP CLINK のステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ない IP CLINK がオフラインです。</p>

列	説明
	<p>Warning: この VTSS の警告数より多い IP CLINK がオフラインです。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多い IP CLINK がオフラインです。</p> <p>Unknown: 一部の IP CLINK のステータスが不明か、クリティカル/警告アラートレベルが欠落しています。</p>
FICON CLINKs	<p>FICON CLINK のステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ない FICON CLINK がオフラインです。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多い FICON CLINK がオフラインです。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多い FICON CLINK がオフラインです。</p>
Migrate Queue	<p>移行キューレベルのステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ない移行プロセスがキュー内にあります。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多い移行プロセスがキュー内にあります。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多い移行プロセスがキュー内にあります。</p> <p>Unknown: クリティカル/警告アラートレベルが欠落しているか、「Queued Processes」のデータが欠落しています。</p>
Replication Queue	<p>レプリケーションキューレベルのステータスを示します。</p> <p>Good: この VTSS の警告数より少ないレプリケーションプロセスがキュー内にあります。</p> <p>Warning: この VTSS の警告数より多いレプリケーションプロセスがキュー内にあります。</p> <p>Critical: この VTSS のクリティカル数より多いレプリケーションプロセスがキュー内にあります。</p> <p>Unknown: クリティカル/警告アラートレベルが欠落しているか、「Queued Processes」のデータが欠落しています。</p>

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Expand	選択した TapePlex 内の個々の VTSS を表示します
Expand All Below	現在の選択の下にあるすべての TapePlex を展開します
Collapse All Below	現在の選択の下にあるすべての TapePlex を縮小します
Expand All	すべての TapePlex を展開します
Collapse All	すべての TapePlex を縮小します
Scroll to First	TapePlex のリストの上部までスクロールします
Scroll to Last	TapePlex のリストの下部までスクロールします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

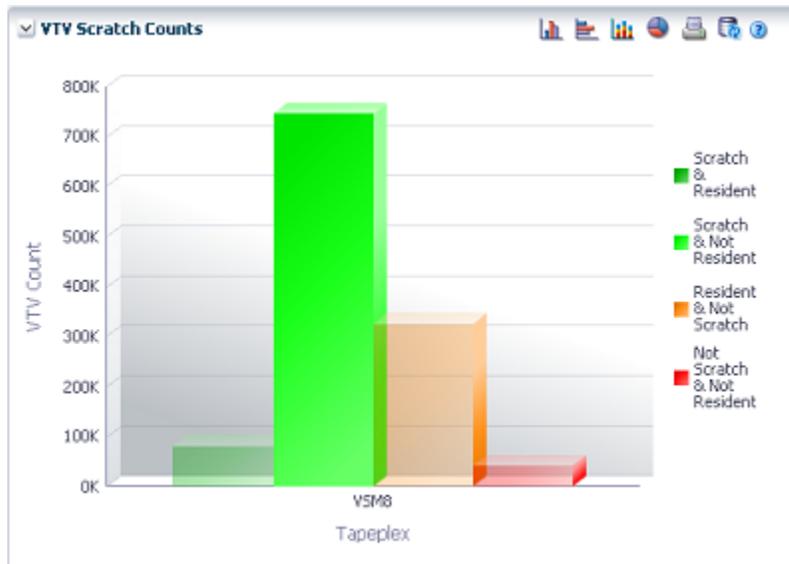
表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTV Counts

このグラフは、各 TapePlex の VTV スクラッチ数と常駐数を示しています。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Dashboard**」を選択します。



オブジェクトのサマリーデータを表示するには、マウスのポインタをそのオブジェクトの上に置きます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

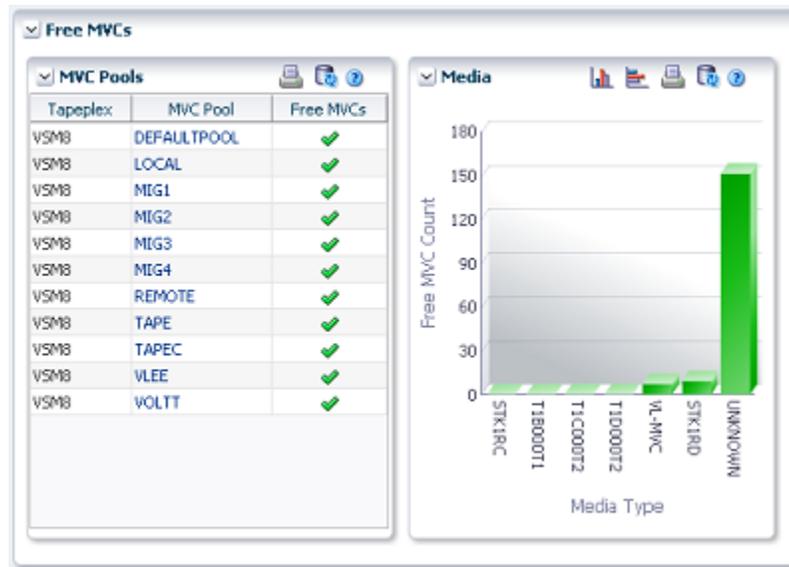
アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Free MVCs

「Free MVCs」レポートには、MVC プールまたはメディアタイプの空き MVC のステータスが示されます。

- 「Free MVCs: MVC Pools」
- 「Free MVCs: Media」

表示するには、ナビゲーションツリーで「Status」と「Dashboard」を選択します。



## Free MVCs: MVC Pools

「MVC Pools」データ表には、各 TapePlex 上の MVC プールごとに空き MVC の現在のステータスが示されます。

各フィールドのステータスは、ステータスインジケータを使用してまとめて表示されます。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルなしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

アイコン	名前	説明
------	----	----

その詳細を表示するには、ステータスインジケータをクリックします。

空き MVC の数がプールの「Minimum Free MVCs」値より少ない場合、MVC プールはクリティカル状態であると示されます。

空き MVC の数がプールの「Minimum Free MVCs」値と等しい場合、MVC プールは警告状態であると示されます。

空き MVC の数がプールの「Minimum Free MVCs」値より大きい場合、MVC プールは良好状態であると示されます。

「Minimum Free MVCs」値または空き MVC の数が不明な場合、MVC プールは不明状態であると示されます。

オブジェクトのサマリーデータを表示するには、マウスのポインタをそのオブジェクトの上に置きます。

データ表で「MVC Pool」をクリックすると、その MVC プールでフィルタ処理された「Display MVC Pool」パネルが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Free MVCs: Media

「Media」グラフには、空き MVC がメディアタイプでソートされて表示されます。

グラフでオブジェクトをクリックすると、そのメディアタイプでフィルタ処理された「Display MVC」パネルが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

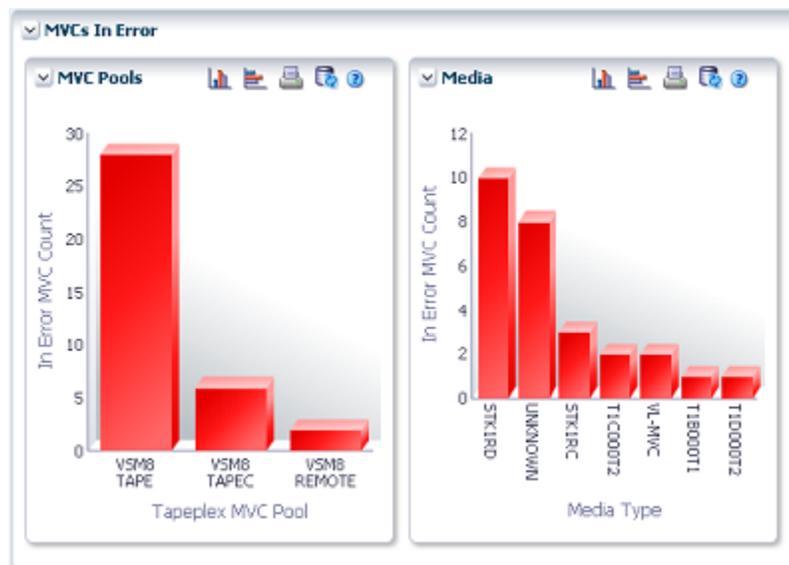
アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## MVCs in Error

「MVCs in Error」レポートには、エラーがある MVC が MVC プールまたはメディアタイプでソートされて表示されます。

- [「MVCs in Error: MVC Pools」](#)
- [「MVCs in Error: Media」](#)

表示するには、ナビゲーションツリーで「Status」と「Dashboard」を選択します。



## MVCs in Error: MVC Pools

「MVC Pools」グラフには、エラーがある MVC が MVC プールでソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

「MVC Pools」のオブジェクトをクリックすると、その MVC プールでフィルタ処理された「[Display MVC Pool](#)」パネルが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## MVCs in Error: Media

「Media」グラフには、エラーがある MVC がメディアタイプでソートされて表示されます。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

メディアオブジェクトをクリックすると、そのメディアタイプでフィルタ処理された「[Display MVC](#)」パネルが表示されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

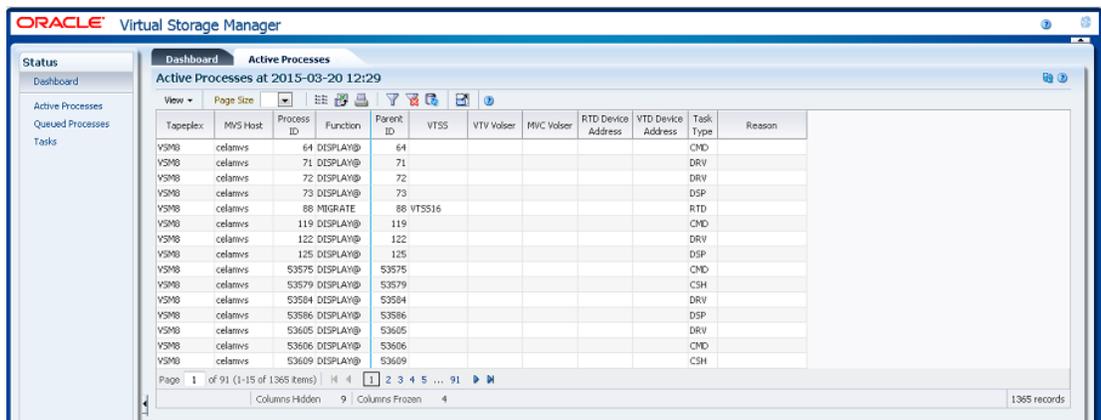
アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Active Processes

このデータ表には、表示された時点におけるすべての TapePlex のアクティブなプロセスが表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Active Processes**」を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



Tapeplex	MVS Host	Process ID	Function	Parent ID	VTSS	VTV Volser	MVC Volser	RTD Device Address	VTD Device Address	Task Type	Reason
VSM@	celanvs	64	DISPLAY@	64						CND	
VSM@	celanvs	71	DISPLAY@	71						DRW	
VSM@	celanvs	72	DISPLAY@	72						DRW	
VSM@	celanvs	73	DISPLAY@	73						DSP	
VSM@	celanvs	88	MIGRATE	88	VTSS16					RTD	
VSM@	celanvs	119	DISPLAY@	119						CND	
VSM@	celanvs	122	DISPLAY@	122						DRW	
VSM@	celanvs	125	DISPLAY@	125						DSP	
VSM@	celanvs	53575	DISPLAY@	53575						CND	
VSM@	celanvs	53579	DISPLAY@	53579						CSH	
VSM@	celanvs	53584	DISPLAY@	53584						DRW	
VSM@	celanvs	53586	DISPLAY@	53586						DSP	
VSM@	celanvs	53605	DISPLAY@	53605						DRW	
VSM@	celanvs	53606	DISPLAY@	53606						CND	
VSM@	celanvs	53609	DISPLAY@	53609						CSH	

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

そのプロセス ID を右クリックすることで「プロセスの取り消し」を行うことができます。プロセスを取り消すためのオプションが示されたコンテキストメニューが表示されます。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex 名。
MVS Host	プロセスを実行している MVS ホスト。
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意の番号である、機能のプロセス ID。プロセス ID が 65536 に達すると、ゼロに戻されます。
Function	<p>要求のタイプ:</p> <p>AllocSCR: スクラッチ VTV のジョブ割り当て要求。</p> <p>AllocVTV: 特定の VTV のジョブ割り当て要求。</p> <p>Audit#: 監査ユーティリティ要求。</p> <p>Cancel@: 取り消しコマンド。</p> <p>Consolid#: 統合またはエクスポートユーティリティタスク。</p> <p>Consolid: 統合 MVC への再移行のために VTV をリコールします。これは、Int _cons または Consolid# 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>Dismount: VTD から VTV をマウント解除します。</p> <p>Display@: 表示または問い合わせコマンド。</p> <p>Drain: 排出またはリクレイム処理中に、再移行のために MVC から VTV をリコールします。これは VtvMover 要求の子です。</p> <p>Drain@: 排出コマンドまたはユーティリティ。</p> <p>DrainMVC: 排出される MVC ごとに 1 つの DrainMVC 要求があります。Drain@ 要求の子要求である DrainMVC は、単一の MVC の排出プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p> <p>DELETSCR: スクラッチユーティリティを削除します。</p> <p>Getmgpol: 現在の管理およびストレージクラス定義を取得します。</p> <p>Getconfig: 構成情報を取得します</p>

列	説明
	<p>HSCChnge: 変更されるパラメータファイルの通知。</p> <p>Import#: ユーティリティーによる VTV または MVC のインポート。</p> <p>Int_cons: PGMI が統合要求を開始しました</p> <p>MEDVERfy: メディア検証の親タスク</p> <p>Migrate: VTV の MVC への移行を実行するための一般的な要求。これは、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。</p> <p>Migrate@: 移行コマンドまたはユーティリティー。これには、しきい値への移行と自動移行が含まれます。</p> <p>Mount: VTD 上に VTV をマウントします。状況に応じて、これはあとで VTV の転送またはリコール要求として表示されることがあります。</p> <p>Move MVC: 調整またはアーカイブによって処理される MVC ごとに 1 つの Move MVC 要求があります。MoveVTV# 要求の子要求である Move MVC は、単一の MVC の VTV 移動プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p>
	<p>MoveVTV#: これは、MVC 間で VTV のコピーを移動するための ARCHIVE または RECONCILE ユーティリティーコマンドからの要求です。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p> <p>MvcMaint: MVCMAINT ユーティリティー要求。</p> <p>MVC_chek: MVC のステータスをチェックします。</p> <p>MVC_eot: 排出またはリクレイムの完了後に MVC のテープ位置の最後をリセットします。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。</p> <p>MVC_inv: MVC の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。MVCpool#: ユーティリティーの MVC プールの詳細およびステータスを取得します。PGMI_req: まだデコードされていない、PGMI インタフェースから受信した要求。Query@l: 問い合わせまたは表示コマンド。</p> <p>MVC_upd: MVC ステータスをリセットまたは更新します。</p> <p>Recall: MVC からの VTV のリコールを実行するための一般的な要求。これには、マウントシステムからの Cross TapePlex Autorecall (CTA) 要求が含まれることがあります。「Recall」は、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。</p> <p>Recall@: リコールコマンドまたはユーティリティー。</p>

列	説明
	<p><b>Reclaim@:</b> 自動リクレイム要求、あるいはリクレイムコマンドまたはユーティリティー。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p> <p><b>ReclmMVC:</b> リクレイムされる MVC ごとに 1つの ReclmMVC 要求があります。Reclaim@ 要求の子要求である ReclmMVC は、単一の MVC のリクレイム処理全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p> <p><b>Reconcil:</b> クラスタ内にある 2つの VTSS の内容のクロスチェックを実行します。</p> <p><b>Replicat:</b> クラスタ内にある VTSS 間で VTV のレプリケーションを実行します。</p> <p><b>Scratch:</b> HSC から VTV 要求をスクラッチします。</p> <p><b>Sel_scr:</b> PGMI スクラッチ選択</p> <p><b>Set@:</b> 設定コマンド。</p> <p><b>Transfer:</b> 2つの VTSS 間で VTV を転送することで、VTD 上に VTV をマウントします。</p> <p><b>Unload:</b> RTD から MVC をアンロードします。</p> <p><b>Uscratch:</b> HSC から VTV 要求をアンスクラッチします。</p> <p><b>Vary_dev:</b> 個々の RTD または CLINK に対して変更処理を実行します。これは、VARY@ 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p><b>Vary@:</b> 変更コマンド。</p> <p><b>VtvMaint:</b> VTVMaint ユーティリティー要求。</p>
	<p><b>VTVMover:</b> 排出またはリクレイムされる MVC ごとに 1つの VTVMover 要求があります。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。この要求は、ある MVC から別の MVC への VTV の移動を行います。</p> <p><b>VTSS_inv:</b> VTSS の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p><b>VTSS_list:</b> VTSS 内にある VTV のリストを取得します。これは、Reconcil 要求または自動移行要求の子要求として表示されます。</p> <p><b>VTV_upd:</b> VTSS 内の VTV ステータスを CDS と再同期します。</p>
Parent ID	要求に関連付けられた親プロセスの ID。

列	説明
VTSS	要求に関連付けられた VTSS 名または VTSS リスト名。
VTV Volser	プロセスで現在、使用されている VTV の volser。
MVC Volser	プロセスで現在、使用されている MVC の volser。
RTD Device Address	プロセスで現在、使用されている RTD のユニットアドレス。
VTD Device Address	プロセスで現在、使用されている VTD のデバイスアドレス。
Task Type	キューを処理しているタスク、または要求がキューに入れられたタスク。
Reason	プロセスがアクティブな理由。
ACS	プロセスが使用している ACS。
LSM	プロセスが使用している LSM。
Storage Manager	プロセスが使用しているストレージマネージャー。
Internal Device Type	プロセスが使用している内部デバイスタイプ。
For Mount	プロセスがマウント用であるかどうかを示します。
For VTV Move	プロセスが VTV の移動用であるかどうかを示します。
Local Wait Time (mins)	ローカル待機時間 (分)。
Storage Class	移行ターゲットのストレージクラス。
Refreshed	データが格納または更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## プロセスの取り消し

プロセスを取り消すには、そのプロセスのプロセス ID を右クリックします。

コンテキストメニューが表示されます。コンテキストメニューで「**Cancel**」をクリックします。

選択したプロセスに関する詳細が示されたダイアログが表示されます。

「**Submit**」をクリックして選択したプロセスを取り消すか、要求を送信しない場合は単に「**Cancel**」タブを閉じます。

## Queued Processes

このデータ表には、表示された時点におけるすべての TapePlex のキューに入れられたプロセスが表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Queued Processes**」を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Tapeplex	MVS Host	Process ID	Function	Parent ID	VTSS	VTV Volsnr	MVC Volsnr	RTD Device Address	VTD Device Address	Task Type	Reason
VSM8	celamvs	21	MIGRATE	21	VTSS18					RTD	MVC DISMOUNT
VSM8	celamvs	45	MIGRATE	45	VTSS16					RTD	MVC DISMOUNT
VSM8	celamvs	50	MIGRATE	50	VTSS17					DRV	MVC FOR CLASS
VSM8	celamvs	51	MIGRATE	51	VTSS18					DRV	RTD ALLOCATION
VSM8	celamvs	54	MIGRATE	54	VTSS18					DRV	MVC FOR CLASS
VSM8	celamvs	78	MIGRATE	78	VTSS17					DRV	MVC FOR CLASS
VSM8	celamvs	94	MIGRATE	94	VTSS16					DRV	RTD ALLOCATION
VSM8	celamvs	120	GETMGPOL	120						CMD	QUEUED
VSM8	celamvs	121	GETMGPOL	121						CMD	QUEUED
VSM8	celamvs	123	DISPLAY@	123						CMD	QUEUED
VSM8	celamvs	124	DISPLAY@	124						CMD	QUEUED
VSM8	celamvs	127	DISPLAY@	127						CMD	QUEUED
VSM8	celamvs	128	DISPLAY@	128						CMD	QUEUED
VSM8	celamvs	53576	DISPLAY@	53576						CMD	QUEUED
VSM8	celamvs	53577	MVCPPOOL#	53577						CMD	QUEUED

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

そのプロセス ID を右クリックすることで「**プロセスの取り消し**」を行うことができます。プロセスを取り消すためのオプションが示されたコンテキストメニューが表示されます。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex 名。
MVS Host	プロセスを実行している MVS ホスト。
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意の番号である、機能のプロセス ID。プロセス ID が 65536 に達すると、ゼロに戻されます。
Function	要求のタイプ:  AllocSCR: スクラッチ VTV のジョブ割り当て要求。  AllocVTV: 特定の VTV のジョブ割り当て要求。  Audit#: 監査ユーティリティー要求。

---

列	説明
	Cancel@: 取り消しコマンド。
	Consolid#: 統合またはエクスポートユーティリティータスク。
	Consolid: 統合 MVC への再移行のために VTV をリコールします。これは、Int_cons または Consolid# 要求に対する子要求として表示されます。
	Dismount: VTD から VTV をマウント解除します。
	Display@: 表示または問い合わせコマンド。
	Drain: 排出またはリクレイム処理中に、再移行のために MVC から VTV をリコールします。これは VtvMover 要求の子です。
	Drain@: 排出コマンドまたはユーティリティー。
	DrainMVC: 排出される MVC ごとに 1 つの DrainMVC 要求があります。 Drain@ 要求の子要求である DrainMVC は、単一の MVC の排出プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。
	DELETSCR: スクラッチユーティリティーを削除します。
	Getmgpol: 現在の管理およびストレージクラス定義を取得します。
	Getconfig: 構成情報を取得します
	HSCChnge: 変更されるパラメータファイルの通知。
	Import#: ユーティリティーによる VTV または MVC のインポート。
	Int_cons: PGMI が統合要求を開始しました
	MEDVERfy: メディア検証の親タスク
	Migrate: VTV の MVC への移行を実行するための一般的な要求。これは、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。
	Migrate@: 移行コマンドまたはユーティリティー。これには、しきい値への移行と自動移行が含まれます。
	Mount: VTD 上に VTV をマウントします。状況に応じて、これはあとで VTV の転送またはリコール要求として表示されることがあります。
	Move MVC: 調整またはアーカイブによって処理される MVC ごとに 1 つの Move MVC 要求があります。MoveVTV# 要求の子要求である Move MVC は、単一の MVC の VTV 移動プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。

---

列	説明
	<p>MoveVTV#: これは、MVC 間で VTV のコピーを移動するための ARCHIVE または RECONCILE ユーティリティーコマンドからの要求です。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p> <p>MvcMaint: MVCMAINT ユーティリティー要求。</p> <p>MVC_chek: MVC のステータスをチェックします。</p> <p>MVC_eot: 排出またはリクレイムの完了後に MVC のテープ位置の最後をリセットします。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。</p> <p>MVC_inv: MVC の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。MVCpool#: ユーティリティーの MVC プールの詳細およびステータスを取得します。PGMI_req: まだデコードされていない、PGMI インタフェースから受信した要求。Query@l: 問い合わせまたは表示コマンド。</p> <p>MVC_upd: MVC ステータスをリセットまたは更新します。</p> <p>Recall: MVC からの VTV のリコールを実行するための一般的な要求。これには、マウントシステムからの Cross TapePlex Autorecall (CTA) 要求が含まれることがあります。「Recall」は、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。</p> <p>Recall@: リコールコマンドまたはユーティリティー。</p> <p>Reclaim@: 自動リクレイム要求、あるいはリクレイムコマンドまたはユーティリティー。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p> <p>ReclmMVC: リクレイムされる MVC ごとに 1 つの ReclmMVC 要求があります。Reclaim@ 要求の子要求である ReclmMVC は、単一の MVC のリクレイム処理全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p> <p>Reconcil: クラスタ内にある 2 つの VTSS の内容のクロスチェックを実行します。</p> <p>Replicat: クラスタ内にある VTSS 間で VTV のレプリケーションを実行します。</p> <p>Scratch: HSC から VTV 要求をスクラッチします。</p> <p>Sel_scr: PGMI スクラッチ選択</p> <p>Set@: 設定コマンド。</p>

列	説明
	<p>Transfer: 2つの VTSS 間で VTV を転送することで、VTD 上に VTV をマウントします。</p> <p>Unload: RTD から MVC をアンロードします。</p> <p>Unscratch: HSC から VTV 要求をアンスクラッチします。</p> <p>Vary_dev: 個々の RTD または CLINK に対して変更処理を実行します。これは、VARY@ 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>Vary@: 変更コマンド。</p> <p>VtvMaint: VTMMAINT ユーティリティ要求。</p>
	<p>VTVMover: 排出またはリクレイムされる MVC ごとに 1つの VTVMover 要求があります。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。この要求は、ある MVC から別の MVC への VTV の移動を行います。</p> <p>VTSS_inv: VTSS の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>VTSS_list: VTSS 内にある VTV のリストを取得します。これは、Reconcil 要求または自動移行要求の子要求として表示されます。</p> <p>VTV_upd: VTSS 内の VTV ステータスを CDS と再同期します。</p>
Parent ID	要求に関連付けられた親プロセスの ID。
VTSS	要求に関連付けられた VTSS 名または VTSS リスト名。
VTV Volser	プロセスで現在、使用されている VTV の volser。
MVC Volser	プロセスで現在、使用されている MVC の volser。
RTD Device Address	プロセスで現在、使用されている RTD のユニットアドレス。
VTD Device Address	プロセスで現在、使用されている VTD のデバイスアドレス。
Task Type	キューを処理しているタスク、または要求がキューに入れられたタスク。
Reason	プロセスがアクティブな理由。
ACS	プロセスが使用している ACS。
LSM	プロセスが使用している LSM。
Storage Manager	プロセスが使用しているストレージマネージャー。
Internal Device Type	プロセスが使用している内部デバイスタイプ。
For Mount	プロセスがマウント用であるかどうかを示します。
For VTV Move	プロセスが VTV の移動用であるかどうかを示します。
Local Wait Time (mins)	ローカル待機時間 (分)。

列	説明
Storage Class	移行ターゲットのストレージクラス。
Refreshed	データが格納または更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします

アイコン	名前	説明
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## プロセスの取り消し

プロセスを取り消すには、そのプロセスのプロセス ID を右クリックします。

コンテキストメニューが表示されます。コンテキストメニューで「**Cancel**」をクリックします。

選択したプロセスに関する詳細が示されたダイアログが表示されます。

「**Submit**」をクリックして選択したプロセスを取り消すか、要求を送信しない場合は単に「**Cancel**」タブを閉じます。

## Tasks

このデータ表には、表示された時点におけるすべての TapePlex のすべてのタスクが表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Status**」と「**Tasks**」を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Tapeplex	MVS Host	Task Number	Task Type	Slot ID	VTSS	VTV Volsers	MVC Volsers	Path Name	Device Address	VTD Device Address	Task Lock	VTV Lock	MVC Lock	RTD Lock	VTD Lock	Waiting Count	Pending Count
VSM8	CELAMW5	0	DSP	002													
VSM8	CELAMW5	1	SS	035													
VSM8	CELAMW5	2	CLK	051				VTSS17									
VSM8	CELAMW5	3	CLK	052				VTSS18									
VSM8	CELAMW5	4	CLK	053				VTSS32									
VSM8	CELAMW5	5	CLK	054				VTSS17									
VSM8	CELAMW5	6	CLK	055				VTSS18									
VSM8	CELAMW5	7	CLK	056				VTSS32									
VSM8	CELAMW5	8	SS	057													
VSM8	CELAMW5	9	CLK	073				VTSS16									
VSM8	CELAMW5	10	CLK	074				VTSS18									
VSM8	CELAMW5	11	CLK	075				VTSS32									
VSM8	CELAMW5	12	CLK	076				VTSS16									
VSM8	CELAMW5	13	CLK	077				VTSS18									
VSM8	CELAMW5	14	CLK	078				VTSS32									

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	タスクが実行されている TapePlex。
MVS Host	MVS ホスト。
Task Number	現在のホスト上の各タスクのタスク番号。
Task Type	INV: インベントリマネージャー CMD: コマンドタスク DSP: ディスパッチャータスク SS: VTSS タスク RTD: RTD タスク DRV: RTD スケジューラ SCR: スクラッチマネージャー RCM: リクレイムマネージャー MSC: 移行スケジューラ

列	説明
	CSH: Clink スケジューラ
	CLK: CLINK タスク
	UNK: 不明
Slot ID	ロックバッファ内のロックのスロット ID。
VTSS	タスクが実行されている VTSS。
VTV Volser	タスクで使用される VTV の volser。
MVC Volser	タスクで使用される MVC の volser。
Path Name	タスクが使用している RTD、VTD、またはパス。
Device Address	タスクが使用している RTD または VTD デバイスアドレス。
VTD Device Address	タスクを使用している VTD のデバイスアドレス。
Task Lock	タスクのロックステータスを示します。タスクロックは通常、別のホストとの競合を示しています。
VTV Lock	タスクの VTV がロックされていることを示します。
MVC Lock	タスクの MVC がロックされていることを示します。
RTD Lock	タスクの RTD がロックされていることを示します。
VTD Lock	タスクの VTD がロックされていることを示します。
Waiting Count	ロックを待機している要求の件数。
Pending Count	保留中要求の件数。
Function	タスクの機能。
Process ID	タスクのプロセス ID。
Parent ID	親プロセスのプロセス ID。
ACS	タスクが使用している ACS。
LSM	タスクが使用している LSM。
Storage Manager	タスクが使用しているストレージマネージャー。
Internal Device Type	ローカル待機時間 (分)。
For Mount	プロセスがマウント用であるかどうかを示します。
For VTV Move	プロセスが VTV の移動用であるかどうかを示します。
Local Wait Time (mins)	ローカル待機時間 (分)。
Storage Class	移行ターゲットのストレージクラス。
Refreshed	データが格納または更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## 第5章 「Display」メニュー



このメニューからは、次の VSM GUI ペインにアクセスできます。

- [「Display CLINK」](#)
- [「Display Cluster」](#)
- [「Display Configuration」](#)
- [「Display Drive」](#)
- [「Display MVC」](#)
- [「Display MVC Pool」](#)
- [「Display VLE」](#)
- [「Display VTD」](#)
- [「Display VTSS」](#)
- [「Display VTV」](#)

### Display CLINK

このペインには、クラスタリンク (CLINK) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「Display」および「CLINK」を選択します。

The screenshot shows the Oracle Virtual Storage Manager interface. The main window displays a table of Cluster Links (CLINKs) with columns: Tapeplex, VTSS, Partner Tapeplex, Partner VTSS, CLINK ID, Channel ID, IP/IF ID, Cluster, Status, and Usage. The table contains 24 records. To the right, there are two bar charts. The top chart, 'CLINK Status', shows the count of CLINKs in various states: Online (6), On-Async (0), On-Sync (0), P-online (0), P-offline (0), Recovery (0), Maint (0), Unusable (0), and UUT Err (0). The bottom chart, 'CLINK Usage', shows the count of CLINKs in various usage states: Assigned (0), Free (6), and Replicating (0).

## Cluster Links (CLINKS)

このデータ表には、CLINK 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Detached Table

Tapeplex	VTSS	Partner Tapeplex	Partner VTSS	CLINK ID	Channel ID	IP/IF ID	Cluster	Status	Usage	MVS Host	Partner VTD	Replication Capability
VSM8	VTSS16	VSM8	VTSS17	18	0A:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS16	VSM8	VTSS18	19	0A:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS16	VSM8	VTSS32	1A	0A:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS16	VSM8	VTSS17	1B	11:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS16	VSM8	VTSS18	1C	11:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS16	VSM8	VTSS32	1D	11:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS17	VSM8	VTSS16	18	0A:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS17	VSM8	VTSS18	19	0A:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS17	VSM8	VTSS32	1A	0A:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS17	VSM8	VTSS16	1B	11:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS17	VSM8	VTSS18	1C	11:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS17	VSM8	VTSS32	1D	11:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS18	VSM8	VTSS16	18	0A:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS18	VSM8	VTSS17	19	0A:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		
VSM8	VTSS18	VSM8	VTSS32	1A	0A:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----		

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex の名前。
VTSS	プライマリまたは送信側 VTSS 名。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Partner Tapeplex	クラスタ内のパートナー TapePlex。
Partner VTSS	クラスタ内のセカンダリまたは受信側 VTSS。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
CLINK ID	VTSS 内の CLINK に割り当てられている CLINK ID。 コンテキストメニュー: 「Vary CLINK」。
Channel ID	CLINK の接続先のバックエンドチャンネルインタフェース。
IPIFID	CLINK の IPIF ID。
Cluster	CLINK が TapePlex 内の VTV のレプリケーションに使用され、かつクラスタの一部である場合は、そのクラスタ名。「Partner VTSS」列内の VTSS 名は、そのクラスタ内で動作するほかの VTSS を示します。
Status	次のいずれかです。  MAINT: リンクに傷害が発生したか、またはリンクが保守モードに移行しました。  OFFLINE: リンクはオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。  ONLINE: リンクはオンラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できます。  ON-SYNC: 同期レプリケーションに使用できます。  ON-ASYNC: 非同期レプリケーションに使用できます。  P_OFFLINE: リンクはオフライン中です。  P_ONLINE: リンクはオンライン中です。

列	説明
	<p>RECOVERY: リンクは、エラーまたはオンライン移行操作のあとのリセット中です。</p> <p>UNUSABLE: ハードウェアエラーまたは割り当て先不明状態のために、レプリケーションに使用できません。</p> <p>UUI ERR: これは電子エクスポート用に定義された CLINK であり、リモート VTCS に接続できなくなりました。この問題の原因を示すメッセージが HSC JOBLLOG 内に存在します。これには、定義 (ローカル SMC またはリモート VTCS 上のリモート HTTP サーバー) に関する問題が含まれる可能性があります。</p>
Usage	<p>次のいずれかです。</p> <p>ASSIGNED: リンクは「HOST」フィールド内のホストに割り当てられていますが、現在レプリケートしていません。この使用状況は、VTCS がリンクの使用を開始または終了しているか、あるいはレプリケーションの失敗のあとにリンク上のエラーを回復しようとしている場合に発生します。</p> <p>FREE: リンクはアイドル状態です (レプリケーションを実行していません)。</p> <p>REPLICATING: リンクはアクティブにレプリケーションを実行しています。</p>
MVS Host	リンクの割り当て先のホスト。
Partner VTD	接続のもう一方の端点を形成するパートナー VTSS 上の VTD のアドレス。クラスタリンクの場合は、VTD の MVS アドレスが報告されます。電子エクスポートリンクの場合は、もう一方の TapePlex 構成にアクセスできないため、これは不可能です。この場合は、VTV の順序番号のみが報告されます。
Replication Capability	CLINK が同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します

「View」のオプション	説明
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

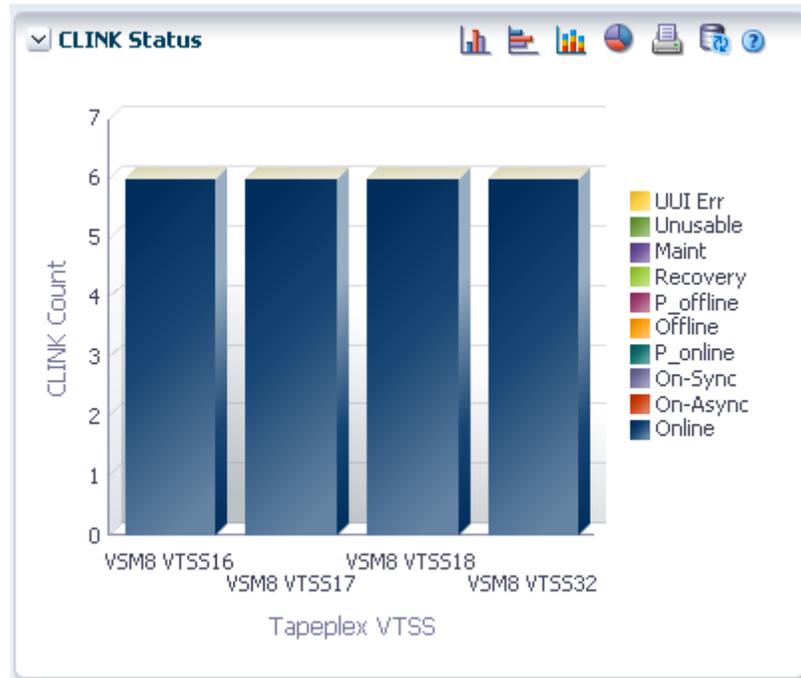
複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## CLINK Status

このグラフには、VTSS ごとの現在の CLINK 数が現在のステータスでソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

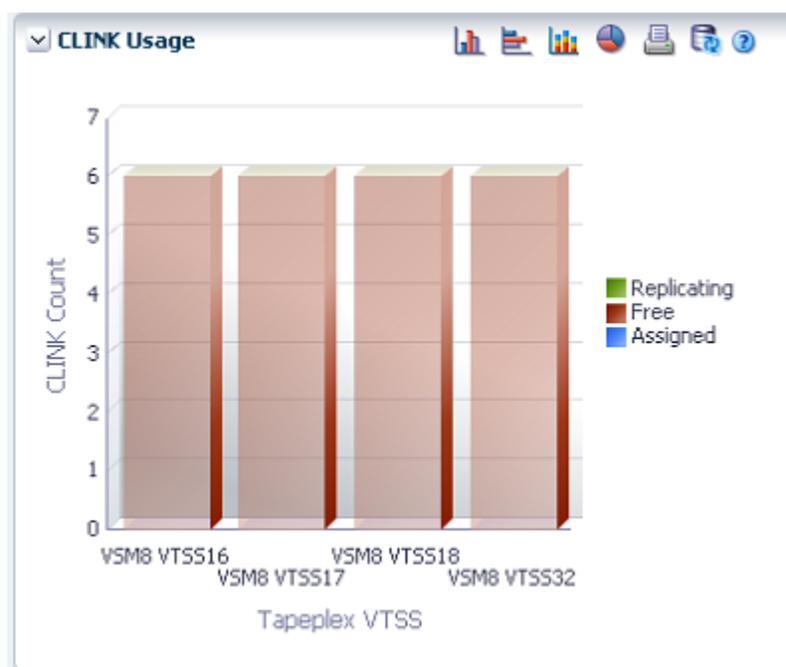
グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します

アイコン	名前	説明
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## CLINK Usage

このグラフには、VTSS ごとの現在の CLINK 使用状況が現在の使用状況状態でソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

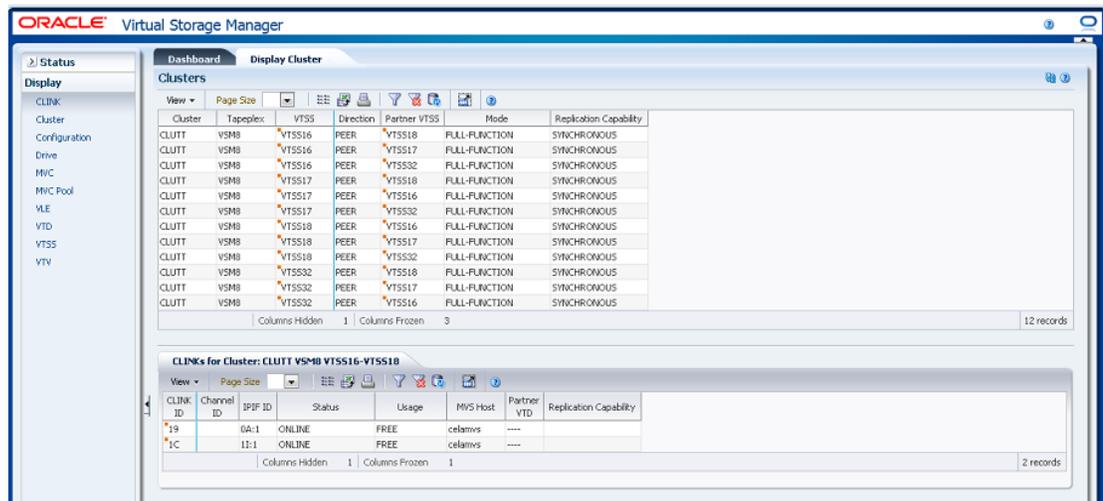
アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します

アイコン	名前	説明
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display Cluster

このペインには、クラスタ情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**Cluster**」を選択します。



The screenshot displays the Oracle Virtual Storage Manager (VSM) interface. The main window is titled 'Display Cluster' and shows a table of clusters. The table has the following columns: Cluster, Tapeplex, VTSS, Direction, Partner VTSS, Mode, and Replication Capability. The data rows show clusters like CLUTT VSM8 connected to various VTSS units (VTSS16, VTSS17, VTSS18, VTSS32) in FULL-FUNCTION mode with SYNCHRONOUS replication capability. Below the main table, there is a sub-table titled 'CLINKs for Cluster: CLUTT VSM8 VTSS16-VTSS18'. This sub-table has columns: CLINK ID, Channel ID, IPF ID, Status, Usage, MVS Host, Partner YTD, and Replication Capability. It shows two CLINKs (19 and 1C) in ONLINE status with FREE usage on celamsv hosts.

## Clusters

このデータ表には、クラスタ情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Cluster	Tapeplex	VTSS	Direction	Partner VTSS	Mode	Replication Capability
CLUTT	V5M8	VTSS16	PEER	VTSS18	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS16	PEER	VTSS17	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS16	PEER	VTSS32	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS17	PEER	VTSS18	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS17	PEER	VTSS16	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS17	PEER	VTSS32	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS18	PEER	VTSS16	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS18	PEER	VTSS17	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS18	PEER	VTSS32	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS32	PEER	VTSS18	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS32	PEER	VTSS17	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	V5M8	VTSS32	PEER	VTSS16	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

行を選択すると、「[CLINKs for Cluster](#)」データ表内にそのクラスタのデータが表示されます。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Cluster	クラスタ名。
Tapeplex	TapePlex 名。
VTSS	クラスタ内のいずれかの VTSS。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Direction	VTSS 間のリンクの方向であり、次のいずれかです。  -----> または <----- は、単方向クラスタ内の VTV レプリケーションの方向を示します。VTV は、送信側 VTSS から受信側 VTSS にのみレプリケートできます。  <-----> は、VTSS が双方向 (ピアツーピア) クラスタとして構成されていることを示します。VTV は、どちらの VTSS からでももう一方の VTSS にレプリケートできます。
Partner VTSS	クラスタ内のパートナー VTSS。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Mode	次のクラスタ動作モードのいずれかです。

列	説明
	<p><b>ASync-REPLICATE:</b> クラスタ内の両方の VTSS が VTCS に対してオンラインです。本番ワークロードはどちらの VTSS にも移動できますが、単方向(プライマリ/セカンダリ)クラスタの場合、VTV は送信側 VTSS からのみレプリケートできます。同期レプリケーションがクラスタ全体で有効になっていません。</p> <p><b>SYNc-REPLICATE:</b> クラスタ内の両方の VTSS が VTCS に対してオンラインです。本番ワークロードはどちらの VTSS にも移動できますが、単方向(プライマリ/セカンダリ)クラスタの場合、VTV は送信側 VTSS からのみレプリケートできます。同期レプリケーションがクラスタ全体で有効になっています。</p> <p><b>DEGRADED:</b> 双方向ピアツーピアクラスタ内の 2 つの VTSS のいずれかがオフラインまたは静止状態です。本番ワークロードは、残りのオンライン VTSS に移動できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV が残りの VTSS に割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できず、かつ適切でない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、もう一方の VTSS がオンラインになったときのレプリケーション用にキューに入れられます。もう一方の VTSS がオンラインになると、VTCS が両方の VTSS の内容を調整します。</p> <p><b>DEGRADED SECONDARY:</b> プライマリは VTCS に対してオンラインであり、セカンダリはオフラインまたは静止状態です。ワークロードは、プライマリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がプライマリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、セカンダリがオンラインになったときに実行されるレプリケーション用にキューに入れられます。</p> <p><b>DEGRADED PRIMARY:</b> セカンダリは VTCS に対してオンラインであり、プライマリはオフラインまたは静止状態です。ワークロードは、セカンダリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がセカンダリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。プライマリがオンラインに戻ると、VTCS がプライマリとセカンダリの内容を調整します。</p> <p><b>NON-OPERATIONAL:</b> このクラスタ上ではどのワークロードも使用できません。</p> <p><b>CLINKS OFFLINE:</b> 定義されているすべての CLINK がオフラインです。このクラスタ上ではどのワークロードも使用できません。</p> <p><b>ONLY SECONDARY:</b> セカンダリは VTCS に対してオンラインであり、プライマリにはオンラインの CLINK がありません。ワークロードは、セカンダリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がセカンダリに</p>

列	説明
	<p>割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。</p> <p><b>ONLY PRIMARY:</b> プライマリは VTCS に対してオンラインであり、セカンダリにはオンラインの CLINK がありません。ワークロードは、プライマリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がプライマリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、レプリケーション用にキューに入れられます。</p> <p><b>FULL-FUNCTION:</b> 両方の VTSS が動作可能であることを示します。どちらかの VTSS の状態に異常が発生した場合、その VTSS は縮退または動作不可能として報告されます。</p> <p>ファイルが、あるボリュームの最後から別のボリュームにまたがったときの MVC チェーンを追跡します。</p>
Replication Capability	クラスタが同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

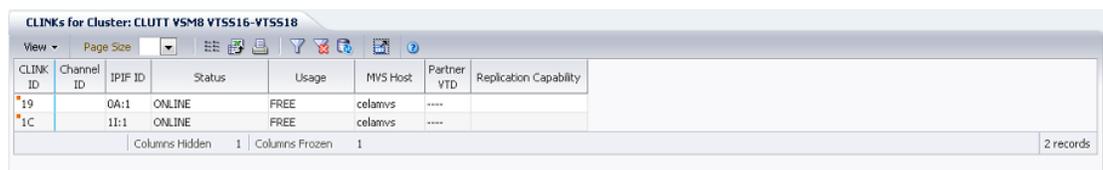
表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## CLINKs for Cluster

このデータ表には、「[Clusters](#)」データ表で選択されたクラスタの CLINK が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



CLINK ID	Channel ID	IPIF ID	Status	Usage	MYS Host	Partner VTD	Replication Capability
19	0A:1		ONLINE	FREE	celamvs	----	
1C	1I:1		ONLINE	FREE	celamvs	----	

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
CLINK ID	VTSS 内の CLINK に割り当てられている CLINK ID。
Channel ID	CLINK の接続先のバックエンドチャンネルインタフェース。
IPIF ID	CLINK の IPIF ID。
Status	次のいずれかです。  Maint: リンクに障害が発生したか、またはリンクが保守モードに移行しました。  OFFLINE: リンクはオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。  ONLINE: リンクはオンラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できます。  ON-SYNC: 同期レプリケーションに使用できます。  ON-ASYNC: 非同期レプリケーションに使用できます。  P_OFFLINE: リンクはオフライン中です。  P_ONLINE: リンクはオンライン中です。  RECOVERY: リンクは、エラーまたはオンライン移行操作のあとのリセット中です。  UNUSABLE: ハードウェアエラーまたは割り当て先不明状態のために、レプリケーションに使用できません。  UUI ERR: これは電子エクスポート用に定義された CLINK であり、リモート VTCS に接続できなくなりました。この問題の原因を示すメッセージが HSC JOBLG 内に存在します。これには、定義 (ローカル SMC またはリモート VTCS 上のリモート HTTP サーバー) に関する問題が含まれる可能性があります。
Usage	次のいずれかです。  Assigned: リンクは「HOST」フィールド内のホストに割り当てられていますが、現在レプリケートしていません。この使用状況は、VTCS がリンクの使用を開始または終了しているか、あるいはレプリケーションの失敗のあとにリンク上のエラーを回復しようとしている場合に発生します。  Free: リンクはアイドル状態です (レプリケーションを実行していません)。  Replicating: リンクはアクティブにレプリケーションを実行しています。
MVS Host	リンクの割り当て先のホスト。

列	説明
Partner VTD	接続のもう一方の端点を形成するパートナー VTSS 上の VTD のアドレス。クラスタリンクの場合は、VTD の MVS アドレスが報告されます。電子エクスポートリンクの場合は、もう一方の TapePlex 構成にアクセスできないため、これは不可能です。この場合は、VTV の順序番号のみが報告されます。
Replication Capability	CLINK が同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset filter	データフィルタをリセットします

アイコン	名前	説明
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display Configuration

このペインには、構成情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**Configuration**」を選択します。



異なる TapePlex の間を移動するには、「**First**」、「**Previous**」、「**Next**」、「**Last**」ボタンを使用します。

フォームデータを印刷のために別のウィンドウに表示するには、「**Print**」アイコンをクリックします。

VSM GUI データベースからデータをリフレッシュするには「**Refresh**」アイコンを、またはホスト上で適切な ELS コマンドを実行することによって実際の構成データをリフレッシュするには「**Run ELS**」アイコンをクリックします。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
VTSS Subsystems	TapePlex 内の VTSS の数を示します。
Global Max VTV	1 つの MVC に移行できる VTV の最大数を示します。
Global MVC Free	VTCS が自動スペースリクレ임을開始する原因となる、MVC プール内の空き MVC の最小数を示します。
Global VTV Attribute	VTCS がいつ VTV に管理クラスを割り当てるかを示します。VTCS が VTV をマウントするたびにクラスを割り当てる「ALLmount」か、または VTCS が VTV のスクラッチマウントを実行した場合にのみクラスを割り当てる「Scratch」のどちらかです。
Global Recall with Error	リコールおよび排出操作中に VTCS が読み取りデータチェックで VTV をリコールするかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Replication	VSM がいつ VTV をレプリケートするかを示します。VTV がマウント解除されるたびにレプリケートする「Always」か、または VTV がマウントされている間に変更された場合にのみレプリケートする「Changed」のどちらかです。
Global VTV Page Size	VTSS 内および MVC 上に格納される VTV データのページサイズを示します。「Standard」または「Large」のどちらかです。
Global Sync Replicate	VTV 同期レプリケーション機能が有効になっているかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Max RTDs	サポートされている RTD の最大数を示します。
Global Fast Migrate	積み重ね/ストリーミングの移行機能が有効になっているかどうかを示します。移行のための積み重ねの方法を有効にする「Stacked」(または「Yes」)、ストリーミングの方法を有効にする「Stream」、この機能を無効にする「No」のいずれかです。
Global Init MVC	初期化されていない MVC を、それが最初にマウントされたときに初期化するかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Maximum VTV Size (MB)	VTV の作成中に使用されるデフォルトの最大 VTV サイズを示します。
Global Fast Reclaim	VTCS が Early Time to First Byte (ETTFB) 並行テープリコール/マウントを実行するかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Locktout	メッセージ SLS6946E が発行される前にリソースがロックされる最小分数を示します。

列	説明
Global Non-Library Drain	VTCS が排出/リクレイム処理で非ライブラリ常駐 MVC を受け入れるかどうかを示します。非ライブラリ MVC をマウントする「Yes」か、またはマウントを抑制してこの要求を削除する「No」のどちらかです。
Global Non-Library Migrate	移行処理で非ライブラリ常駐 MVC を選択するかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global Non-Library Reclaim	リクレイム処理で非ライブラリ常駐 MVC を選択するかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Global MVC Mount Timeout (mins)	MVC マウントのタイムアウトが発生する分単位の値を示します。
Global Log Policy	VTCS CDS ロギングが「Optional」(オプション)または「Required」(必須)のどちらであるかを示します。
Global Lock Structure	VTCS ロックデータを保持するカップリングファシリティ構造を示します。
CDS Compatible Level 7.0	CDS が ELS リリース 7.0 と互換性があることを示します。
CDS Compatible Level 7.1	CDS が ELS リリース 7.1 と互換性があることを示します。
CDS Compatible Level 7.2	CDS が ELS リリース 7.2 と互換性があることを示します。
CDS Compatible Level 7.3	CDS が ELS リリース 7.3 と互換性があることを示します。
Reclaim Max MVC	1 つのスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数を示します。
Reclaim Start	各 ACS に対して自動スペースリクレイムを開始するパーセンテージのレベルを示します。
Reclaim Max Concurrent MVCs	VTCS が排出とリクレイムの両方で同時に処理する MVC の最大数を示します。
Reclaim Threshold (%)	MVC を要求または自動リクレイムの対象にする、断片化された領域のパーセンテージを示します。
Reclaim Threshold (%) - VL	仮想 MVC (VMVC) を要求または自動リクレイムの対象にする、断片化された領域のパーセンテージを示します
Global Reclaim Inplace	VTCS 内で動的リクレイムのサポートが有効になっているかどうかを示します。「Yes」または「No」のどちらかです。
Reclaim Inplace Threshold (%)	パーティション分割されたフォーマットの MVC をスペースリクレイム処理の対象にする、断片化された領域のパーセンテージを示します。
Reclaim Protect	MVC が排出またはリクレイムされたあとに再利用されないようにする(または保護する)ための時間(時間単位)を示します。
CDS Free Blocks Refreshed	必要な最小の領域と CDS のサイズの差。 データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display Drive

このペインには、実テープドライブおよび仮想実テープドライブ情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「Display」および「Drive」を選択します。

**Drives (RTDs and vRTDs)**

Tapeplex	Device Address	VLE	Device Type	Owner VTSS / VLE	Partitioning Support	ACS	LSM	Status	MVC Allocated	MVC Moun
VSM8	8803		T1D34	VTSS16	YES	00	02	CELA :MIGRATE	TQ1020	TQ1010
VSM8	8804		T1D34	VTSS18	YES	00	03	CELA :MIGRATE	TQ1017	TQ1010
VSM8	8814		T9840C			00	01	ONLINE/FREE		
VSM8	8815		T9840C			00	03	ONLINE/FREE		
VSM8	8818		T9840D			00	02	ONLINE/FREE		
VSM8	8819		T9840D			00	02	ONLINE/FREE		
VSM8	881A		T9840D			00	03	ONLINE/FREE		
VSM8	881B		T9840D			00	01	ONLINE/FREE		
VSM8	D500		T1B34	VTSS16	YES	01	00	CELA :MIGRATE	INW128	INW128
VSM8	D501		T1B34	VTSS17	YES	01	00	CELA :MIGRATE	INW136	INW136
VSM8	D502		T1B34	VTSS18	YES	01	00	CELA :MIGRATE	INW126	INW126
VSM8	D503		T1B34	VTSS18	YES	01	00	CELA :MIGRATE	INW134	INW134
VSM8	D508		T1C34		YES	01	00	ONLINE/FREE		
VSM8	D509		T1C34		YES	01	00	ONLINE/FREE		
VSM8	D50A		T1C34		YES	01	00	ONLINE/FREE		

**Paths to Drive: VSM8-8803**

VTSS	Path Name	Status	Channel ID	IPIF ID
VTSS16	V168803	ONLINE	OC:2	
VTSS17	V178803	ONLINE	OC:2	
VTSS18	V188803	ONLINE	OC:2	
VTSS32	8803	ONLINE	OC:0	

## Drives (RTDs and vRTDs)

このデータ表には、RTD および vRTD ドライブ情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Detached Table

Tapeplex	Device Address	VLE	Device Type	Owner VTSS / VLE	Partitioning Support	ACS	LSM	Status	MVC Allocated	MVC Mounted	MVS Host
VSM8	8803		T1D34	VTSS16	YES	00	02	CELA :MIGRATE	TQ1020	TQ1014	celamvs
VSM8	8804		T1D34	VTSS18	YES	00	03	CELA :MIGRATE	TQ1017	TQ1017	celamvs
VSM8	8814		T9840C			00	01	ONLINE/FREE			celamvs
VSM8	8815		T9840C			00	03	ONLINE/FREE			celamvs
VSM8	8818		T9840D			00	02	ONLINE/FREE			celamvs
VSM8	8819		T9840D			00	02	ONLINE/FREE			celamvs
VSM8	881A		T9840D			00	03	ONLINE/FREE			celamvs
VSM8	881B		T9840D			00	01	ONLINE/FREE			celamvs
VSM8	D501		T1B34	VTSS16	YES	01	00	CELA :MIGRATE	INW128	INW128	celamvs
VSM8	D501		T1B34	VTSS17	YES	01	00	CELA :MIGRATE	INW136	INW133	celamvs
VSM8	D502		T1B34	VTSS18	YES	01	00	CELA :MIGRATE	INW126	INW127	celamvs
VSM8	D503		T1B34	VTSS18	YES	01	00	CELA :MIGRATE	INW134	INW125	celamvs
VSM8	D508		T1C34		YES	01	00	ONLINE/FREE			celamvs
VSM8	D509		T1C34		YES	01	00	ONLINE/FREE			celamvs
VSM8	D50A		T1C34		YES	01	00	ONLINE/FREE			celamvs

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

行をクリックすると、「[Paths to Drive](#)」データ表内にそのドライブのパスが表示されます。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex の名前。
Device Address	RTD アドレス。  コンテキストメニュー: 「Vary Drive」。
VLE	vRTD がオンである VLE。
Owner VTSS	現在この RTD に接続されている VTSS。
Device Type	この RTD のデバイスタイプ (RTD タイプ)。
Partitioning Support	パーティション分割のサポートの設定。「Yes」、「No」、「Unknown」のいずれかです。
ACS	この RTD の接続先の ACS。
LSM	この RTD の接続先の LSM。
Status	次の RTD ステータスのいずれかです。  RECOVER RTD: RTD は、問題、移行、または初期化のあとのリセット中です。  MIGRATE VTV: RTD は VTV を移行しています。  RECALL VTV: RTD は VTV をリコールしています。  UNLOAD MVC: RTD の強制的なアンロードが実行されています。  VTV TRANSFER: RTD は、別の VTSS で VTV をリコールする前にその VTV を移行しています。  AUDIT MVC: MVC が監査されています。  BUSY: RTD はビジー状態です (不特定のタスク)。  IDLE: RTD に MVC が割り当てられていますが、その MVC は使用されていません。

列	説明
	<p>ONLINE/FREE: RTD はオンラインであり、使用できます。</p> <p>MAINTENANCE: RTD は保守モードにあります。</p> <p>OFFLINE: RTD はオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。</p> <p>RECOVERY: RTD は、エラーまたはオンライン移行のあとのリセット中です。</p> <p>INITIALIZE: ホストは RTD のステータスと可用性を確認しています。</p> <p>SUSPEND: RTD 操作が中断されています。これは、同じポート上に 1 つ以上の RTD と CLINK が構成されている場合に発生します。CLINK がオンラインの間、RTD は SUSPEND モードのままになります。</p> <p>PATH OFFLINE: VTSS が RTD に接続できないため、またはパスが正しく構成されなかった場合、RTD ステータスは不明です。</p> <p>PATH SUSPEND: RTD はグローバルにオンラインですが、RTD が Clink とペアになっているため、VTSS からのパスは中断されています。</p> <p>FAIL/OFFLINE: RTD は障害のためにオフラインになりました。</p> <p>TOP ID: このホストからこの RTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求のプロセス ID。</p> <p>TOP HOST: この RTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求が存在するホスト。</p>
MVC Allocated	この RTD へのマウントのために割り当てられている MVC の volser。
MVC Mounted	現在 RTD にマウントされている MVC。
MVS Host	現在 RTD を所有しているホスト。
MVC Volser	現在 RTD にマウントされているか、またはマウントのために RTD に割り当てられている MVC の volser。
Requests Queued	現在キューに入れられている要求の数。
Allocation Time Remaining (mins)	残りの割り当て時間 (分単位)。
Local Wait Time (mins)	ローカルの待機時間 (分単位)。
Global Wait Time (mins)	グローバルの待機時間 (分単位)。
Internal Device Type	デバイスタイプの内部のコーディング。
Serial Number	RTD のシリアル番号。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

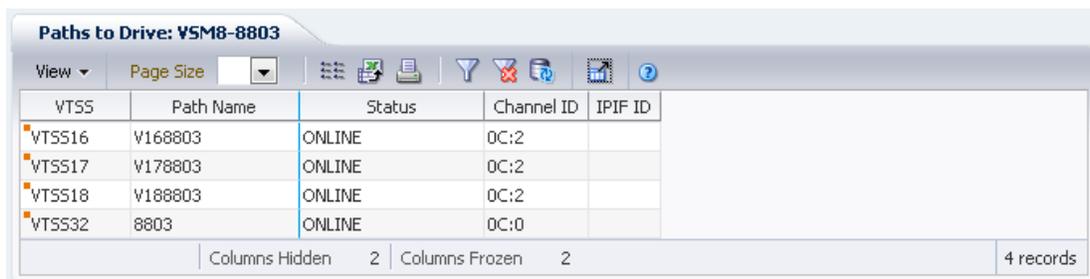
アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。

アイコン	名前	説明
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Paths to Drive

このデータ表には、選択されたドライブに関するパス情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



VTSS	Path Name	Status	Channel ID	IPIF ID
VTSS16	V168803	ONLINE	0C:2	
VTSS17	V178803	ONLINE	0C:2	
VTSS18	V188803	ONLINE	0C:2	
VTSS32	8803	ONLINE	0C:0	

Columns Hidden: 2 | Columns Frozen: 2 | 4 records

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
VTSS	VTSS 名。
Path Name	ドライブのパス名。
Status	ドライブの現在のステータス。  RECOVER RTD: RTD は、問題、移行、または初期化のあとのリセット中です。  MIGRATE VTV: RTD は VTV を移行しています。  RECALL VTV: RTD は VTV をリコールしています。  UNLOAD MVC: RTD の強制的なアンロードが実行されています。  VTV TRANSFER: RTD は、別の VTSS で VTV をリコールする前にその VTV を移行しています。

列	説明
	AUDIT MVC: MVC が監査されています。
	BUSY: RTD はビジー状態です (不特定のタスク)。
	IDLE: RTD に MVC が割り当てられていますが、その MVC は使用されていません。
	ONLINE/FREE: RTD はオンラインであり、使用できます。
	MAINTENANCE: RTD は保守モードにあります。
	OFFLINE: RTD はオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。
	RECOVERY: RTD は、エラーまたはオンライン移行のあとのリセット中です。
	INITIALIZE: ホストは RTD のステータスと可用性を確認しています。
	SUSPEND: RTD 操作が中断されています。これは、同じポート上に 1 つ以上の RTD と CLINK が構成されている場合に発生します。CLINK がオンラインの間、RTD は SUSPEND モードのままになります。
	PATH OFFLINE: VTSS が RTD に接続できないため、またはパスが正しく構成されなかった場合、RTD ステータスは不明です。
	PATH SUSPEND: RTD はグローバルにオンラインですが、RTD が Clink とペアになっているため、VTSS からのパスは中断されています。
	FAIL/OFFLINE: RTD は障害のためにオフラインになりました。
	TOP ID: このホストからこの RTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求のプロセス ID。
	TOP HOST: この RTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求が存在するホスト。
Channel ID	ドライブパスのチャンネル ID。
IPIF ID	パスに対して指定された IPIF 値。
Logical Device ID	パスに割り当てられている論理デバイス ID。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

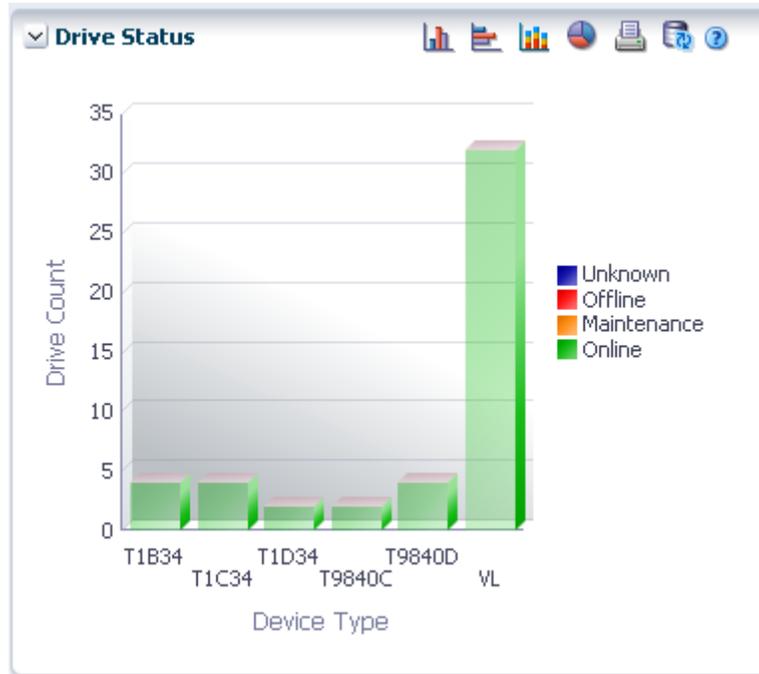
複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Drive Status

このグラフには、デバイスタイプごとの現在のドライブ数がドライブのステータスでソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ内の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

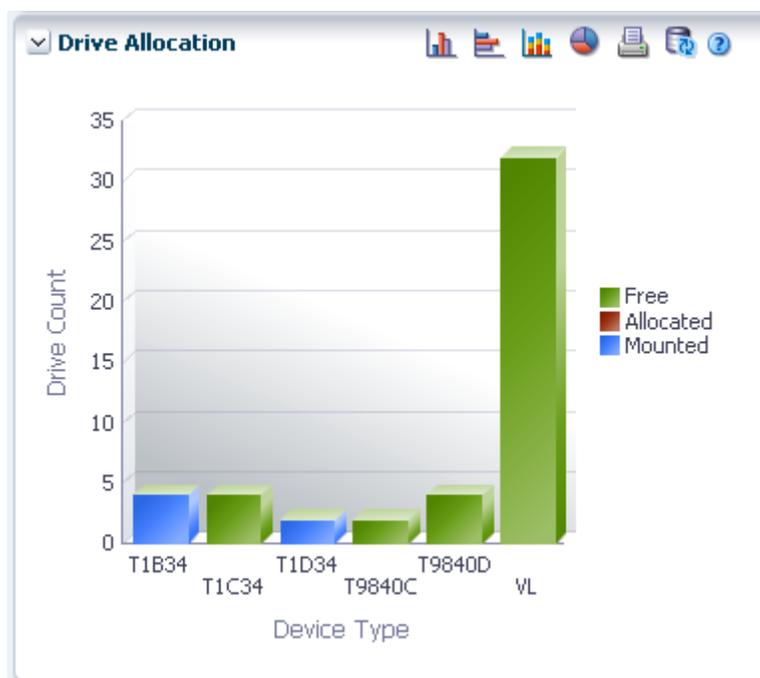
グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します

アイコン	名前	説明
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Drive Allocation

このグラフには、デバイスタイプごとの現在のドライブ数が割り当て状態でソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

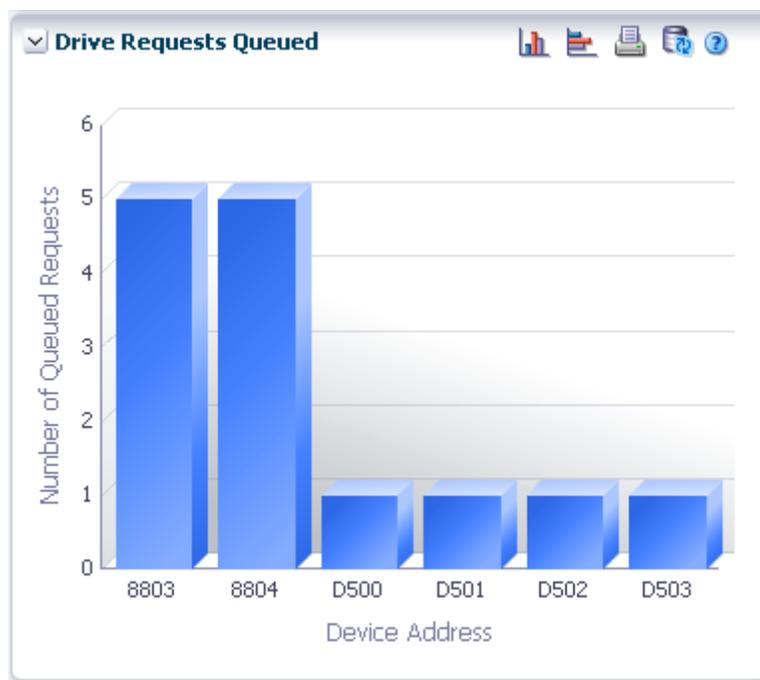
オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Drive Requests Queued

このグラフには、各デバイスアドレスでキューに入れられている現在の要求の数が表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

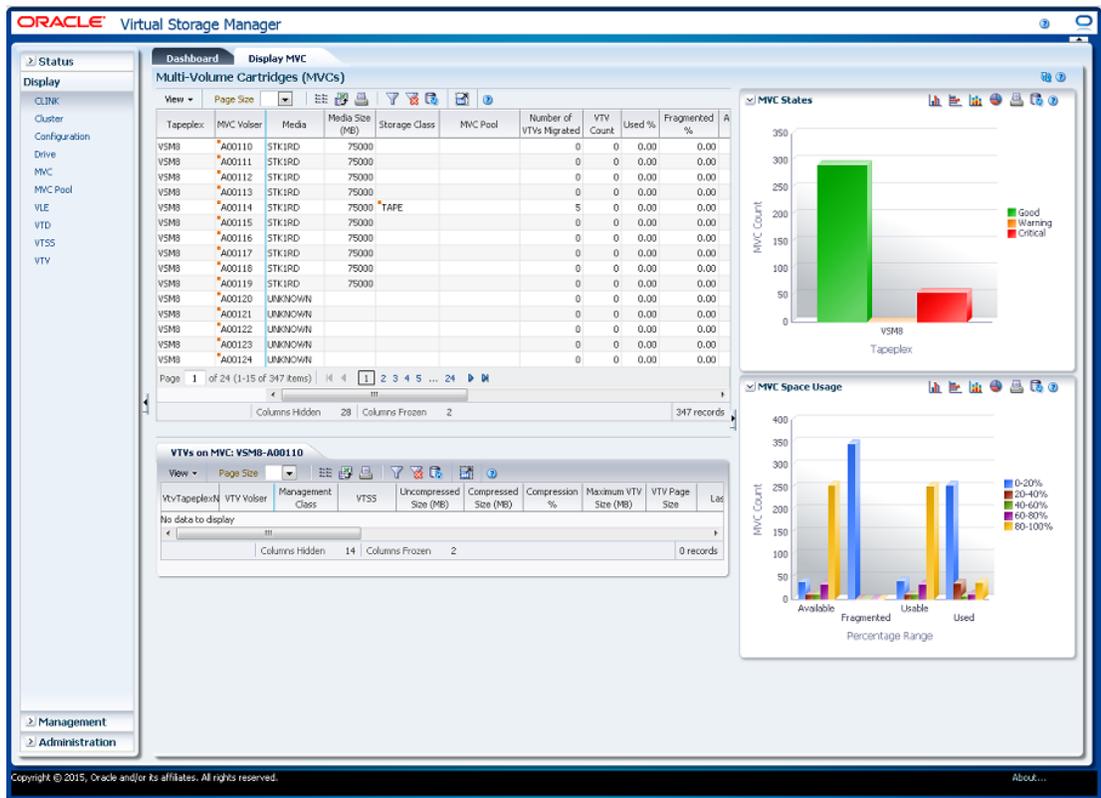
アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します

アイコン	名前	説明
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display MVC

このペインには、マルチボリュームカートリッジ情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「Display」および「MVC」を選択します。



The screenshot displays the Oracle Virtual Storage Manager interface. The main window shows a table titled "Multi-Volume Cartridges (MVCs)" with columns: Tapeplex, MVC Volser, Media, Media Size (MB), Storage Class, MVC Pool, Number of VTVs Migrated, VTV Count, Used %, and Fragmented %. The table lists 24 records for various MVCs, including VSM8 A00110 through A00124. Below the table, there are two charts: "MVC States" showing a bar chart with categories Good (green), Warning (yellow), and Critical (red); and "MVC Space Usage" showing a bar chart with categories Available, Fragmented, Usable, and Used, each broken down by percentage ranges (0-20%, 20-40%, 40-60%, 60-80%, 80-100%).

## Multi-Volume Cartridges (MVCs)

このデータ表には、MVC 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Tapeplex	MVC Volser	Media	Media Size (MB)	Storage Class	MVC Pool	Number of VTVs Migrated	VTV Count	Used %	Fragmented %	Available %	Usable %	Times Mounted	Last Mounted	Last Migration	Last Drain/Reclaim	VTSS Last Mounted	Initialized
VSNB	A00110	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:10				NO
VSNB	A00111	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:11				NO
VSNB	A00112	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:10				NO
VSNB	A00113	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:11				NO
VSNB	A00114	STKLRD	75000	TAPE		5	0	0.00	0.00	100.00	100.00	2	2014-10-30 13:30				NO
VSNB	A00115	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:11	2014-10-30 13:12		VTSS17	STANDARD
VSNB	A00116	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:12				NO
VSNB	A00117	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:13				NO
VSNB	A00118	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:12				NO
VSNB	A00119	STKLRD	75000			0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	1	2014-10-30 13:14				NO
VSNB	A00120	UNKNOWN				0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	0					NO
VSNB	A00121	UNKNOWN				0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	0					NO
VSNB	A00122	UNKNOWN				0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	0					NO
VSNB	A00123	UNKNOWN				0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	0					NO
VSNB	A00124	UNKNOWN				0	0	0.00	0.00	100.00	100.00	0					NO

行をクリックすると、「[VTVs on MVC](#)」データ表内にその MVC の VTV が表示されます。

一部のフィールドのステータスは、ステータスインジケータで要約されています。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	MVC が属する TapePlex。
MVC Volser	MVC の volser。

列	説明
	コンテキストメニュー: 「Audit MVC Volser」、 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
Media	ボリュームのメディアタイプまたは記録技法。  「Need PTF」が表示されている場合、このホストはこのメディアタイプをサポートしていませんが、別のホストがこのメディアタイプをサポートしています。
Media Size (MB)	MVC のサイズ (M バイト単位)。
Storage Class	MVC を所有しているストレージクラス。MVC がストレージクラスのメンバーになるのは、移行された VTV を含んでいる場合だけです。  コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
MVC Pool	MVC が含まれている MVC プールの名前。  コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」。
Number of VTVs Migrated	この MVC に移行された現在の VTV の数。
VTV Count	MVC 上のアクティブな VTV の数。
Used Percentage	現在の VTV によって使用されている MVC のパーセンテージ。
Fragmented Percentage	最新でない VTV を含む MVC のパーセンテージ。この領域は、それがリクレイムされるか、または MVC が排出されるまで使用できません。
Available Percentage	物理的に使用できる MVC のパーセンテージ。
Usable Percentage	VTCS で使用できる MVC 上の領域のパーセンテージ。これは、物理的に使用可能な領域がまだ存在する場合でも 0 である可能性があります。たとえば、MVC あたりの VTV の上限に達した場合、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。同様に、MVC に対してエラーが報告された場合、VTCS はこの MVC を出力に使用しないため、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。
Times Mounted	この MVC が MVC インベントリに追加されたあと、書き込みまたは読み取りのためにマウントされた回数。
Last Mounted	この MVC が RTD にマウントされたか、またはマウントが試行された日付と時間。
Last Migration	この MVC に対して VTV 移行が最後に実行された日付と時間。
Last Drain/Reclaim	この MVC が排出またはリクレイム処理によって最後に処理され、そのテープの終わりのポインタがリセットされた日付と時間。
VTSS Last Mounted	この MVC への移行を実行した最後の VTSS の名前。  コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Initialized	この MVC の初期化ステータスを示します。「standard」、 「partitioned」、 「not initialized」のいずれかです。

列	説明
Audit	この MVC が現在監査されているか、または失敗した監査の対象になっていたかどうかを示します。この状態にある間、MVC は移行に使用されませんが、リコールには使用できます。固有の状態であり、CDS がまだ MVC の内容に追いついていないため、リコールは失敗する可能性があります。この状態をクリアするには、この MVC に対して監査を再実行します。
Broken	MVC、ドライブ、またはこの 2 つの組み合わせに問題があるかどうかを示します。VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。この問題の原因が MVC である場合は、DRAIN(EJECT) コマンドを使用してサービスから MVC を削除します。この問題の原因が RTD である場合は、MVCMAINT ユーティリティーを使用して MVC の状態をリセットします。
Consolidation	この MVC が統合 MVC であるかどうかを示します。
Data Check	<p>この MVC に対してデータチェック状態が報告されました。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。この状態になる場合は、2 つの異なる RTD でデータ転送が失敗しています。</p> <p>この状態をクリアするには、次のようにします。</p> <p>MVC 上のすべての VTV が二重化されている場合は、「Eject」オプションなしで MVC 上で「MVC Drain」を使用します。これにより、すべての VTV が回復され、サービスから MVC が削除されます。</p> <p>MVC 上に二重化されていない VTV が存在する場合は、MVC に対して VTCS AUDIT を実行します。この監査は失敗する可能性があります。監査のあと、MVC DRAIN (イジェクトなし) を実行します。これにより、データチェック領域の前にある VTV はブロック ID の昇順に、データチェック領域のあとにある VTV はブロック ID の降順にリコールされます。この順序で VTV を処理すると、VTCS がメディアからできるだけ多くの VTV を回復できるようになります。そのあと、まだ MVC 上に存在するすべての VTV についてデータを再作成する必要があります。</p> <p>これはデータ転送を実行しているときに特定の障害が発生したことを示しますが、メディアの障害ではないことがあります。RTD が仕様外のメディアにデータを書き込んでいる可能性もあります。そのため、障害のパターンが重要です。例として、多数のドライブやボリュームで突然、大量の DATA CHECK 状態が発生する場合があります。</p>
Deduplication	この MVC が複製解除されているかどうかを示します。
Drain	この MVC が現在、排出またはリクレーム処理の対象であるかどうかを示します。処理が失敗した場合、MVC は保護手段としてこの状態のままになることがあります。この状態をクリアするには、MVC に対して MVC DRain を実行します。
Eject	この MVC が取り出されたかどうかを示します。
Export	この MVC がエクスポート MVC であるかどうかを示します。

列	説明
Full	この MVC 上に空き領域がないかどうかを示します。
Invalid MIR	<p>VTCS が 9x40 メディアの MIR (メディア情報レコード) が無効であることを示すステータスを RTD から受信したかどうかを示します。MIR が無効でもデータへのアクセスは妨げられませんが、テープ上のレコードへのアクセス中に重大なパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。この MVC は、有効な MIR エントリが含まれていないテープの領域に対して高速検索を実行できません。</p> <p>VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。リコールでは、VTV が複数の MVC 上に存在する場合、VTCS は無効な MIR を含む MVC の前に有効な MIR を含む MVC を選択します。移行がテープの先頭から開始される場合を除き、VTCS は無効な MIR を含む MVC を移行に使用しないようにします。テープの先頭から移行した場合は、MIR が修正されます。VTCS は、無効な MIR の状態をマウント時またはマウント解除時のどちらかに検出します。マウント時に検出され、別の MVC で操作を完了できる場合、VTCS は最初の MVC をマウント解除して代替 MVC を選択します。</p> <p>代替 MVC に切り替える VTCS の機能はごく限られています。つまり、これは主に移行と仮想マウントに使用されます。無効な MIR を含む MVC については、エラーの原因 (メディアまたはドライブの問題である可能性があります) を特定し、そのエラーを修正します。無効な MIR を含む MVC を回復するには、VTCS 監査を使用して、テープの最後まで MVC を読み取ります。メディアが問題である場合は、MVCDRAIN EJECT を実行して VTV をリコールし、MVC プールから MVC が削除されるようにします。</p>
Lost	<p>VTCS が MVC のマウントを試行し、15 分のタイムアウト期間内にそのマウントが完了しなかったかどうかを示します。ハードウェアの問題、HSC の問題、または MVC の ACS からの削除の組み合わせが発生した可能性はありますが、VTCS には特定のエラー報告がありませんでした。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。エラーの原因を特定し、それを修正します。</p> <p>次のイベントの場合は、VTCS MVCMAINT ユーティリティを使用して LOST(OFF) を設定することもできます。</p> <p>すでに解決されている LSM の障害またはドライブエラーのために LOST(ON) が設定された場合。</p> <p>MVC が ACS の外部にあったために LOST(ON) が設定され、その MVC が再入力されている場合。</p> <p>そのあとに MVC のマウントが要求され、これが成功した場合、この状態は VTCS によって自動的にクリアされます。</p>
Maximum VTV	この MVC が VTV の最大数に達したかどうかを示します。
Mounted	この MVC が RTD にマウントされているかどうかを示します。

列	説明
Protected	この MVC が保護されているかどうかを示します。
Read-only	この MVC が読み取り専用とマークされているかどうかを示します。  これが、MVC がエクスポートまたは統合プロセスのターゲットになっているためである場合、読み取り専用状態によって MVC はそれ以上更新されなくなります。  MVC メディアがファイル保護に設定されている場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティを使用して READONLY(OFF) を設定します。MVC に VTCS による MVC の更新を可能にする適切な SAF ルールが設定されていない場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティを使用して READONLY(OFF) を設定します。
Retired	この MVC が耐用期限切れになり、VTCS によってその有効寿命の終わりに達したと見なされているかどうかを示します。VTCS はこの MVC からリコールしますが、この MVC には移行しません。この MVC をできるだけ早く置き換えてください。これを実行したら、MVCMAINT ユーティリティを使用して RETIRED(OFF) を設定します。
Usable	この MVC を移行に使用できるかどうかを示します。
Warranty Expired	この MVC の保証が期限切れになっているかどうかを示します。VTCS は引き続きこの MVC を使用しますが、その MVC が「Retired」状態に達したときに置き換えるための計画を作成し始めるようにしてください。
Last Verified	この MVC に対して VTV メディアの確認が最後に実行された日付と時間。この日付には、MVC の内容が有効であることを VTCS が認識した最後の時間が反映されます。
ACS	この MVC が存在する ACD ID。
VLE	この MVC が存在する VLE。
Consolidated Date	統合 MVC の場合は、統合の日付と時間。
EOT Block ID	テープの終わりのブロック ID。
EOT Partition ID	テープの終わりのパーティション ID。
Block ID First Space	この MVC 上の最初の領域のブロック ID。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTVs on MVC

このデータ表には、「[Multi-Volume Cartridges \(MVCs\)](#)」データ表で選択された MVC 内のすべての VTV のリストが表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

VTV TapePlex	VTV Volser	Management Class	VTSS	Uncompressed Size (MB)	Compressed Size (MB)	Compression %	Maximum VTV Size (MB)	VTV Page Size	Last Mounted	Last Recall	Last Used	Created	Times Read	Copies to Migrate	Replication
VSM6	Y00243	T10KA	DV508	1000.00	252.65	75.00	4000	LARGE	2014-04-25 15:43	2014-04-25 15:43	2014-04-25 15:44	2014-04-25 15:33	2	1	NOT REPLICATED
VSM6	Y00270	T10KA	DV508	1000.00	252.65	75.00	4000	LARGE	2014-04-25 15:32		2014-04-25 15:42	2014-04-25 15:32	2	1	NOT REPLICATED
VSM6	Y00292	T10KA	DV508	600.00	600.00	0.00	4000	LARGE	2014-04-25 15:32		2014-04-25 15:42	2014-04-25 15:32	1	1	NOT REPLICATED
VSM6	Y00330	T10KA	DV508	700.16	700.16	0.00	4000	LARGE	2014-04-25 15:32		2014-04-25 15:42	2014-04-25 15:32	1	1	NOT REPLICATED
VSM6	Y00362	T10KA	DV508	800.00	800.00	0.00	4000	LARGE	2014-04-25 15:33		2014-04-25 15:42	2014-04-25 15:33	1	1	NOT REPLICATED
VSM6	Y00421	T10KA	DV508	900.16	900.16	0.00	4000	LARGE	2014-04-25 15:33		2014-04-25 15:42	2014-04-25 15:33	1	1	NOT REPLICATED
VSM6	Y00575	T10KA	DV508	1000.00	1000.00	0.00	4000	LARGE	2014-04-25 15:34		2014-04-25 15:42	2014-04-25 15:34	1	1	NOT REPLICATED

行をクリックすると、「MVCs Containing VTV」データ表内にその VTV の MVC が表示されます。

一部のフィールドのステータスは、ステータスインジケータで要約されています。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
TapePlex	この VTV が属する TapePlex の名前。
VTV Volser	この VTV のボリュームシリアル番号。 コンテキストメニュー: 「Reconcile VTV」。
Management Class	この VTV の管理クラスの名前。

列	説明
VTSS	この VTV が存在する VTSS。この VTV が移行されている場合は、その VTSS が最後に存在した VTSS。このフィールドが空である場合は、この VTV が存在しない (作成も使用もされていない、スクラッチされた、削除された) か、または手動でインポートされました。
Uncompressed Size (MB)	この VTV の非圧縮サイズ (M バイト単位)。これは、アプリケーションプログラムによって認識された VTV のサイズです。
Compressed Size (MB)	この VTV の圧縮サイズ (M バイト単位)。これは、MVC 上または VTSS 内で占有される生の容量です。
Compression Percentage	達成された VTV の圧縮率。これは、VTV の非圧縮サイズのパーセンテージとして表された、VTV の非圧縮サイズと VTV の圧縮サイズの違いです。0% の圧縮は、VTV 上で圧縮が不可能であったことを示します。
Maximum VTV Size (MB)	VTV の最大 (圧縮) サイズ (M バイト単位) (400、800、2000、または 4000)。
VTV Page Size	この VTV のページサイズ (「large」または「standard」)。
Last Mounted	この VTV の内容がアプリケーションによるアクセスのために最後にマウントされた日付と時間。
Last Recall	この VTV が MVC から元の VTSS に最後にリコールされた日付と時間。
Last Used	この VTV が VTCS によって最後に操作された日付と時間。これには、VTV のマウント、移行、リコール、スクラッチなど、VTV のステータスを更新するほとんどの機能が含まれます。
Created	この VTV の内容がアプリケーションによって最後に変更された日付と時間。
Times Read	この VTV が読み取られた回数。
Copies to Migrate	この VTV の移行コピーの数。
Replication	この VTV のレプリケーションステータスを示します。  NOT REPLICATED: この VTV はまだレプリケートされていません。  REPLICATION REQUIRED: この VTV はレプリケートされる予定であり、処理のために現在キューに入れられています。  REPLICATION STARTED: レプリケーションはこの VTV に対してアクティブですが、まだ完了していません。  REPLICATED: この VTV は「Replica VTSS」列で識別される VTSS にレプリケートされました。
Replica VTSS	レプリカ VTV が存在する VTSS。
Owning Tapeplex	レプリカ VTV が存在する TapePlex の名前。
Electronic Export	電子エクスポートのステータスを示します。

列	説明
	<p>EXPORT-NOT POSSIBLE: この VTV のリモート TapePlex へのエクスポートが試行されましたが、その要求は拒否されました。これは通常、リモート TapePlex 内に存在するこの VTV の別のコピーのためです。</p> <p>EXPORT-REJECTED: 電子エクスポートがアクティブに拒否されました。これは、ターゲットの TapePlex が VTV のインポートを許可していないためか、またはコピーステータスとの衝突のためである可能性があります。</p> <p>EXPORT-REQUIRED: この VTV は電子的にエクスポートされる予定であり、処理のために現在キューに入れられています。</p> <p>EXPORT-STARTED: 電子エクスポートはこの VTV に対してアクティブですが、まだ完了していません。</p>
Initialized	この VTV が初期化されたかどうかを示します。VTCS が VTV を少なくとも 1 回使用している場合、その VTV は初期化されています。CONFIG ユーティリティで定義されているが、まだ VTCS によって使用されていない VTV は初期化されていません。
Avoid Early Mount	この VTV に対する並行リコールまたはマウントでエラーが検出されたかどうかを示します。検出された場合、この VTV に対するそれ以上の並行リコールまたはマウントアクティビティは試行されません。
Consolidated	VSM がこの VTV を統合したかどうかを示します。
Fenced	VSM がこの VTV をフェンシングしたかどうかを示します。
Imported	VSM がこの VTV を別の TapePlex からインポートしたかどうかを示します。インポートされた VTV は変更したり、スクラッチマウントに使用したりできません。
Migrated	VSM がこの VTV を移行したかどうかを示します。
Migration Pending	VTV 移行が保留中かどうかを示します。このステータスは、VTV が最初に作成されたときか、または VTV に再統合またはアーカイブが必要になったときに表示されます。この後者の場合は、個々の MVC コピーが「Reconcile」または「Deletion」を示すことがあります。
Mounted	VTV が現在マウントされているかどうかを示します。
New Create	この VTV が新しく作成されたかどうかを示します。
Resident	この VTV が VTSS 上に存在するかどうかを示します。
Scratch	この VTV がスクラッチボリュームであるかどうかを示します。
Refresh	最後のリフレッシュの日付と時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

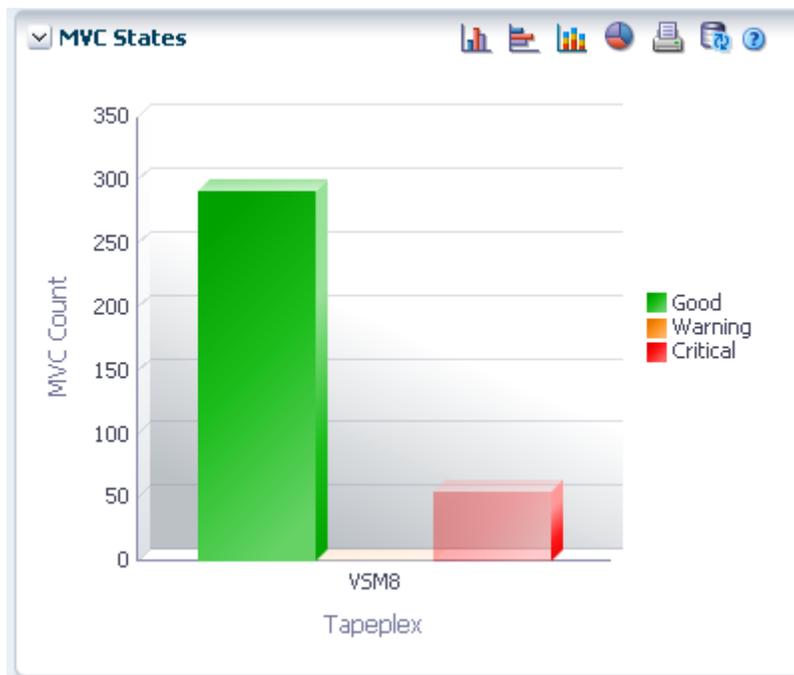
複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## MVC States

このグラフには、TapePlex ごとの MVC の数が、「Warning」、「Critical」、または「Good」として要約された現在の状態とともに表示されます。



「Warning」には、「Audit」、「Drain」、「Max VTV」、または「Warranty Expired」状態のうちの1つ以上を持つ MVC が含まれています。

「Critical」には、「Not usable」、「Broken」、「Data\_Check」、「Invalid MIR」、「Lost」、または「Retired」状態のうちの1つ以上を持つ MVC が含まれています。

「Good」には、上のどの状態でもない MVC が含まれています。

マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

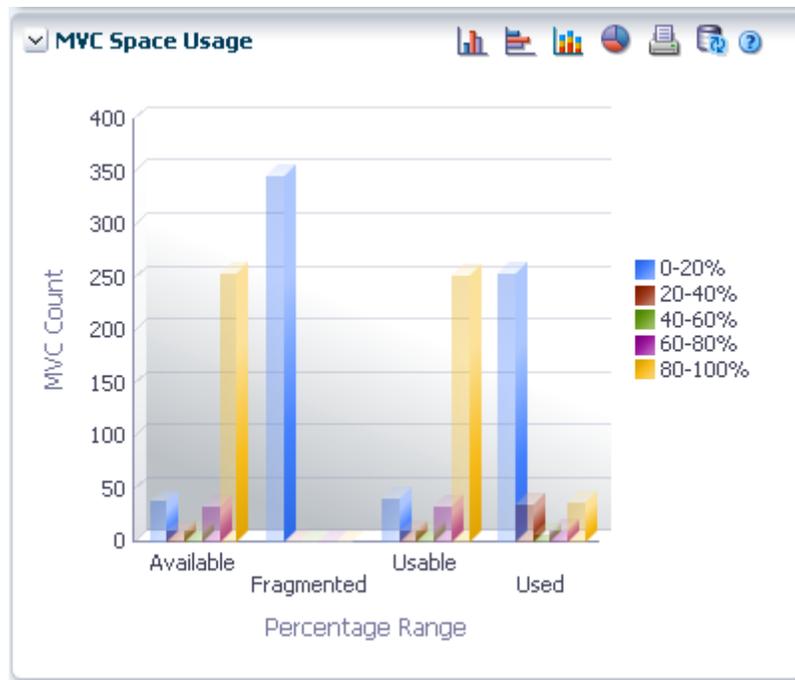
オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## MVC Space Usage

このグラフには、MVC 領域使用回数が使用タイプとパーセンテージの範囲でソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

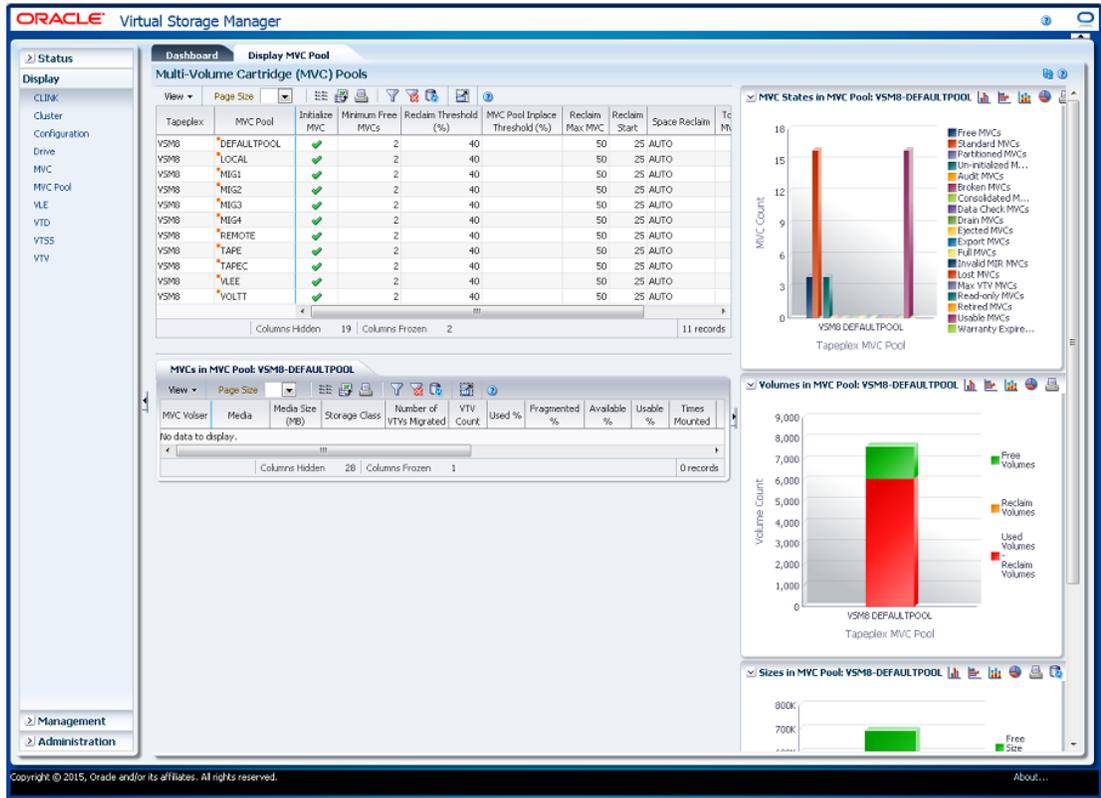
グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display MVC Pool

このペインには、マルチボリュームカートリッジプール情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**MVC Pool**」を選択します。



## Multi-Volume Cartridge (MVC) Pools

このデータ表には、MVC プール情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Detached Table

Tapeplex	MVC Pool	Initialize MVC	Minimum Free MVCs	Reclaim Threshold (%)	MVC Pool Inplace Threshold (%)	Reclaim Max MVC	Reclaim Start	Space Reclaim	Total MVCs	Free MVCs
VSM8	DEFAULTPOOL	✓	2	40	40	50	25 AUTO		20	4
VSM8	LOCAL	✓	2	40	40	50	25 AUTO		50	21
VSM8	MIG1	✓	2	40	40	50	25 AUTO		3	3
VSM8	MIG2	✓	2	40	40	50	25 AUTO		10	10
VSM8	MIG3	✓	2	40	40	50	25 AUTO		10	10
VSM8	MIG4	✓	2	40	40	50	25 AUTO		14	14
VSM8	REMOTE	✓	2	40	40	50	25 AUTO		40	17
VSM8	TAPE	✓	2	40	40	50	25 AUTO		54	26
VSM8	TAPEC	✓	2	40	40	50	25 AUTO		55	13
VSM8	VLEE	✓	2	40	40	50	25 AUTO		50	6
VSM8	VOLT	✓	2	40	40	50	25 AUTO		20	10

行をクリックすると、「MVCs in MVC Pool」データ表内にその MVC プールの MVC が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	この MVC プールが属する TapePlex。
MVC Pool	この MVC プールの名前。  コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」。
Initialize MVC	初期化されていない MVC を、それが最初にマウントされたときに初期化するかどうかを示します。
Minimum Free MVCs	空き MVC の最小数。
Reclaim Threshold Percentage	MVC をいつ要求または自動リクレイムの対象にするかを決定する、断片化された領域のしきい値 (パーセンテージ)。
MVC Pool Inplace Threshold Percentage	パーティション分割されたフォーマットの MVC をいつ動的リクレイム処理の対象にするかを決定する、断片化された領域のしきい値 (パーセンテージ)。
Reclaim Max MVC	1 回のリクレイムでの MVC の上限。
Reclaim Start	自動リクレイムをトリガーする、MVC の合計数に対するリクレイム候補のパーセンテージ。
Space Reclaim	スペースリクレイムの設定。
Total MVCs	この MVC プール内の MVC の数。
Free MVCs	この MVC プール内の空き MVC の総数。
Standard MVCs	この MVC プール内の初期化されている標準 MVC の数。
Partitioned MVCs	この MVC プール内の初期化されているパーティション分割された MVC の数。
Un-initiated MVCs	この MVC プール内の初期化されていない MVC の数。
Audit MVCs	ステータスが「AUDIT」である MVC の数。
Broken MVCs	ステータスが「BROKE」である MVC の数。
Consolidated MVCs	ステータスが「CONSOLIDATE」である MVC の数。
Data Check MVCs	データチェックを含む MVC の数。
Drain MVCs	ステータスが「DRAIN」である MVC の数。
Ejected MVCs	ステータスが「EJECTED」である MVC の数。

列	説明
Export MVCs	ステータスが「EXPORT」である MVC の数。
Full MVCs	「FULL」とマークされた MVC の数。
Invalid MIR MVCs	無効な MIR を含む MVC の数。
Lost MVCs	ステータスが「LOST」である MVC の数。
Max VTV MVCs	最大の VTV を含む MVC の数。
Read-only MVCs	「Read-Only」とマークされた MVC の数。
Retired MVCs	「RETIRED」とマークされた MVC の数。
Usable MVCs	使用可能な MVC の数。
Warranty Expired MVCs	保証が期限切れの MVC の数。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

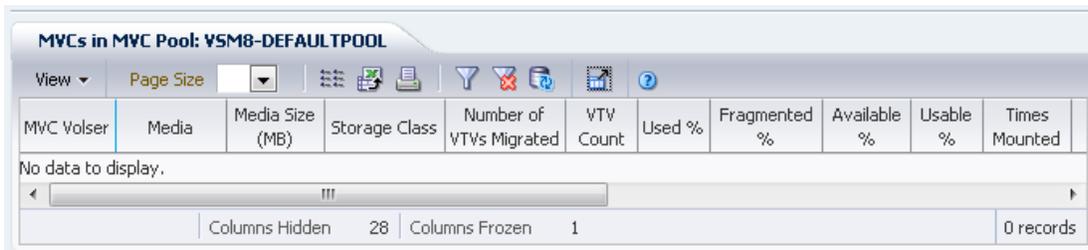
アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します

アイコン	名前	説明
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## MVCs in MVC Pool

このデータ表には、「[Multi-Volume Cartridge \(MVC\) Pools](#)」データ表で選択された MVC プール内のすべての MVC のリストが表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



行をクリックすると、「[VTVs on MVC](#)」データ表内にその MVC の VTV が表示されます。

一部のフィールドのステータスは、ステータスインジケータで要約されています。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。

アイコン	名前	説明
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	MVC が属する TapePlex。
MVC Volser	MVC の volser。  コンテキストメニュー: 「Audit MVC Volser」、 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
Media	ボリュームのメディアタイプまたは記録技法。  「Need PTF」 が表示されている場合、このホストはこのメディアタイプをサポートしていませんが、別のホストがこのメディアタイプをサポートしています。
Media Size (MB)	MVC のサイズ (M バイト単位)。
Storage Class	MVC を所有しているストレージクラス。MVC がストレージクラスのメンバーになるのは、移行された VTV を含んでいる場合だけです。  コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
MVC Pool	MVC が含まれている MVC プールの名前。  コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」。
Number of VTVs Migrated	この MVC に移行された現在の VTV の数。
VTV Count	MVC 上のアクティブな VTV の数。

列	説明
Used Percentage	現在の VTV によって使用されている MVC のパーセンテージ。
Fragmented Percentage	最新でない VTV を含む MVC のパーセンテージ。この領域は、それがリクレイムされるか、または MVC が排出されるまで使用できません。
Available Percentage	物理的に使用できる MVC のパーセンテージ。
Usable Percentage	VTCS で使用できる MVC 上の領域のパーセンテージ。これは、物理的に使用可能な領域がまだ存在する場合でも 0 である可能性があります。たとえば、MVC あたりの VTV の上限に達した場合、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。同様に、MVC に対してエラーが報告された場合、VTCS はこの MVC を出力に使用しないため、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。
Times Mounted	この MVC が MVC インベントリに追加されたあと、書き込みまたは読み取りのためにマウントされた回数。
Last Mounted	この MVC が RTD にマウントされたか、またはマウントが試行された日付と時間。
Last Migration	この MVC に対して VTV 移行が最後に実行された日付と時間。
Last Drain/Reclaim	この MVC が排出またはリクレイム処理によって最後に処理され、そのテープの終わりのポイントがリセットされた日付と時間。
VTSS Last Mounted	この MVC への移行を実行した最後の VTSS の名前。  コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Initialized	この MVC の初期化ステータスを示します。「standard」、「partitioned」、「not initialized」のいずれかです。
Audit	この MVC が現在監査されているか、または失敗した監査の対象になっていたかどうかを示します。この状態にある間、MVC は移行に使用されませんが、リコールには使用できます。固有の状態であり、CDS がまだ MVC の内容に追いついていないため、リコールは失敗する可能性があります。この状態をクリアするには、この MVC に対して監査を再実行します。
Broken	MVC、ドライブ、またはこの 2 つの組み合わせに問題があるかどうかを示します。VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。この問題の原因が MVC である場合は、DRAIN(EJECT) コマンドを使用してサービスから MVC を削除します。この問題の原因が RTD である場合は、MVCMAINT ユーティリティーを使用して MVC の状態をリセットします。
Consolidation	この MVC が統合 MVC であるかどうかを示します。
Data Check	この MVC に対してデータチェック状態が報告されました。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。この状態になる場合は、2 つの異なる RTD でデータ転送が失敗しています。  この状態をクリアするには、次のようにします。

列	説明
	<p>MVC 上のすべての VTV が二重化されている場合は、「Eject」オプションなしで MVC 上で「MVC Drain」を使用します。これにより、すべての VTV が回復され、サービスから MVC が削除されます。</p> <p>MVC 上に二重化されていない VTV が存在する場合は、MVC に対して VTCS AUDIT を実行します。この監査は失敗する可能性があります。監査のあと、MVCDRAIN (イジェクトなし) を実行します。これにより、データチェック領域の前にある VTV はブロック ID の昇順に、データチェック領域のあとにある VTV はブロック ID の降順にリコールされます。この順序で VTV を処理すると、VTCS がメディアからできるだけ多くの VTV を回復できるようになります。そのあと、まだ MVC 上に存在するすべての VTV についてデータを再作成する必要があります。</p> <p>これはデータ転送を実行しているときに特定の障害が発生したことを示しますが、メディアの障害ではないことがあります。RTD が仕様外のメディアにデータを書き込んでいる可能性もあります。そのため、障害のパターンが重要です。例として、多数のドライブやボリュームで突然、大量の DATA CHECK 状態が発生する場合があります。</p>
Deduplication	この MVC が複製解除されているかどうかを示します。
Drain	この MVC が現在、排出またはリクレーム処理の対象であるかどうかを示します。処理が失敗した場合、MVC は保護手段としてこの状態のままになることがあります。この状態をクリアするには、MVC に対して MVCDRAIN を実行します。
Eject	この MVC が取り出されたかどうかを示します。
Export	この MVC がエクスポート MVC であるかどうかを示します。
Full	この MVC 上に空き領域がないかどうかを示します。
Invalid MIR	<p>VTCS が 9x40 メディアの MIR (メディア情報レコード) が無効であることを示すステータスを RTD から受信したかどうかを示します。MIR が無効でもデータへのアクセスは妨げられませんが、テープ上のレコードへのアクセス中に重大なパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。この MVC は、有効な MIR エントリが含まれていないテープの領域に対して高速検索を実行できません。</p> <p>VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。リコールでは、VTV が複数の MVC 上に存在する場合、VTCS は無効な MIR を含む MVC の前に有効な MIR を含む MVC を選択します。移行がテープの先頭から開始される場合を除き、VTCS は無効な MIR を含む MVC を移行に使用しないようにします。テープの先頭から移行した場合は、MIR が修正されます。VTCS は、無効な MIR の状態をマウント時またはマウント解除時のどちらかに検出します。マウント時に検出され、別の MVC で操作を完了できる場合、VTCS は最初の MVC をマウント解除して代替 MVC を選択します。</p>

列	説明
	<p>代替 MVC に切り替える VTCS の機能はごく限られています。つまり、これは主に移行と仮想マウントに使用されます。無効な MIR を含む MVC については、エラーの原因 (メディアまたはドライブの問題である可能性があります) を特定し、そのエラーを修正します。無効な MIR を含む MVC を回復するには、VTCS 監査を使用して、テープの最後まで MVC を読み取ります。メディアが問題である場合は、MVCDRAIN EJECT を実行して VTV をリコールし、MVC プールから MVC が削除されるようにします。</p>
Lost	<p>VTCS が MVC のマウントを試行し、15 分のタイムアウト期間内にそのマウントが完了しなかったかどうかを示します。ハードウェアの問題、HSC の問題、または MVC の ACS からの削除の組み合わせが発生した可能性があります。VTCS には特定のエラー報告がありませんでした。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。エラーの原因を特定し、それを修正します。</p> <p>次のイベントの場合は、VTCS MVCMAINT ユーティリティを使用して LOST(OFF) を設定することもできます。</p> <p>すでに解決されている LSM の障害またはドライブエラーのために LOST(ON) が設定された場合。</p> <p>MVC が ACS の外部にあったために LOST(ON) が設定され、その MVC が再入力されている場合。</p> <p>そのあとに MVC のマウントが要求され、これが成功した場合、この状態は VTCS によって自動的にクリアされます。</p>
Maximum VTV	この MVC が VTV の最大数に達したかどうかを示します。
Mounted	この MVC が RTD にマウントされているかどうかを示します。
Protected	この MVC が保護されているかどうかを示します。
Read-only	<p>この MVC が読み取り専用とマークされているかどうかを示します。</p> <p>これが、MVC がエクスポートまたは統合プロセスのターゲットになっているためである場合、読み取り専用状態によって MVC はそれ以上更新されなくなります。</p> <p>MVC メディアがファイル保護に設定されている場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティを使用して READONLY(OFF) を設定します。MVC に VTCS による MVC の更新を可能にする適切な SAF ルールが設定されていない場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティを使用して READONLY(OFF) を設定します。</p>
Retired	この MVC が耐用期限切れになり、VTCS によってその有効寿命の終わりに達したと見なされているかどうかを示します。VTCS はこの MVC からリコールしますが、この MVC には移行しません。この MVC をできるだけ早く置き換

列	説明
	えてください。これを実行したら、MVCMAINT ユーティリティーを使用して RETIRED(OFF) を設定します。
Usable	この MVC を移行に使用できるかどうかを示します。
Warranty Expired	この MVC の保証が期限切れになっているかどうかを示します。VTCS は引き続きこの MVC を使用しますが、その MVC が「Retired」状態に達したときに置き換えるための計画を作成し始めるようにしてください。
Last Verified	この MVC に対して VTV メディアの確認が最後に実行された日付と時間。この日付には、MVC の内容が有効であることを VTCS が認識した最後の時間が反映されます。
ACS	この MVC が存在する ACD ID。
VLE	この MVC が存在する VLE。
Consolidated Date	統合 MVC の場合は、統合の日付と時間。
EOT Block ID	テープの終わりのブロック ID。
EOT Partition ID	テープの終わりのパーティション ID。
Block ID First Space	この MVC 上の最初の領域のブロック ID。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

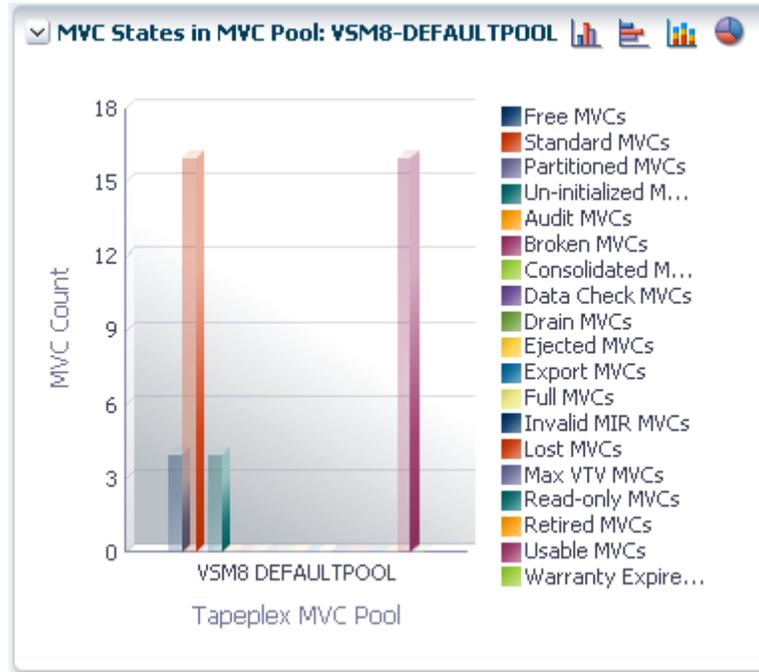
複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## MVC States in MVC Pool

このグラフには、選択された MVC プール内の MVC の数が現在の MVC 状態でソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

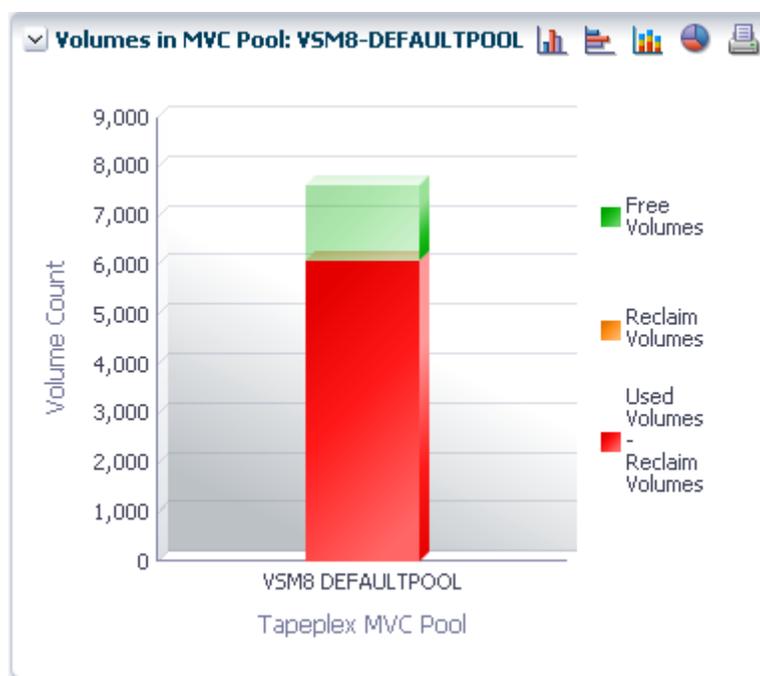
グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します

アイコン	名前	説明
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Volumes in MVC Pool

このグラフには、選択された MVC プール内の MVC の数が現在の使用状況状態でソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

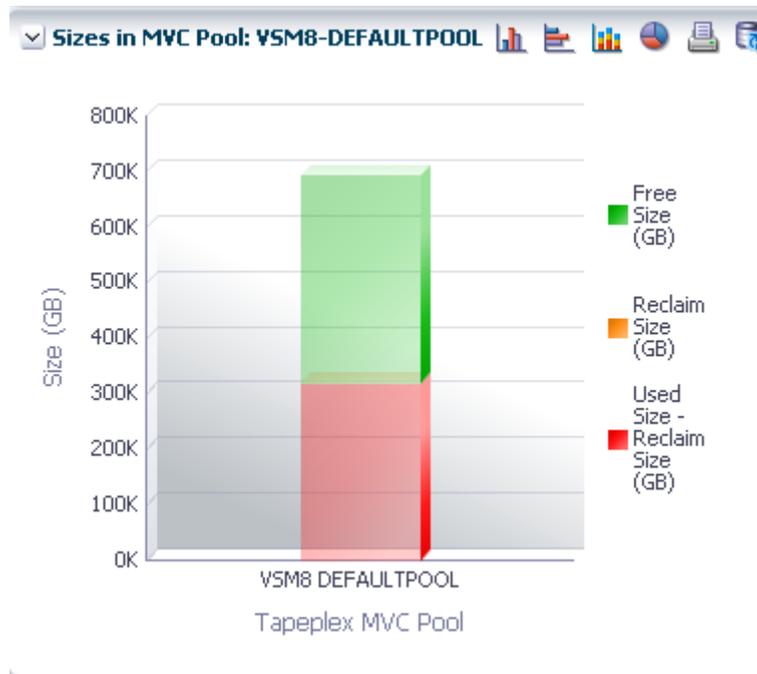
グラフアイコンをクリックすると、そのグラフの表示タイプが変更されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Sizes in MVC Pool

このグラフには、選択された MVC プール内の MVC のサイズが現在の使用状況状態でソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

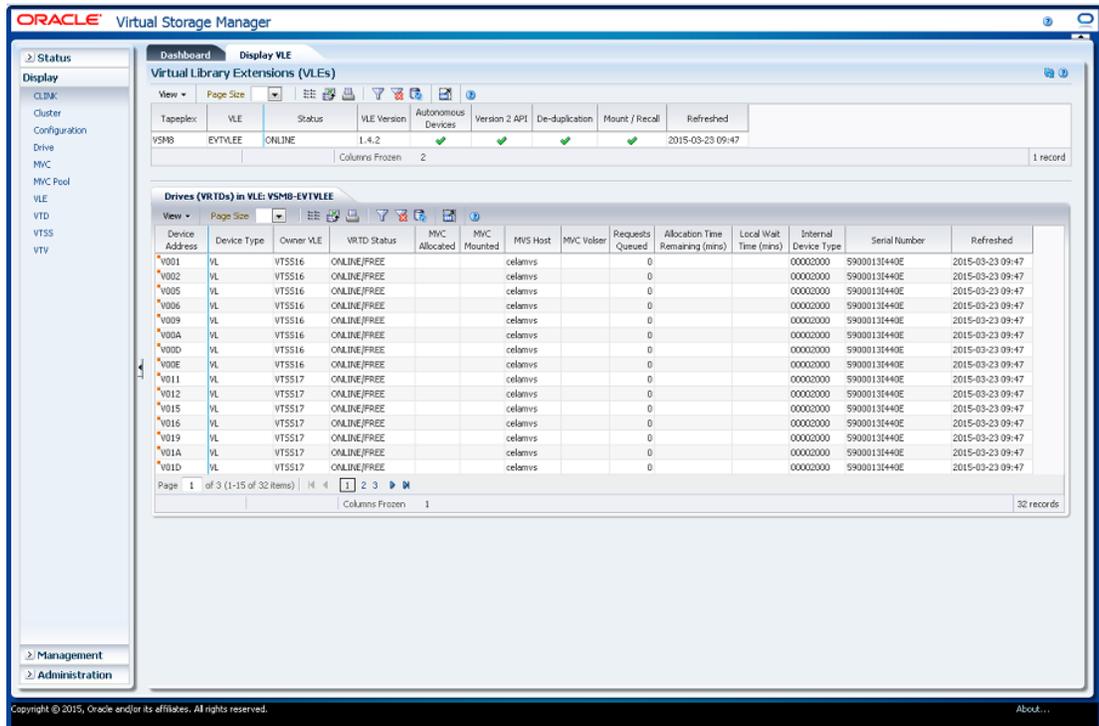
グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display VLE

このペインには、仮想ライブラリ拡張機能 (VLE) 情報が表示されます。

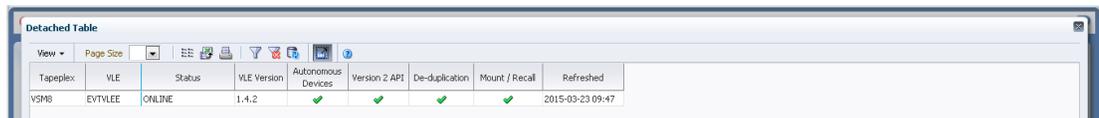
表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**VLE**」を選択します。



## Virtual Library Extension (VLE)

このデータ表には、VLE 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



行をクリックすると、「Drives (vRTDs) for VLE」データ表内にその VLE の vRTD が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、付録A「フィルタの使用」を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex 名。
VLE	この VLE の名前。
Status	この VLE のステータス。
VLE Version	この VLE のバージョン。
Autonomous Devices	この VLE に自律型デバイス機能があるかどうかを示します。
Version 2 API	この VLE にバージョン 2 API 機能があるかどうかを示します。
Deduplication	この VLE に複製解除機能があるかどうかを示します。
Mount/Recall	この VLE にマウント/リコール機能があるかどうかを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

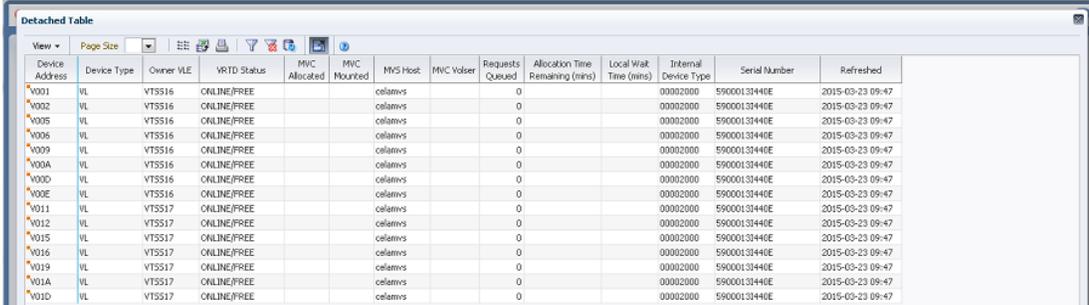
アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Drives (vRTDs) for VLE

このデータ表には、「[Virtual Library Extension \(VLE\)](#)」データ表で選択された VLE 内のすべての vRTD のリストが表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



Device Address	Device Type	Owner VLE	VRTD Status	MVIC Allocated	MVIC Mounted	MVS Host	MVIC Volser	Requests Queued	Allocation Time Remaining (mins)	Local Wait Time (mins)	Internal Device Type	Serial Number	Refreshed
v001	VL	VTSS16	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v002	VL	VTSS16	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v005	VL	VTSS16	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v006	VL	VTSS16	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v009	VL	VTSS16	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v00A	VL	VTSS16	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v00D	VL	VTSS16	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v00E	VL	VTSS16	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v011	VL	VTSS17	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v012	VL	VTSS17	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v015	VL	VTSS17	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v016	VL	VTSS17	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v019	VL	VTSS17	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v01A	VL	VTSS17	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47
v01D	VL	VTSS17	ONLINE/FREE			celatms		0	00002000		59000131440E		2015-03-23 09:47

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Device Address	vRTD アドレス。
Device Type	この vRTD のデバイスタイプ。VLE の場合、デバイスタイプは VL です。
MVC Allocated	この vRTD へのマウントのために割り当てられている MVC の volser。
MVC Mounted	現在この vRTD にマウントされている MVC。
MVS Host	現在この vRTD を所有しているホスト。
Owner VTSS	現在この vRTD に接続されている VTSS。
Status	次の vRTD ステータスのいずれかです。  RECOVER RTD: この vRTD は、問題、移行、または初期化のあとのリセット中です。  MIGRATE VTV: この vRTD は VTV を移行しています。  RECALL VTV: この vRTD は VTV をリコールしています。  UNLOAD MVC: この vRTD の強制的なアンロードが実行されています。  VTV TRANSFER: この vRTD は、別の VTSS で VTV をリコールする前にその VTV を移行しています。  AUDIT MVC: MVC が監査されています。  BUSY: この vRTD はビジー状態です (不特定のタスク)。  IDLE: この vRTD に MVC が割り当てられていますが、その MVC は使用されていません。  ONLINE/FREE: この vRTD はオンラインであり、使用できます。  MAINTENANCE: この vRTD は保守モードにあります。  OFFLINE: この vRTD はオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。  RECOVERY: この vRTD は、エラーまたはオンライン移行モードのあとのリセット中です。  INITIALIZE: ホストは vRTD のステータスと可用性を確認しています。

列	説明
	<p>SUSPEND: vRTD 操作が中断されています。これは、同じポート上に 1 つ以上の vRTD と CLINK が構成されている場合に発生します。CLINK がオンラインの間、vRTD は SUSPEND モードのままになります。</p> <p>PATH OFFLINE: VTSS が vRTD に接続できないため、またはパスが正しく構成されなかった場合、vRTD ステータスは不明です。</p> <p>PATH SUSPEND: この vRTD はグローバルにオンラインですが、vRTD が Clink とペアになっているため、VTSS からのパスは中断されています。</p> <p>FAIL/OFFLINE: この vRTD は障害のためにオフラインになりました。</p> <p>TOP ID: このホストからこの vRTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求のプロセス ID。「TOP ID」列は、このコマンドが実行されたホストからの要求にのみ適用されます。このホストは、この vRTD に対する最上位の権利を持っていない可能性があります。</p> <p>TOP HOST: この vRTD を次に使用するためにキューの先頭にある要求が存在するホスト。「TOP HOST」は、どのホストがこの vRTD に対する最上位の権利を持っているかを示します。</p>
MVC Volser	現在この vRTD にマウントされているか、またはマウントのためにこの vRTD に割り当てられている MVC の volser。
Internal Device Type	デバイスタイプの内部のコーディング。
Requests Queued	現在キューに入れられている要求の数。
Allocation Time Remaining (mins)	残りの割り当て時間 (分単位)。
Local Wait Time (mins)	ローカルの待機時間 (分単位)。
Serial Number	vRTD のシリアル番号。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します

「View」のオプション	説明
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display VTD

このペインには、仮想テープドライブ (VTD) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**VTD**」を選択します。

The screenshot displays the Oracle Virtual Storage Manager (VSM) interface. The main window is titled "Virtual Tape Drives (VTDs)" and shows a list of VTDs for the host "VSM8 CELAMW5". The list includes columns for Tapeplex, VTSS, VTD ID, and VTV Volser. A bar chart titled "VTD Status" shows the count of VTDs in various states, with "Available" being the most numerous. A second bar chart titled "VTD Usage" shows the usage of VTDs, with "Configuring" being the most frequent state.

Tapeplex	VTSS	VTD ID	VTV Volser
VSM8	VTSS16	0000	
VSM8	VTSS16	0001	
VSM8	VTSS16	0002	
VSM8	VTSS16	0003	
VSM8	VTSS16	0004	
VSM8	VTSS16	0005	
VSM8	VTSS16	0006	
VSM8	VTSS16	0007	
VSM8	VTSS16	0008	
VSM8	VTSS16	0009	
VSM8	VTSS16	000A	
VSM8	VTSS16	000B	
VSM8	VTSS16	000C	
VSM8	VTSS16	000D	
VSM8	VTSS16	000E	

## Virtual Tape Drives (VTDs)

このデータ表には、VTD 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

The screenshot shows a "Detached Table" window displaying a list of VTDs. The table has columns for Tapeplex, VTSS, VTD ID, VTV Volser, and Refreshed. The data is sorted by VTD ID in ascending order.

Tapeplex	VTSS	VTD ID	VTV Volser	Refreshed
FICN	X8	0000		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0001		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0002		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0003		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0004		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0005		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0006		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0007		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0008		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0009		2014-04-25 18:00
FICN	X8	000A		2014-04-25 18:00
FICN	X8	000B		2014-04-25 18:00
FICN	X8	000C		2014-04-25 18:00
FICN	X8	000D		2014-04-25 18:00
FICN	X8	000E		2014-04-25 18:00
FICN	X8	000F		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0100		2014-04-25 18:00
FICN	X8	0101	301780	2014-04-25 18:00
FICN	X8	0102		2014-04-25 18:00

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	VTD が含まれている TapePlex。
VTSS	VTD が含まれている VTSS。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、「Vary VTSS」。
VTD ID	VTD ID。
VTV Volser	現在 VTD にマウントされているか、または VTD に割り当てられている VTD の volser。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

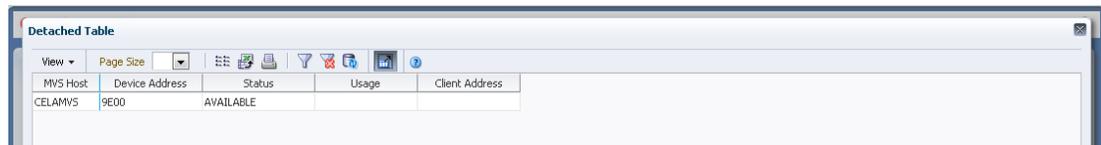
表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Hosts for VTD

このデータ表には、選択された VTD のホストシステム、デバイスアドレス、ステータス、および使用状況が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
MVS Host	DVD を所有している MVS ホストの名前。
Device Address	VTD の MVS デバイスアドレス。このデバイスが CONFIG 内でこのホストに対して定義されていない場合、ここには、前に '#' が付いた VTSS 内の物理アドレスが表示されます。
Status	次のいずれかです。 <p>Available: この VTD は作業に使用できます。</p> <p>Dismounting: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD にマウントされており、その VTD はアンロードされました。VTCS はマウント解除要求を受信していないか、または現在 VTV と CDS の情報を同期している最中です。</p> <p>Imported: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD とともに電子的にインポートされました。これは、エクスポートを実行したホストからの確認要求を待っています。</p> <p>Importing: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD とともに電子的にインポートされています。</p> <p>Mounted: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD にマウントされています。</p> <p>Mounting: 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD にマウントされている最中です。これは通常、自動リコールが進行中であることを示します。</p> <p>Mount(other): 「VTV」列に示されている VTV volser は VTD にマウントされています。このマウントは、このコマンドが実行されたホストによって実行されませんでした。</p> <p>Not Available: この VTD は作業に使用できません。</p> <p>Redrive Later: 「VTV」列に示されている VTV volser を VTD にマウントしようとしたが、失敗しました。これは、次の数分以内に再度解釈されます。</p> <p>Replicating: 「VTV」列に示されている VTV volser はレプリケートされている最中です。</p> <p>Undefined: 「VTV」列に示されている VTV volser は未定義です。</p> <p>Unknown: 「VTV」列に示されている VTV volser は不明です。</p>

列	説明
Usage	次のいずれかです。  Configuring: この VTD の構成が進行中です。  ECAM init error: VTSS で ECAM-t を使用して VTD を初期化できません。  ECAM I/O error: この VTD に対する ECAM-t I/O が失敗しました。  ECAM only: この VTD は、VTV をレプリケートするプロセスのために別の VTSS に接続されている VTD の 1 つです。  Not accessed: この VTD は VTSS 構成内に見つかりません。  Not verified: この VTD は構成内の NOVERIFY で定義されています。
Client Address	VTD へのマウントを最後に実行したクライアントによって報告されたドライブのアドレス。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

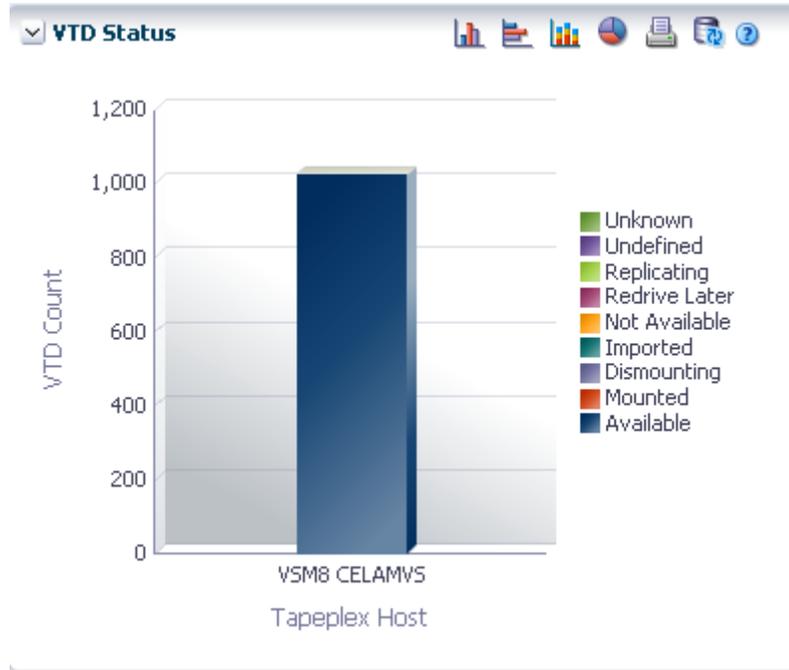
表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します

アイコン	名前	説明
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTD Status

このグラフには、TapePlex とホストの VTD ステータスが表示されます。このグラフは、不明、未定義、レプリケート中、あとでリドライブ、利用不可、インポート済み、マウント解除中、マウント済み、利用可能な各状態にある VTD の数を示すために色分けされています。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

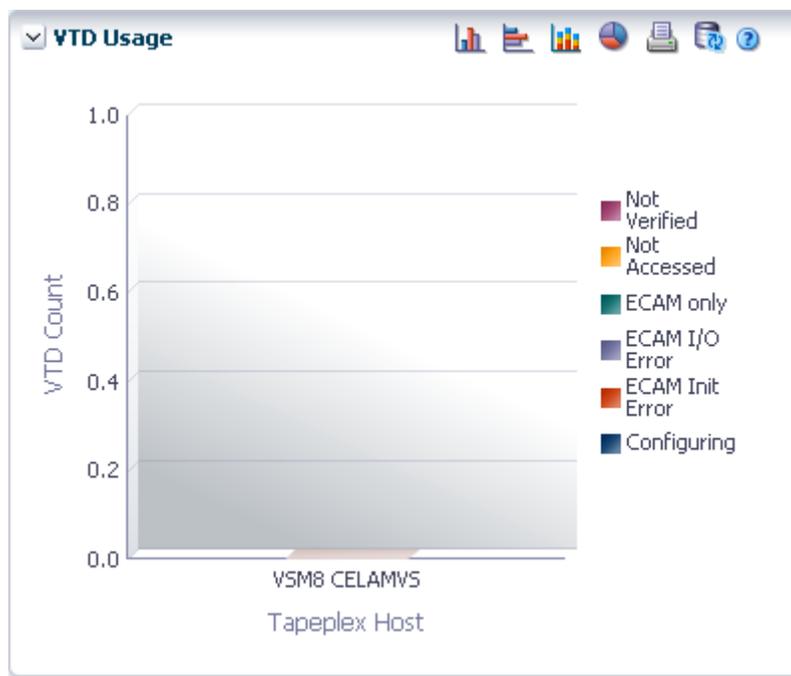
グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします

アイコン	名前	説明
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTD Usage

このグラフには、TapePlex とホストの VTD 使用状況が表示されます。このグラフは、「Not verified」、「Not accessed」、「ECAM only」、「ECAM I/O error」、「ECAM init error」、「Configuring」の各状態にある VTD の数を示すために色分けされています。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display VTSS

このペインには、仮想テープストレージサブシステム (VTSS) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**VTSS**」を選択します。

**Virtual Tape Storage Subsystems (VTSSs)**

Tapeplex	VTSS	Status	Capacity (MB)	DBU (%)	VTV Count	Maximum Migrate Tasks	Minimum Migrate Tasks	Default ACS	Aut
VSM8	VTSS16	UNKNOWN	1250000	9	124046	4	4		
VSM8	VTSS17	UNKNOWN	1250000	61	103405	4	4		
VSM8	VTSS18	UNKNOWN	1250000	9	132207	4	4		
VSM8	VTSS32	UNKNOWN	3737000	14	94488	4	4		

**CLINKs for VTSS: VSM8-VTSS32**

Partner Tapeplex	Partner VTSS	CLINK ID	Channel ID	IP/IF ID	Cluster	Status	Usage	MVS Hos
VSM8	VTSS16	1A	0A:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	
VSM8	VTSS16	1B	11:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	
VSM8	VTSS17	19	0A:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	
VSM8	VTSS17	1C	11:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	
VSM8	VTSS18	18	0A:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	
VSM8	VTSS18	1D	11:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	

## Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)

このデータ表には、VTSS 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Detached Table

Tapeplex	VTSS	Status	Capacity (MB)	DBU (%)	VTV Count	Maximum Migrate Tasks	Minimum Migrate Tasks	Default ACS	Auto-migrate Host	Auto-migrate Threshold	Drive Count	Model
VSM8	VTSS16	UNKNOWN	1250000	9	124046	4	4			60	24	6
VSM8	VTSS17	UNKNOWN	1250000	61	103405	4	4			60	24	6
VSM8	VTSS18	UNKNOWN	1250000	9	132207	4	4			60	24	6
VSM8	VTSS32	UNKNOWN	3737000	14	94488	4	4			60	24	5

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	この VTSS が属する TapePlex。
VTSS	この VTSS の名前。  コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Status	すべてのホストに対する次のグローバルな VTSS 状態のいずれかです。  QUIESCING: 静止中状態。  QUIESCED: 静止状態。  OFFLINE: オフライン状態。  OFFLINE-P: オフライン保留中状態。  ONLINE: オンライン状態。  ONLINE-P: オンライン保留中状態。  STARTED: この VTSS は初期化されており、要求された状態 (オンライン、オフライン、または静止) に移行中です。
Capacity (MB)	この VTSS の容量 (M バイト単位)。
DBU Percentage	合計ディスクバッファ容量のうちの使用済みディスクバッファのパーセンテージ。
High AMT	高い自動移行しきい値。
Low AMT	低い自動移行しきい値。
VTV Count	この VTSS 内に存在する VTV の数。
Maximum Migrate Tasks	この VTSS の自動移行タスクの最大数。
Minimum Migrate Tasks	この VTSS の自動移行タスクの最小数。
Default ACS	この VTSS の構成されているデフォルトの ACS ID。
Auto-Host	自動移行を実行しているホストシステム。
Auto-migrate Threshold	この VTSS の現在の自動移行しきい値。
RTD Count	この VTSS に接続されている RTD の数。
Model	VTSS モデル (VSM2、VSM3、VSM4、VSM5、VSM 6、または不明)。
Maximum VTV Size (MB)	VTV の最大サイズ (M バイト単位)。
VTV Page Size	VTV のページサイズであり、「Standard」または「Large」のどちらかです。

列	説明
RTC Data Verify	RTC データが検証されているかどうかを示します。
Connectivity	接続タイプであり、「CHANNEL」または「ECAM-T」プロトコルのどちらかです。
Serial Number	この VTSS のシリアル番号。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

データ表内の行をクリックすると、その VTSS の次のデータ表が表示されます。

[「CLINKs for VTSS」](#)

[「Clusters for VTSS」](#)

[「Drive Paths for VTSS」](#)

[「Features for VTSS」](#)

[「Hosts for VTSS」](#)

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

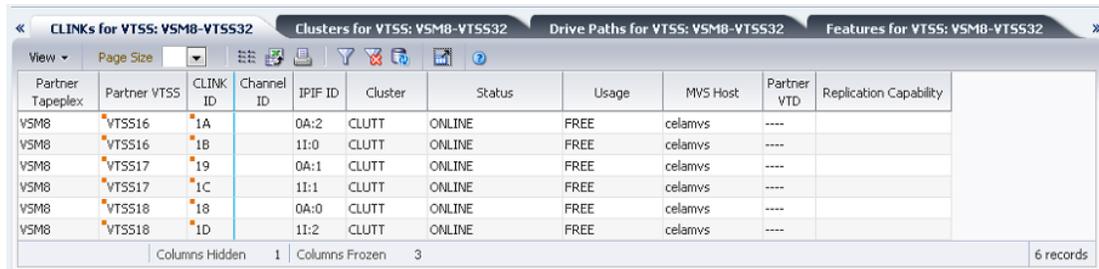
アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## CLINKs for VTSS

このデータ表には、[Virtual Tape Storage Subsystem \(VTSS\)](#)データ表で選択されたVTSSのすべてのCLINKのリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



Partner Tapeplex	Partner VTSS	CLINK ID	Channel ID	IPIF ID	Cluster	Status	Usage	MVS Host	Partner VTD	Replication Capability
V5M8	VTSS16	1A		0A:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----	
V5M8	VTSS16	1B		11:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----	
V5M8	VTSS17	19		0A:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----	
V5M8	VTSS17	1C		11:1	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----	
V5M8	VTSS18	18		0A:0	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----	
V5M8	VTSS18	1D		11:2	CLUTT	ONLINE	FREE	celamvs	----	

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Partner Tapeplex	クラスタ内のパートナー TapePlex。
Partner VTSS	クラスタ内のセカンダリまたは受信側 VTSS。
CLINK ID	この VTSS 内の CLINK に割り当てられている CLINK ID
Channel ID	CLINK の接続先のバックエンドチャンネルインタフェース。
IPIF ID	CLINK の IPIF ID
Cluster	CLINK が TapePlex 内の VTV のレプリケーションに使用され、かつクラスタの一部である場合は、そのクラスタ名。「Partner VTSS」列内の VTSS 名は、そのクラスタ内で動作するほかの VTSS を示します。
Status	次のいずれかです。 <p>Maint: リンクに傷害が発生したか、またはリンクが保守モードに移行しました。</p> <p>Offline: リンクはオフラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できません。</p> <p>ONLINE: リンクはオンラインであり、すべてのホストおよび VTSS から使用できます。</p> <p>ON-SYNC: 同期レプリケーションに使用できます。</p> <p>ON-ASYNC: 非同期レプリケーションに使用できます。</p> <p>P_OFFLINE: リンクはオフライン中です。</p> <p>P_ONLINE: リンクはオンライン中です。</p> <p>RECOVERY: リンクは、エラーまたはオンライン移行操作のあとのリセット中です。</p> <p>UNUSABLE: ハードウェアエラーまたは割り当て先不明状態のために、レプリケーションに使用できません。</p> <p>UII ERR: これは電子エクスポート用に定義された CLINK であり、リモート VTCS に接続できなくなりました。この問題の原因を示すメッセージが HSC</p>

列	説明
	JOBLOG 内に存在します。これには、定義 (ローカル SMC またはリモート VTCS 上のリモート HTTP サーバー) に関する問題が含まれる可能性があります。
Usage	次のいずれかです。  ASSIGNED: リンクは「HOST」フィールド内のホストに割り当てられていますが、現在レプリケートしていません。この使用状況は、VTCS がリンクの使用を開始または終了しているか、あるいはレプリケーションの失敗のあとにリンク上のエラーを回復しようとしている場合に発生します。  FREE: リンクはアイドル状態です (レプリケーションを実行していません)。  REPLICATING: リンクはアクティブにレプリケーションを実行しています。
MVS Host	リンクの割り当て先のホスト
Partner VTD	接続のもう一方の端点を形成するパートナー VTSS 上の VTD のアドレス。クラスタリンクの場合は、VTD の MVS アドレスが報告されます。電子エクスポートリンクの場合は、もう一方の TapePlex 構成にアクセスできないため、これは不可能です。この場合は、VTV の順序番号のみが報告されます。
Replication Capability	CLINK が同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

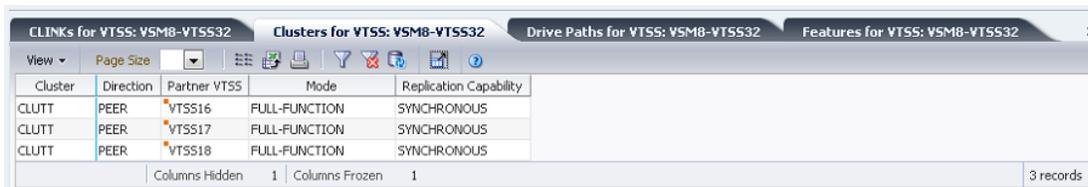
アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Clusters for VTSS

このデータ表には、「[Virtual Tape Storage Subsystem \(VTSS\)](#)」データ表で選択された VTSS のすべてのクラスタのリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



Cluster	Direction	Partner VTSS	Mode	Replication Capability
CLUTT	PEER	VTSS16	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	PEER	VTSS17	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS
CLUTT	PEER	VTSS18	FULL-FUNCTION	SYNCHRONOUS

Columns Hidden 1 | Columns Frozen 1 | 3 records

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Cluster	クラスタ名。
Direction	<p>VTSS 間のリンクの方向であり、次のいずれかです。</p> <p>----&gt; または &lt;---- は、単方向クラスタ内の VTV レプリケーションの方向を示します。VTV は、送信側 VTSS から受信側 VTSS にのみレプリケートできます。</p> <p>&lt;----&gt; は、VTSS が双方向 (ピアツーピア) クラスタとして構成されていることを示します。VTV は、どちらの VTSS からでももう一方の VTSS にレプリケートできます。</p>
Partner VTSS	クラスタ内のパートナー VTSS。
Mode	<p>次のクラスタ動作モードのいずれかです。</p> <p><b>ASync-REPLICATE:</b> クラスタ内の両方の VTSS が VTCS に対してオンラインです。本番ワークロードはどちらの VTSS にも移動できますが、単方向 (プライマリ/セカンダリ) クラスタの場合、VTV は送信側 VTSS からのみレプリケートできます。同期レプリケーションがクラスタ全体で有効になっていません。</p> <p><b>Sync-REPLICATE:</b> クラスタ内の両方の VTSS が VTCS に対してオンラインです。本番ワークロードはどちらの VTSS にも移動できますが、単方向 (プライマリ/セカンダリ) クラスタの場合、VTV は送信側 VTSS からのみレプリケートできます。同期レプリケーションがクラスタ全体で有効になっています。</p> <p><b>DEGRADED:</b> 双方向ピアツーピアクラスタ内の 2 つの VTSS のいずれかがオフラインまたは静止状態です。本番ワークロードは、残りのオンライン VTSS に移動できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV が残りの VTSS に割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できず、かつ適切でない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、もう一方の VTSS がオンラインになったときのレプリケーショ</p>

列	説明
	<p>ン用にキューに入れられます。もう一方の VTSS がオンラインになると、VTCS が両方の VTSS の内容を調整します。</p> <p>DEGRADED SECONDARY: プライマリは VTCS に対してオンラインであり、セカンダリはオフラインまたは静止状態です。ワークロードは、プライマリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がプライマリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、セカンダリがオンラインになったときに実行されるレプリケーション用にキューに入れられます。</p> <p>DEGRADED PRIMARY: セカンダリは VTCS に対してオンラインであり、プライマリはオフラインまたは静止状態です。ワークロードは、セカンダリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がセカンダリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。プライマリがオンラインに戻ると、VTCS がプライマリとセカンダリの内容を調整します。</p> <p>NON-OPERATIONAL: このクラスタ上ではどのワークロードも使用できません。</p> <p>CLINKS OFFLINE: 定義されているすべての CLINK がオフラインです。このクラスタ上ではどのワークロードも使用できません。</p> <p>ONLY SECONDARY: セカンダリは VTCS に対してオンラインであり、プライマリにはオンラインの CLINK がありません。ワークロードは、セカンダリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がセカンダリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。</p> <p>ONLY PRIMARY: プライマリは VTCS に対してオンラインであり、セカンダリにはオンラインの CLINK がありません。ワークロードは、プライマリ上で実行できます。ただし、レプリケーションが必要な VTV がプライマリに割り当てられるのは、ほかのどの全機能クラスタも使用できない場合だけです。この場合、レプリケート VTV は keep を指定してただちに移行され、レプリケーション用にキューに入れられます。</p>
Replication Capability	クラスタが同期または非同期レプリケーションに使用できることを示します。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Drive Paths for VTSS

このデータ表には、「[Virtual Tape Storage Subsystem \(VTSS\)](#)」データ表で選択されたVTSSのすべてのドライブパスのリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Path Name	VLE	Device Address	Logical Device ID	Channel ID	IPIF ID	Status
8803		8803		0C:0	0C:0	ONLINE
8804		8804		0C:1	0C:1	ONLINE
8814		8814		1C:0	1C:0	ONLINE
8815		8815		1C:1	1C:1	ONLINE
8818		8818		1A:0	1A:0	ONLINE
8819		8819		1A:1	1A:1	ONLINE
881A		881A		00:0	00:0	ONLINE
881B		881B		00:1	00:1	ONLINE
D500		D500		1M:0	1M:0	ONLINE
D501		D501		1M:1	1M:1	ONLINE
D502		D502		1E:0	1E:0	ONLINE
D503		D503		1E:1	1E:1	ONLINE
D508		D508		1G:0	1G:0	ONLINE
D509		D509		1G:1	1G:1	ONLINE
D50A		D50A		1O:0	1O:0	ONLINE

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Path Name	このパスに割り当てられている名前。
VLE	この VLE の名前。
Device Address	ドライブのデバイスアドレス。

列	説明
Logical Device ID	パスに割り当てられている論理デバイス ID。
Channel ID	このパスに対して指定された CHANIF 値。
IPIF ID	パスに対して指定された IPIF 値。
Status	次のいずれかです。  ONLINE: パスはオンラインであり、使用できます。  ON-ASYNC: パスはオンラインであり、VTV の非同期レプリケーションに使用できます。  ON-SYNC: パスはオンラインであり、VTV の同期レプリケーションに使用できます。  OFFLINE: 接続先のパスまたはデバイスがオフラインに移行しました。  MAINT: 接続先のパスまたはデバイスがオフライン保守モードに移行しました。これは、繰り返された障害の結果である可能性があります。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Features for VTSS

このデータ表には、「[Virtual Tape Storage Subsystem \(VTSS\)](#)」データ表で選択された VTSS の機能のリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。



任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Feature	VTSS の機能説明。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します

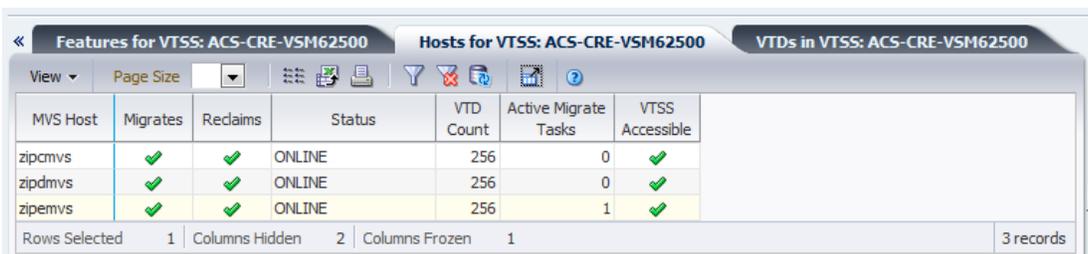
アイコン	名前	説明
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Hosts for VTSS

このデータ表には、「[Virtual Tape Storage Subsystem \(VTSS\)](#)」データ表で選択された VTSS の MVS ホストのリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



MVS Host	Migrates	Reclaims	Status	VTD Count	Active Migrate Tasks	VTSS Accessible
zipcmvs	✓	✓	ONLINE	256	0	✓
zipdmvs	✓	✓	ONLINE	256	0	✓
zipemvs	✓	✓	ONLINE	256	1	✓

Rows Selected 1 Columns Hidden 2 Columns Frozen 1 3 records

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
MVS Host	この MVS ホストの名前。
Migrates	MVS ホストがこの VTSS への移行をサポートするかどうかを示します。
Reclaims	MVS ホストがこの VTSS へのリクレイムをサポートするかどうかを示します。
Status	このホストからの VTSS ステータス: 「Online」、「Offline」、または「Quiesced」。
VTD Count	HOST-VTSS の VTD の数。
Active Migrate Tasks	HOST-VTSS のアクティブな移行タスクの数。
VTSS Accessible	ホストからこの VTSS にアクセスできるかどうかを示します。
Immediate Migrate Wait Time (mins)	HOST-VTSS の移行待機時間 (分単位)。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTDS in VTSS

このデータ表には、「[Virtual Tape Storage Subsystem \(VTSS\)](#)」データ表で選択された VTSS の VTD ID のリストが表示されます。

この表が表示されない場合は、表示されているタブの左または右にある矢印をクリックし、表を選択します。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



VTD ID	VTY Volser	Refreshed
0000		2015-03-23 09:47
0001		2015-03-23 09:47
0002		2015-03-23 09:47
0003		2015-03-23 09:47
0004		2015-03-23 09:47
0005		2015-03-23 09:47
0006		2015-03-23 09:47
0007		2015-03-23 09:47
0008		2015-03-23 09:47
0009		2015-03-23 09:47
000A		2015-03-23 09:47
000B		2015-03-23 09:47
000C		2015-03-23 09:47
000D		2015-03-23 09:47
000E		2015-03-23 09:47

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
VTD ID	VTD ID。
VTV Volser	この VTD 上の VTV の Volser。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

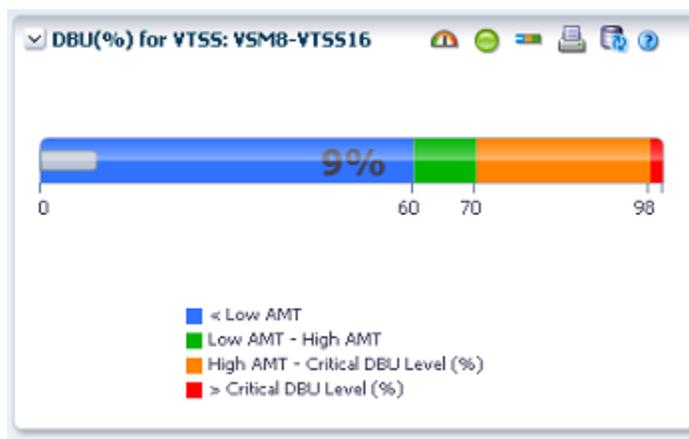
複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## DBU Percentage for VTSS

このグラフには、選択された VTSS のディスクバッファ使用率 (DBU) の使用済みパーセンテージが表示されます。背景のカラーコードにより、「Low」と「High」の自動移行しきい値 (AMT) パーセントの設定のほか、「Critical」の DBU しきい値パーセントの設定も示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

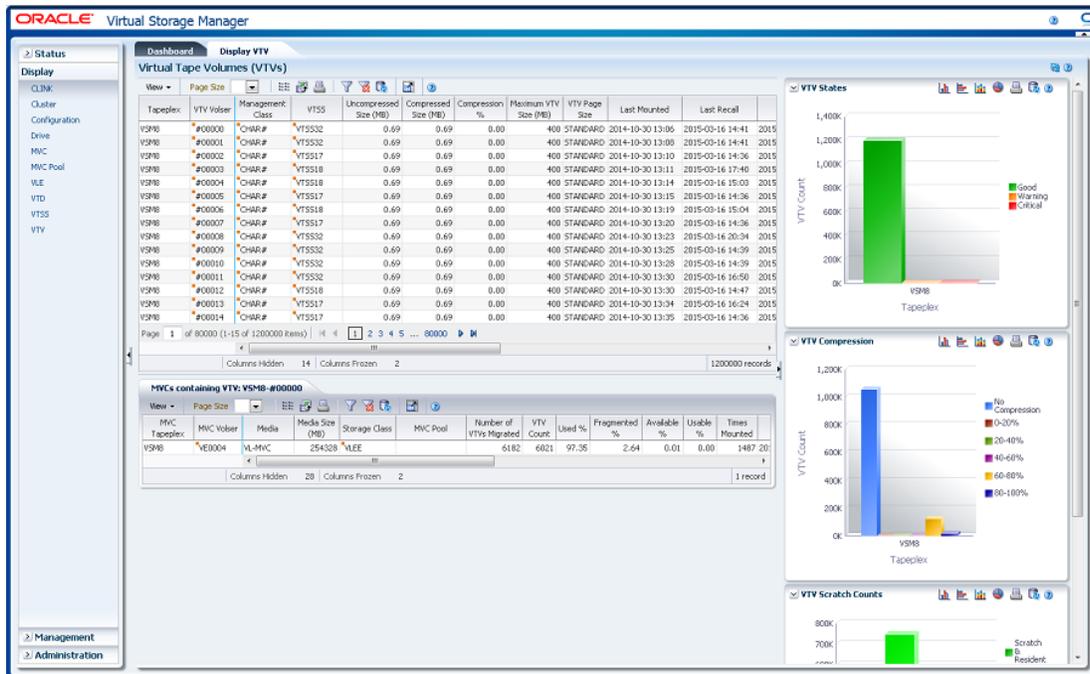
グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Dial gauge	ゲージをダイヤルとして表示します
	LED gauge	ゲージを LED として表示します
	Meter gauge	ゲージをステータスメーターとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Display VTV

このペインには、仮想テープボリューム (VTV) 情報が表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「**Display**」および「**VTV**」を選択します。



## Virtual Tape Volumes (VTVs)

このデータ表には、VTV 情報が表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。

Detached Table

Tapelex	VTV Volser	Management Class	VTS	Uncompressed Size (MB)	Compressed Size (MB)	Compression %	Maximum VTV Size (MB)	VTV Page Size	Last Mounted	Last Recal	Last Used	Created	Times Read	Copies to Migrate	Replication	Replica VTS	Owning Tapelex	Electr Exp
VSM#	#00000	CHAR#	VTS32	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:06	2015-03-16 14:41	2015-03-16 14:41	2014-10-30 13:06	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00001	CHAR#	VTS32	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:08	2015-03-16 14:41	2015-03-16 14:41	2014-10-30 13:08	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00002	CHAR#	VTS17	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:10	2015-03-16 14:36	2015-03-16 14:36	2014-10-30 13:10	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00003	CHAR#	VTS18	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:11	2015-03-16 17:40	2015-03-16 17:40	2014-10-30 13:11	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00004	CHAR#	VTS18	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:14	2015-03-16 15:03	2015-03-16 15:03	2014-10-30 13:14	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00005	CHAR#	VTS17	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:15	2015-03-16 14:36	2015-03-16 14:36	2014-10-30 13:15	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00006	CHAR#	VTS18	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:19	2015-03-16 15:04	2015-03-16 15:04	2014-10-30 13:19	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00007	CHAR#	VTS17	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:20	2015-03-16 14:36	2015-03-16 14:36	2014-10-30 13:20	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00008	CHAR#	VTS32	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:23	2015-03-16 20:34	2015-03-16 20:34	2014-10-30 13:23	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00009	CHAR#	VTS32	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:25	2015-03-16 14:39	2015-03-16 14:39	2014-10-30 13:25	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00010	CHAR#	VTS32	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:28	2015-03-16 14:39	2015-03-16 14:39	2014-10-30 13:28	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00011	CHAR#	VTS32	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:30	2015-03-16 16:50	2015-03-16 16:50	2014-10-30 13:30	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00012	CHAR#	VTS18	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:30	2015-03-16 14:47	2015-03-16 14:47	2014-10-30 13:30	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00013	CHAR#	VTS17	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:34	2015-03-16 16:24	2015-03-16 16:24	2014-10-30 13:34	1	1	NOT REPLICATED			
VSM#	#00014	CHAR#	VTS17	0.69	0.69	0.00	400	STANDARD	2014-10-30 13:35	2015-03-16 14:36	2015-03-16 14:36	2014-10-30 13:35	1	1	NOT REPLICATED			

行をクリックすると、「MVCs Containing VTV」データ表内にそのVTVのMVCが表示されます。

一部のフィールドのステータスは、ステータスインジケータで要約されています。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。

アイコン	名前	説明
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	この VTV が属する TapePlex の名前。
VTV Volser	この VTV のボリュームシリアル番号。 コンテキストメニュー: 「Reconcile VTV」。
Management Class	この VTV の管理クラスの名前。
VTSS	この VTV が存在する VTSS。この VTV が移行されている場合は、その VTSS が最後に存在した VTSS。このフィールドが空である場合は、この VTV が存在しない (作成も使用もされていない、スクラッチされた、削除された) か、または手動でインポートされました。
Uncompressed Size (MB)	この VTV の非圧縮サイズ (M バイト単位)。これは、アプリケーションプログラムによって認識された VTV のサイズです。
Compressed Size (MB)	この VTV の圧縮サイズ (M バイト単位)。これは、MVC 上または VTSS 内で占有される生の容量です。
Compression Percentage	達成された VTV の圧縮率。これは、VTV の非圧縮サイズのパーセンテージとして表された、VTV の非圧縮サイズと VTV の圧縮サイズの違いです。0% の圧縮は、VTV 上で圧縮が不可能であったことを示します。
Maximum VTV Size (MB)	VTV の最大 (圧縮) サイズ (M バイト単位) (400、800、2000、または 4000)。
VTV Page Size	この VTV のページサイズ ( 「large」 または 「standard」 ) 。

列	説明
Last Mounted	この VTV の内容がアプリケーションによるアクセスのために最後にマウントされた日付と時間。
Last Recall	この VTV が MVC から元の VTSS に最後にリコールされた日付と時間。
Last Used	この VTV が VTCS によって最後に操作された日付と時間。これには、VTV のマウント、移行、リコール、スクラッチなど、VTV のステータスを更新するほとんどの機能が含まれます。
Created	この VTV の内容がアプリケーションによって最後に変更された日付と時間。
Times Read	この VTV が読み取られた回数。
Copies to Migrate	この VTV の移行コピーの数。
Replication	この VTV のレプリケーションステータスを示します。  NOT REPLICATED: この VTV はまだレプリケートされていません。  REPLICATION REQUIRED: この VTV はレプリケートされる予定であり、処理のために現在キューに入れられています。  REPLICATION STARTED: レプリケーションはこの VTV に対してアクティブですが、まだ完了していません。  REPLICATED: この VTV は「Replica VTSS」列で識別される VTSS にレプリケートされました。
Replica VTSS	レプリカ VTV が存在する VTSS。
Owning Tapeplex	レプリカ VTV が存在する TapePlex の名前。
Electronic Export	電子エクスポートのステータスを示します。  EXPORT-NOT POSSIBLE: この VTV のリモート TapePlex へのエクスポートが試行されましたが、その要求は拒否されました。これは通常、リモート TapePlex 内に存在するこの VTV の別のコピーのためです。  EXPORT-REJECTED: 電子エクスポートがアクティブに拒否されました。これは、ターゲットの TapePlex が VTV のインポートを許可していないためか、またはコピーステータスとの衝突のためである可能性があります。  EXPORT-REQUIRED: この VTV は電子的にエクスポートされる予定であり、処理のために現在キューに入れられています。  EXPORT-STARTED: 電子エクスポートはこの VTV に対してアクティブですが、まだ完了していません。
Initialized	この VTV が初期化されたかどうかを示します。VTCS が VTV を少なくとも 1 回使用している場合、その VTV は初期化されています。CONFIG ユーティリティーで定義されているが、まだ VTCS によって使用されていない VTV は初期化されていません。

列	説明
Avoid Early Mount	この VTV に対する並行リコールまたはマウントでエラーが検出されたかどうかを示します。検出された場合、この VTV に対するそれ以上の並行リコールまたはマウントアクティビティは試行されません。
Consolidated	VSM がこの VTV を統合したかどうかを示します。
Fenced	VSM がこの VTV をフェンシングしたかどうかを示します。
Imported	VSM がこの VTV を別の TapePlex からインポートしたかどうかを示します。インポートされた VTV は変更したり、スクラッチマウントに使用したりできません。
Migrated	VSM がこの VTV を移行したかどうかを示します。
Migration Pending	VTV 移行が保留中かどうかを示します。このステータスは、VTV が最初に作成されたときか、または VTV に再統合またはアーカイブが必要になったときに表示されます。この後者の場合は、個々の MVC コピーが「Reconcile」または「Deletion」を示すことがあります。
Mounted	VTV が現在マウントされているかどうかを示します。
New Create	この VTV が新しく作成されたかどうかを示します。
Resident	この VTV が VTSS 上に存在するかどうかを示します。
Scratch	この VTV がスクラッチボリュームであるかどうかを示します。
Multiple Start	データセットがあるボリュームの最後から別のボリュームにまたがったときのマルチボリュームチェーンの先頭を追跡するために使用されます。
Multiple Next	データセットがあるボリュームの最後から別のボリュームにまたがったときのマルチボリュームチェーンの最後を追跡するために使用されます。
Refresh	最後のリフレッシュの日付と時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

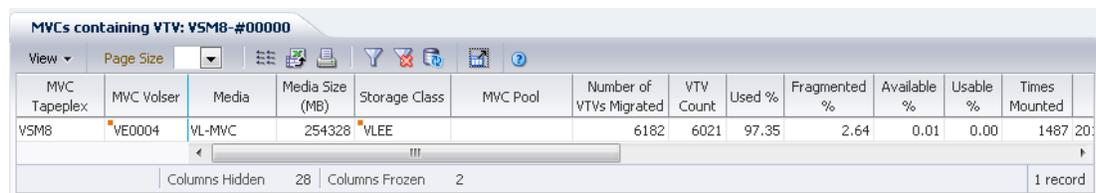
表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## MVCs Containing VTV

このデータ表には、「[Virtual Tape Volumes \(VTVs\)](#)」データ表で選択された VTV を含むすべての MVC のリストが表示されます。

すべての列を表示するには、水平方向のスクロールまたは表の切り離しが必要になることがあります。



MVC Tapeplex	MVC Volser	Media	Media Size (MB)	Storage Class	MVC Pool	Number of VTVs Migrated	VTV Count	Used %	Fragmented %	Available %	Usable %	Times Mounted
VSM8	VE0004	VL-MVC	254328	VLEE		6182	6021	97.35	2.64	0.01	0.00	1487 20:00

Columns Hidden: 28 | Columns Frozen: 2 | 1 record

行をクリックすると、「[VTVs on MVC](#)」データ表内にその MVC の VTV が表示されます。

一部のフィールドのステータスは、ステータスインジケータで要約されています。

アイコン	名前	説明
	Good	しきい値の違反が検出されていないことを示します。
	Caution	警告のしきい値を超えたことを示します。
	Critical	クリティカルのしきい値を超えたことを示します。
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

ステータスインジケータをクリックすると、その詳細が表示されます。

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	MVC が属する TapePlex。
MVC Volser	MVC の volser。  コンテキストメニュー: 「Audit MVC Volser」、 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
Media	ボリュームのメディアタイプまたは記録技法。  「Need PTF」が表示されている場合、このホストはこのメディアタイプをサポートしていませんが、別のホストがこのメディアタイプをサポートしています。
Media Size (MB)	MVC のサイズ (M バイト単位)。
Storage Class	MVC を所有しているストレージクラス。MVC がストレージクラスのメンバーになるのは、移行された VTV を含んでいる場合だけです。

列	説明
	コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」、 「Reconcile」。
MVC Pool	MVC が含まれている MVC プールの名前。 コンテキストメニュー: 「MVC Drain」、 「Reclaim」。
Number of VTVs Migrated	この MVC に移行された現在の VTV の数。
VTV Count	MVC 上のアクティブな VTV の数。
Used Percentage	現在の VTV によって使用されている MVC のパーセンテージ。
Fragmented Percentage	最新でない VTV を含む MVC のパーセンテージ。この領域は、それがリクレイムされるか、または MVC が排出されるまで使用できません。
Available Percentage	物理的に使用できる MVC のパーセンテージ。
Usable Percentage	VTCS で使用できる MVC 上の領域のパーセンテージ。これは、物理的に使用可能な領域がまだ存在する場合でも 0 である可能性があります。たとえば、MVC あたりの VTV の上限に達した場合、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。同様に、MVC に対してエラーが報告された場合、VTCS はこの MVC を出力に使用しないため、使用可能なパーセンテージは 0 として報告されます。
Times Mounted	この MVC が MVC インベントリに追加されたあと、書き込みまたは読み取りのためにマウントされた回数。
Last Mounted	この MVC が RTD にマウントされたか、またはマウントが試行された日付と時間。
Last Migration	この MVC に対して VTV 移行が最後に実行された日付と時間。
Last Drain/Reclaim	この MVC が排出またはリクレイム処理によって最後に処理され、そのテープの終わりのポイントがリセットされた日付と時間。
VTSS Last Mounted	この MVC への移行を実行した最後の VTSS の名前。 コンテキストメニュー: 「Audit VTSS」、 「Vary VTSS」。
Initialized	この MVC の初期化ステータスを示します。「standard」、 「partitioned」、 「not initialized」のいずれかです。
Audit	この MVC が現在監査されているか、または失敗した監査の対象になっていたかどうかを示します。この状態にある間、MVC は移行に使用されませんが、リコールには使用できます。固有の状態であり、CDS がまだ MVC の内容に追いついていないため、リコールは失敗する可能性があります。この状態をクリアするには、この MVC に対して監査を再実行します。
Broken	MVC、ドライブ、またはこの 2 つの組み合わせに問題があるかどうかを示します。VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。この問題の原因が MVC である場合は、DRAIN(EJECT) コマンドを使用してサービスから MVC を削除します。この問題の原因が RTD である場合は、MVCMAINT ユーティリティーを使用して MVC の状態をリセットします。

列	説明
Consolidation	この MVC が統合 MVC であるかどうかを示します。
Data Check	<p>この MVC に対してデータチェック状態が報告されました。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。この状態になる場合は、2 つの異なる RTD でデータ転送が失敗しています。</p> <p>この状態をクリアするには、次のようにします。</p> <p>MVC 上のすべての VTV が二重化されている場合は、「Eject」オプションなしで MVC 上で「MVC Drain」を使用します。これにより、すべての VTV が回復され、サービスから MVC が削除されます。</p> <p>MVC 上に二重化されていない VTV が存在する場合は、MVC に対して VTCS AUDIT を実行します。この監査は失敗する可能性があります。監査のあと、MVCDRAIN (イジェクトなし) を実行します。これにより、データチェック領域の前にある VTV はブロック ID の昇順に、データチェック領域のあとにある VTV はブロック ID の降順にリコールされます。この順序で VTV を処理すると、VTCS がメディアからできるだけ多くの VTV を回復できるようになります。そのあと、まだ MVC 上に存在するすべての VTV についてデータを再作成する必要があります。</p> <p>これはデータ転送を実行しているときに特定の障害が発生したことを示しますが、メディアの障害ではないことがあります。RTD が仕様外のメディアにデータを書き込んでいる可能性もあります。そのため、障害のパターンが重要です。例として、多数のドライブやボリュームで突然、大量の DATA CHECK 状態が発生する場合があります。</p>
Deduplication	この MVC が複製解除されているかどうかを示します。
Drain	この MVC が現在、排出またはリクレーム処理の対象であるかどうかを示します。処理が失敗した場合、MVC は保護手段としてこの状態のままになることがあります。この状態をクリアするには、MVC に対して MVCDRAIN を実行します。
Eject	この MVC が取り出されたかどうかを示します。
Export	この MVC がエクスポート MVC であるかどうかを示します。
Full	この MVC 上に空き領域がないかどうかを示します。
Invalid MIR	<p>VTCS が 9x40 メディアの MIR (メディア情報レコード) が無効であることを示すステータスを RTD から受信したかどうかを示します。MIR が無効でもデータへのアクセスは妨げられませんが、テープ上のレコードへのアクセス中に重大なパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。この MVC は、有効な MIR エントリが含まれていないテープの領域に対して高速検索を実行できません。</p> <p>VTCS は、この状態の MVC を避けようとしています。リコールでは、VTV が複数の MVC 上に存在する場合、VTCS は無効な MIR を含む MVC の前に有効な MIR を含む MVC を選択します。移行がテープの先頭から開始される場合を</p>

列	説明
	<p>除き、VTCS は無効な MIR を含む MVC を移行に使用しないようにします。テープの先頭から移行した場合は、MIR が修正されます。VTCS は、無効な MIR の状態をマウント時またはマウント解除時のどちらかに検出します。マウント時に検出され、別の MVC で操作を完了できる場合、VTCS は最初の MVC をマウント解除して代替 MVC を選択します。</p> <p>代替 MVC に切り替える VTCS の機能はごく限られています。つまり、これは主に移行と仮想マウントに使用されます。無効な MIR を含む MVC については、エラーの原因 (メディアまたはドライブの問題である可能性があります) を特定し、そのエラーを修正します。無効な MIR を含む MVC を回復するには、VTCS 監査を使用して、テープの最後まで MVC を読み取ります。メディアが問題である場合は、MVCDRAIN EJECT を実行して VTV をリコールし、MVC プールから MVC が削除されるようにします。</p>
Lost	<p>VTCS が MVC のマウントを試行し、15 分のタイムアウト期間内にそのマウントが完了しなかったかどうかを示します。ハードウェアの問題、HSC の問題、または MVC の ACS からの削除の組み合わせが発生した可能性があります。VTCS には特定のエラー報告がありませんでした。VTCS は、この状態の MVC の使用を避けようとしています。エラーの原因を特定し、それを修正します。</p> <p>次のイベントの場合は、VTCS MVCMAINT ユーティリティーを使用して LOST(OFF) を設定することもできます。</p> <p>すでに解決されている LSM の障害またはドライブエラーのために LOST(ON) が設定された場合。</p> <p>MVC が ACS の外部にあったために LOST(ON) が設定され、その MVC が再入力されている場合。</p> <p>そのあとに MVC のマウントが要求され、これが成功した場合、この状態は VTCS によって自動的にクリアされます。</p>
Maximum VTV	この MVC が VTV の最大数に達したかどうかを示します。
Mounted	この MVC が RTD にマウントされているかどうかを示します。
Protected	この MVC が保護されているかどうかを示します。
Read-only	<p>この MVC が読み取り専用とマークされているかどうかを示します。</p> <p>これが、MVC がエクスポートまたは統合プロセスのターゲットになっているためである場合、読み取り専用状態によって MVC はそれ以上更新されなくなります。</p> <p>MVC メディアがファイル保護に設定されている場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティーを使用して READONLY(OFF) を設定します。MVC に VTCS による MVC の更新を可能にする適切な SAF ルールが設定され</p>

列	説明
	ていない場合は、エラーを修正し、MVCMAINT ユーティリティを使用して READONLY(OFF) を設定します。
Retired	この MVC が耐用期限切れになり、VTCS によってその有効寿命の終わりに達したと見なされているかどうかを示します。VTCS はこの MVC からリコールしますが、この MVC には移行しません。この MVC をできるだけ早く置き換えてください。これを実行したら、MVCMAINT ユーティリティを使用して RETIRED(OFF) を設定します。
Usable	この MVC を移行に使用できるかどうかを示します。
Warranty Expired	この MVC の保証が期限切れになっているかどうかを示します。VTCS は引き続きこの MVC を使用しますが、その MVC が「Retired」状態に達したときに置き換えるための計画を作成し始めるようにしてください。
Last Verified	この MVC に対して VTV メディアの確認が最後に実行された日付と時間。この日付には、MVC の内容が有効であることを VTCS が認識した最後の時間が反映されます。
ACS	この MVC が存在する ACD ID。
VLE	この MVC が存在する VLE。
Consolidated Date	統合 MVC の場合は、統合の日付と時間。
EOT Block ID	テープの終わりのブロック ID。
EOT Partition ID	テープの終わりのパーティション ID。
Block ID First Space	この MVC 上の最初の領域のブロック ID。
Refreshed	データが格納されたか、または最後に更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

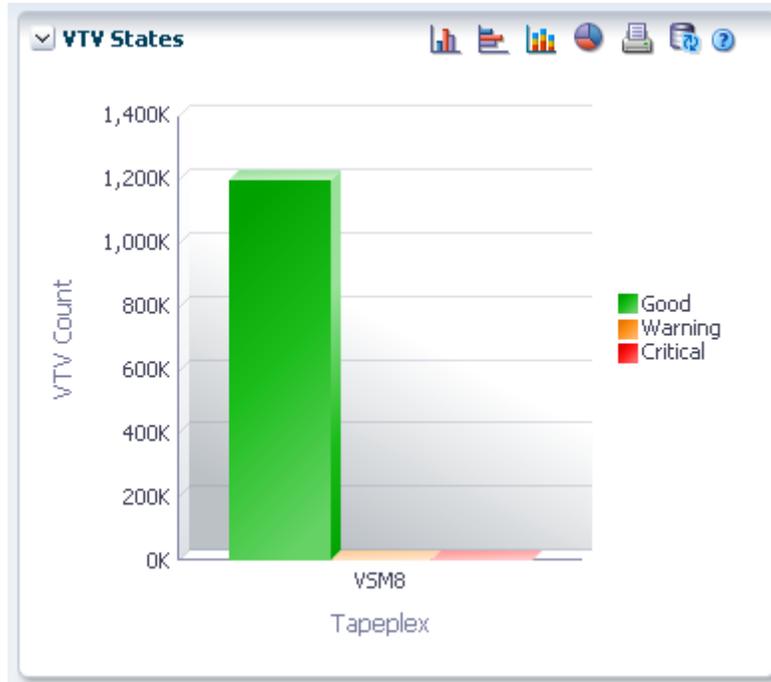
## VTV States

このグラフには、TapePlex ごとの VTV の数が、「Warning」、「Critical」、または「Good」として要約された現在の状態とともに表示されます。

「Warning」には、「Migrate Pending」状態にある VTV が含まれています。

「Critical」には、「Avoid Early Mount」または「Fenced」状態にある VTV が含まれています。

「Good」には、上のどの状態にもない VTV が含まれています。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

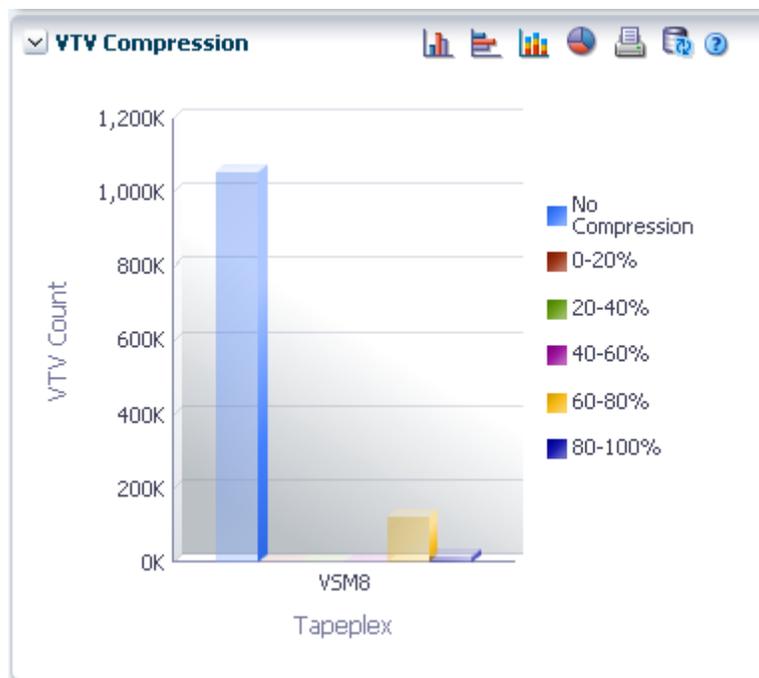
アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします

アイコン	名前	説明
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTV Compression

このグラフには、TapePlex ごとの VTV の数が圧縮率の範囲でソートされて表示されます。

表示するには、ナビゲーションツリーで「Display」および「VTV」を選択します。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

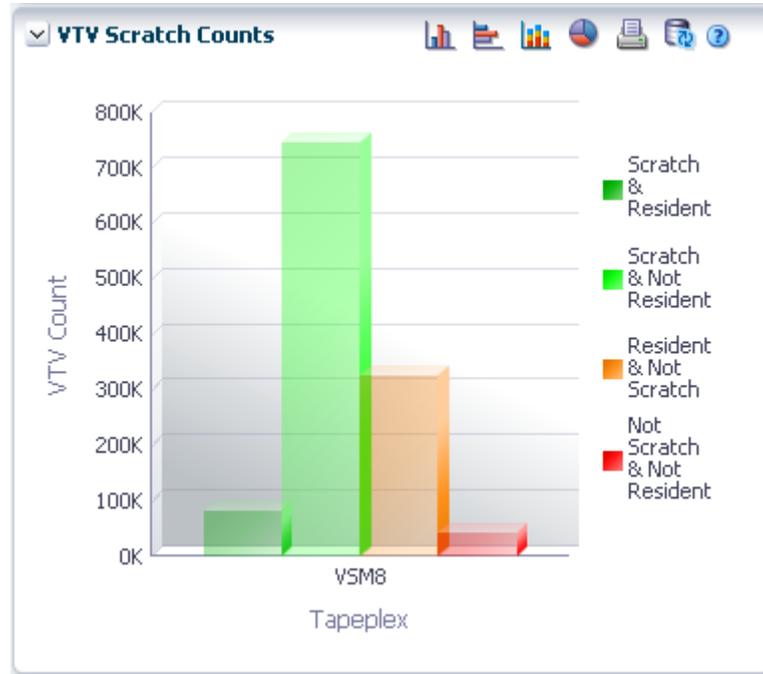
オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTV Counts

このグラフには、TapePlex ごとの VTV スクラッチと常駐の数が現在のステータスでソートされて表示されます。



マウスのポインタをオブジェクトの上に置くと、そのオブジェクトのサマリーデータが表示されます。

マウスのポインタをラベルの上に置くと、グラフ上の関連するオブジェクトが強調表示されます。

オブジェクトをクリックすると、データ表がそのオブジェクトでフィルタ処理されます。

グラフ上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

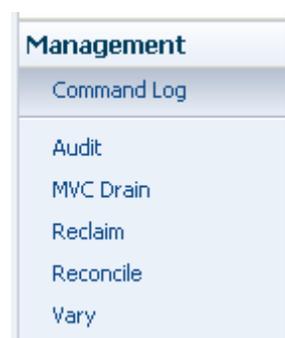
アイコン	名前	説明
	縦棒グラフ	グラフを縦棒グラフとして表示します
	横棒グラフ	グラフを横棒グラフとして表示します
	積み上げ棒グラフ	グラフを積み上げ棒グラフとして表示します
	円グラフ	グラフを円グラフとして表示します
	Print	出力可能なページとして表示します

---

アイコン	名前	説明
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

---

## 第6章 「Management」メニュー



このメニューからは、次の VSM GUI ペインにアクセスできます。

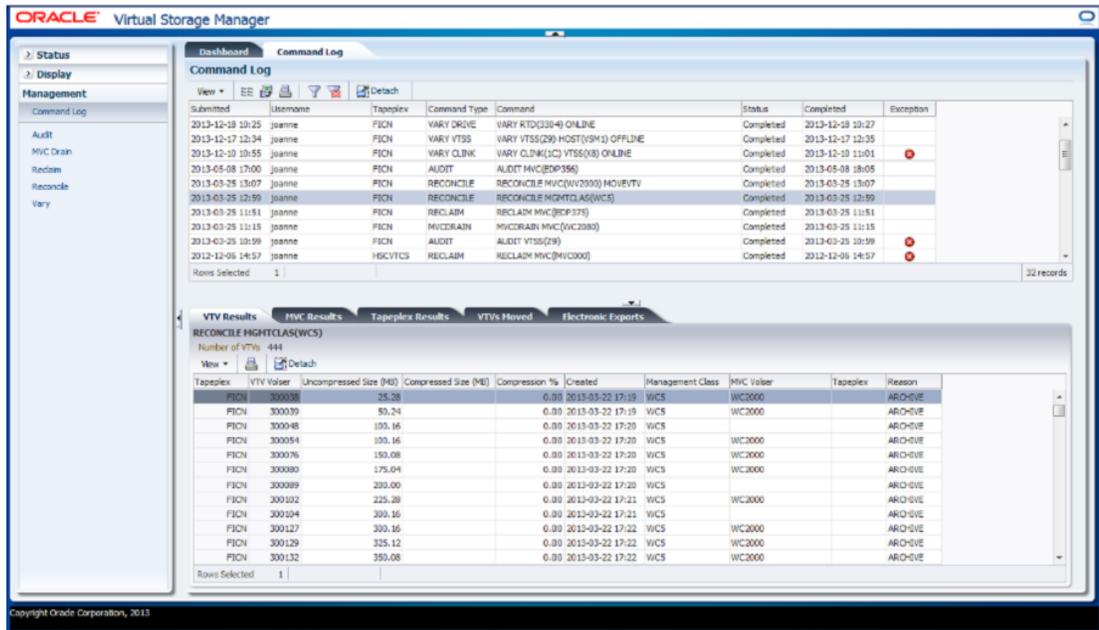
- [「Command Log」](#)
- [「Audit」](#)
- [「MVC Drain」](#)
- [「Reclaim」](#)
- [「Reconcile」](#)
- [「Vary」](#)

### Command Log

「**Command Log**」には、ユーザーが送信したすべてのコマンドが一覧表示されます。管理者でもあるユーザーには、すべてのユーザーが送信したすべてのコマンドが表示されます。

リストからコマンドを選択すると、コマンド出力の詳細がリストの下の「Detail」タブに表示されます。

「**Command Log**」を表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Command Log**」を選択します。



「Detail」タブでそのコマンドの出力を表示するには、行をクリックします。選択したコマンドによっては、次のタブが含まれていることがあります。

- 「Audit Output」
- 「Exceptions」
- 「MVC Results」
- 「Tapeplex Results」
- 「VTVs Moved」
- 「VTV Results」
- 「Electronic Exports」
- 「Vary Output」
- 「Cancelled Processes」

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

例外は、次のアイコンで「Exceptions」列に示されます。

アイコン	名前	説明
	Critical	コマンドの実行中に発生した例外を示します。

このアイコンをクリックすると、「[Exceptions](#)」タブが表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Submitted	コマンドが送信された時間。
User Name	コマンドを送信したユーザー名。
Tapeplex	コマンドが実行された TapePlex。
Command Type	発行されたコマンドのタイプ: AUDIT MVC DRAIN RECLAIM RECONCILE VARY CLINK VARY DRIVE VARY VTSS
Command	ELS に送信された実際のコマンド。
Status	コマンドの現在のステータス: Submitted Completed
Completed	ELS がコマンドの実行を完了した日付と時間。
Exception	コマンドの実行中に発生した例外。

## Audit Output

「**Audit Output**」詳細タブには、「**Command Log**」で現在、選択されているコマンドを実行した結果の監査イベントが一覧表示されます。

MVC VTV	Audit Event	Block ID	Uncompressed Size (MB)	Management Class	Number of VTVs Audited
EDP356					12
330829	Added as Primary Copy		2700.16	XLCRTD2	
330911	Added as Primary Copy		2800.00	XLCRTD2	
331268	Added as Primary Copy		3100.16	XLCRTD2	
331378	Added as Primary Copy		3200.00	XLCRTD2	
331508	Added as Primary Copy		3300.16	XLCRTD2	
331638	Added as Primary Copy		3400.00	XLCRTD2	
331798	Added as Primary Copy		3500.16	XLCRTD2	
331927	Added as Primary Copy		3600.00	XLCRTD2	
332071	Added as Primary Copy		3700.16	XLCRTD2	
332209	Added as Primary Copy		3800.00	XLCRTD2	
332374	Added as Primary Copy		3857.08	XLCRTD2	
332531	Added as Primary Copy		3857.08	XLCRTD2	

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
MVC VTV	MVC の volser (縮小) およびその VTV の volser (展開)
Audit Event	VSM 監査アクション
Block ID	監査される VTV のブロック ID
Uncompressed Size (MB)	M バイト単位での VTV の圧縮解除サイズ
Management Class	VTV に割り当てられた管理クラス
Number of VTVs Audited	監査された MVC 内の VTV の数
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意の番号であるプロセス ID

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します

「View」のオプション	説明
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「Page Size」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

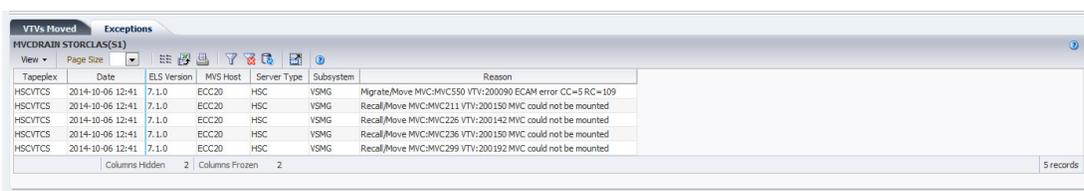
複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Exceptions

「Exceptions」詳細タブには、「Command Log」で現在、選択されているコマンドを実行した結果の TapePlex 例外が一覧表示されます。



Tapeplex	Date	ELS Version	MVS Host	Server Type	Subsystem	Reason
HSCVTCS	2014-10-06 12:41	7.1.0	ECC20	HSC	VSMG	Migrate/Move MVC:MVC550 VTY:200090 ECAM error CC=5 RC=109
HSCVTCS	2014-10-06 12:41	7.1.0	ECC20	HSC	VSMG	Recal/Move MVC:MVC211 VTY:200150 MVC could not be mounted
HSCVTCS	2014-10-06 12:41	7.1.0	ECC20	HSC	VSMG	Recal/Move MVC:MVC226 VTY:200142 MVC could not be mounted
HSCVTCS	2014-10-06 12:41	7.1.0	ECC20	HSC	VSMG	Recal/Move MVC:MVC236 VTY:200150 MVC could not be mounted
HSCVTCS	2014-10-06 12:41	7.1.0	ECC20	HSC	VSMG	Recal/Move MVC:MVC299 VTY:200192 MVC could not be mounted

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	例外が発生した TapePlex の名前
ELS Version	ホスト上で実行されている ELS バージョン
MVS Host	ホストの名前
Server Type	ホストサーバーのソフトウェアタイプ
Subsystem	VTSS の名前
Reason	例外の理由
Configuration Token	構成に対して重要な変更が行われた場合に構成トークンが更新され、更新された構成を取得する必要がある可能性があることを示します。
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意の番号であるプロセス ID

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

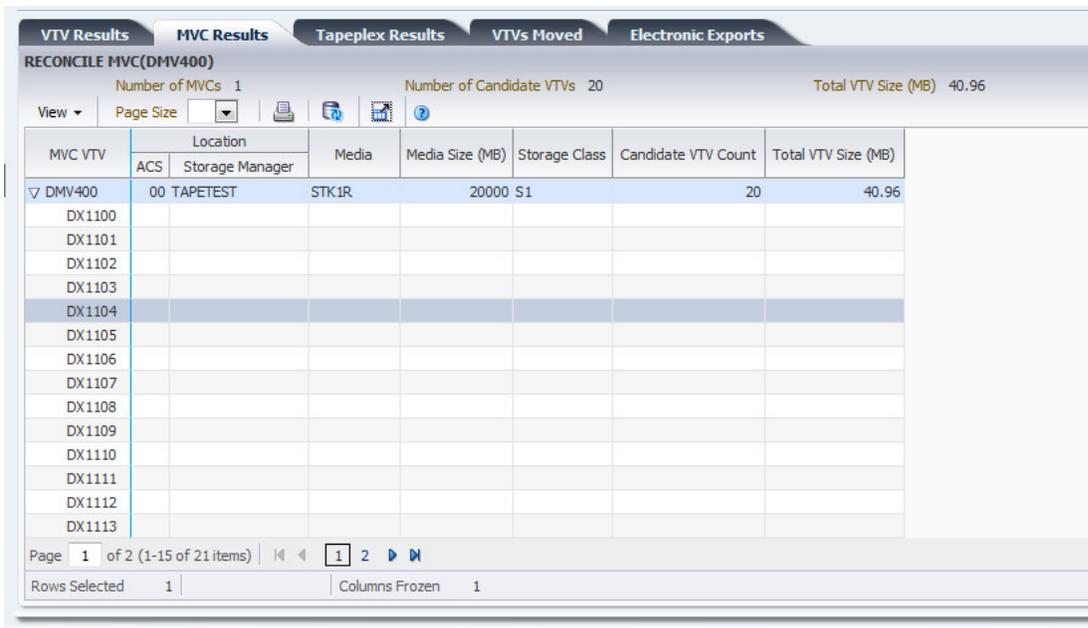
表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	付録A「フィルタの使用」を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## MVC Results

「MVC Results」詳細タブには、「Command Log」で現在、選択されているコマンドの結果が MVC 別に一覧表示されます。



MVC VTV	Location		Media	Media Size (MB)	Storage Class	Candidate VTV Count	Total VTV Size (MB)
	ACS	Storage Manager					
DMV400	00	TAPETEST	STK1R	20000	S1	20	40.96
DX1100							
DX1101							
DX1102							
DX1103							
DX1104							
DX1105							
DX1106							
DX1107							
DX1108							
DX1109							
DX1110							
DX1111							
DX1112							
DX1113							

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
MVC VTV	MVC の volser (縮小) およびその VTV の volser (展開)
ACS Location	MVC がある ACS の名前

列	説明
Storage Manager Location	MVC に割り当てられているストレージマネージャー
Media	MVC のメディアタイプ
Media Size (MB)	M バイト単位での MVC のメディアサイズ
Storage Class	MVC に割り当てられているストレージクラス
Candidate VTV Count	MVC 内の VTV の数
Total VTV Size (MB)	M バイト単位での MVC の合計サイズ

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

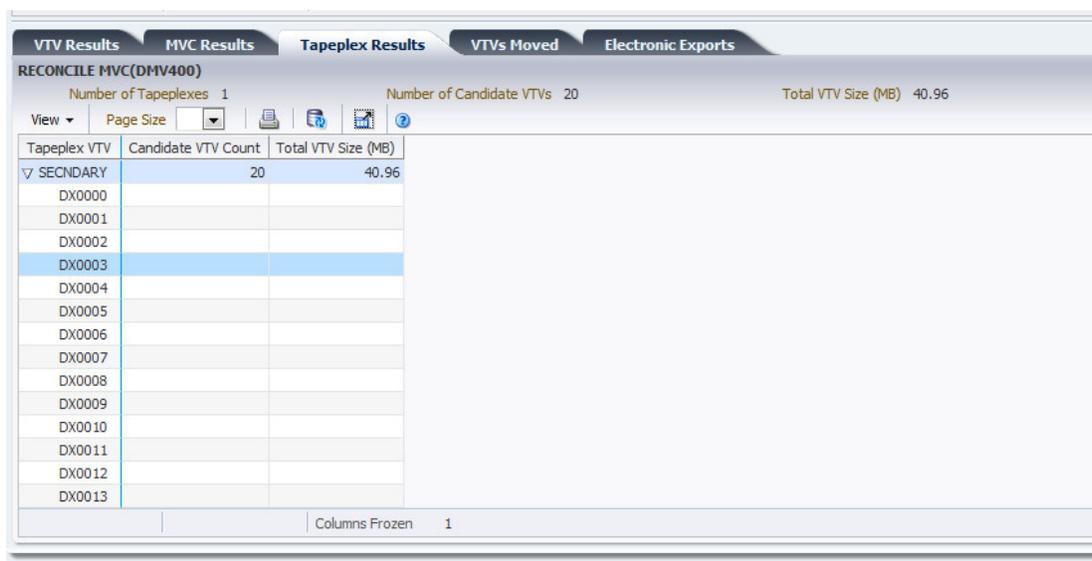
表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します

アイコン	名前	説明
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Tapeplex Results

「Tapeplex Results」詳細タブには、「Command Log」で現在、選択されているコマンドの結果が TapePlex 別に一覧表示されます。



The screenshot shows the 'Tapeplex Results' tab in a software interface. At the top, there are navigation tabs: 'VTV Results', 'MVC Results', 'Tapeplex Results' (selected), 'VTVs Moved', and 'Electronic Exports'. Below the tabs, the text 'RECONCILE MVC(DMV400)' is displayed. There are two status indicators: 'Number of Tapeplexes 1' and 'Number of Candidate VTVs 20'. On the right, 'Total VTV Size (MB) 40.96' is shown. A toolbar contains icons for 'View', 'Page Size', and other functions. The main table has three columns: 'Tapeplex VTV', 'Candidate VTV Count', and 'Total VTV Size (MB)'. The table is expanded to show a list of VTVs under the 'SECDARY' category, with 'DX0003' selected. At the bottom, a status bar indicates 'Columns Frozen 1'.

Tapeplex VTV	Candidate VTV Count	Total VTV Size (MB)
SECDARY	20	40.96
DX0000		
DX0001		
DX0002		
DX0003		
DX0004		
DX0005		
DX0006		
DX0007		
DX0008		
DX0009		
DX0010		
DX0011		
DX0012		
DX0013		

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex VTV	TapePlex の名前 (縮小) とその VTV の volser (展開)
Candidate VTV Count	VTV の合計数
Total VTV Size (MB)	M バイト単位での VTV の合計サイズ

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します

「View」のオプション	説明
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「Page Size」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

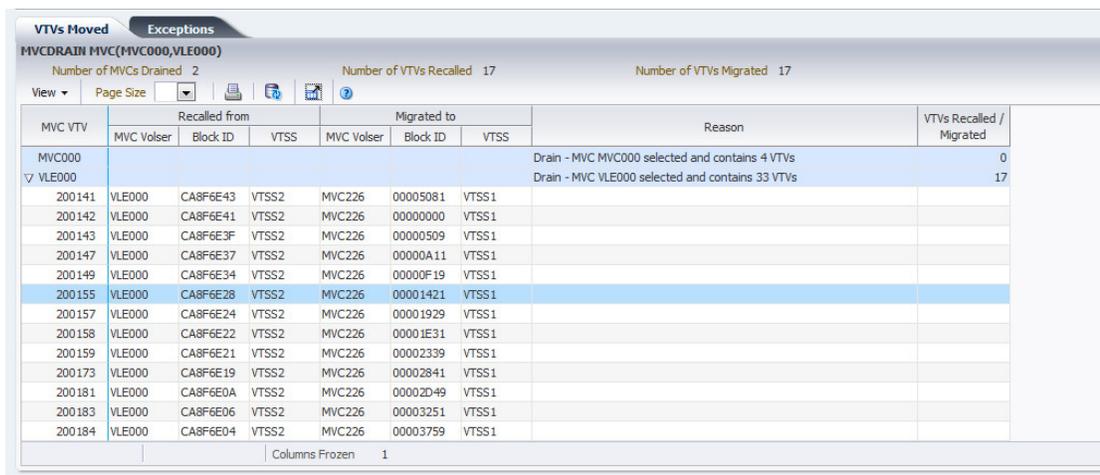
複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTVs Moved

「VTVs Moved」詳細タブには、「Command Log」で現在、選択されているコマンドの結果が移動済みの VTV 別に一覧表示されます。



MVC VTV		Recalled from			Migrated to			Reason	VTVs Recalled / Migrated
MVC	VTV	MVC Volser	Block ID	VTSS	MVC Volser	Block ID	VTSS		
MVC000								Drain - MVC MVC000 selected and contains 4 VTVs	0
▽	VLE000							Drain - MVC VLE000 selected and contains 33 VTVs	17
200141	VLE000	CA8F6E43	VTSS2		MVC226	00005081	VTSS1		
200142	VLE000	CA8F6E41	VTSS2		MVC226	00000000	VTSS1		
200143	VLE000	CA8F6E3F	VTSS2		MVC226	00000509	VTSS1		
200147	VLE000	CA8F6E37	VTSS2		MVC226	00000A11	VTSS1		
200149	VLE000	CA8F6E34	VTSS2		MVC226	00000F19	VTSS1		
200155	VLE000	CA8F6E28	VTSS2		MVC226	00001421	VTSS1		
200157	VLE000	CA8F6E24	VTSS2		MVC226	00001929	VTSS1		
200158	VLE000	CA8F6E22	VTSS2		MVC226	00001E31	VTSS1		
200159	VLE000	CA8F6E21	VTSS2		MVC226	00002339	VTSS1		
200173	VLE000	CA8F6E19	VTSS2		MVC226	00002841	VTSS1		
200181	VLE000	CA8F6E0A	VTSS2		MVC226	00002D49	VTSS1		
200183	VLE000	CA8F6E06	VTSS2		MVC226	00003251	VTSS1		
200184	VLE000	CA8F6E04	VTSS2		MVC226	00003759	VTSS1		

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
MVC VTV	MVC の volser (縮小) およびその VTV の volser (展開)
MVC Volser Recalled From	VTV のリコール元の MVC の volser
Block ID Recalled From	VTV のリコール元のブロック ID
VTSS Recalled From	VTV のリコール元の VTSS
MVC Volser Migrated To	VTV の移行先の MVC の volser
Block ID Migrated To	VTV の移行先のブロック ID
VTSS Migrated To	VTV の移行先の VTSS
Reason	MVC がリコールまたは移行された理由
VTVs Recalled /Migrated	リコールまたは移行された MVC 内の VTV の数

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

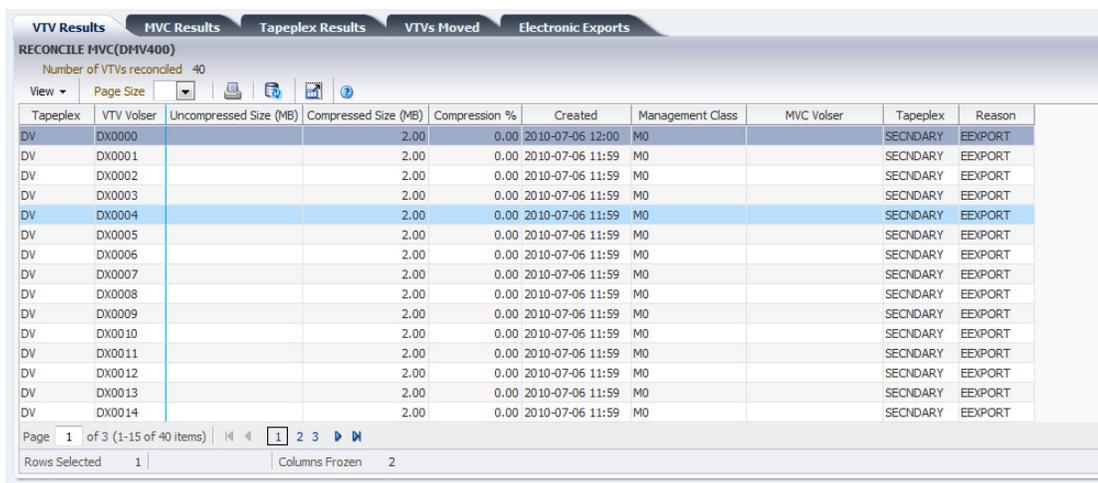
表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します

アイコン	名前	説明
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## VTV Results

「VTV Results」詳細タブには、「Command Log」で現在、選択されているコマンドの結果が VTV 別に一覧表示されます。



Tapeplex	VTV Volser	Uncompressed Size (MB)	Compressed Size (MB)	Compression %	Created	Management Class	MVC Volser	Tapeplex	Reason
DV	DX0000		2.00	0.00	2010-07-06 12:00	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0001		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0002		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0003		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0004		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0005		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0006		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0007		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0008		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0009		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0010		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0011		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0012		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0013		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT
DV	DX0014		2.00	0.00	2010-07-06 11:59	M0		SECONDARY	EEXPORT

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	VTV がある TapePlex の名前
VTV Volser	VTV の volser
Uncompressed Size (MB)	M バイト単位での VTV の圧縮解除サイズ
Compressed Size (MB)	M バイト単位での VTV の圧縮サイズ
Compression Percentage	VTV の圧縮率
Created	VTV の作成日付および時間
Management Class	VTV に割り当てられた管理クラス
MVC Volser	調整済み VTV の MVC の volser の名前
Tapeplex	調整済み VTV の新しい TapePlex の名前

列	説明
Reason	VTV が調整された理由

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します

アイコン	名前	説明
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Electronic Exports

「**Electronic Exports**」詳細タブには、「**Command Log**」で現在、選択されているコマンドによって電子的にエクスポートされた VTV が一覧表示されます。



Tapeplex	VTV Volser	Electronically Exported to				Rejected
		Tapeplex	MVC Volser	Block ID	VTSS	
DV	DX0000	SECONDARY	DMV004	00000000	DVTSS16	
DV	DX0001	SECONDARY	DMV004	00000091	DVTSS16	
DV	DX0002	SECONDARY	DMV004	00000121	DVTSS16	
DV	DX0003	SECONDARY	DMV004	00000181	DVTSS16	
DV	DX0004	SECONDARY	DMV004	00000241	DVTSS16	
DV	DX0005	SECONDARY	DMV004	00000201	DVTSS16	
DV	DX0006	SECONDARY	DMV004	00000361	DVTSS16	
DV	DX0007	SECONDARY	DMV004	000003F1	DVTSS16	
DV	DX0008	SECONDARY	DMV004	00000481	DVTSS16	
DV	DX0009	SECONDARY	DMV004	00000511	DVTSS16	
DV	DX0010	SECONDARY	DMV004	00000049	DVTSS16	
DV	DX0011	SECONDARY	DMV004	00000009	DVTSS16	
DV	DX0012	SECONDARY	DMV004	00000189	DVTSS16	
DV	DX0013	SECONDARY	DMV004	000001F9	DVTSS16	
DV	DX0014	SECONDARY	DMV004	00000289	DVTSS16	

拒否された電子エクスポートは、次のアイコンで「**Rejected**」列に示されます。

アイコン	名前	説明
	Critical	コマンドの実行中に発生した例外を示します。

このアイコンをクリックすると、「**Exceptions**」タブが表示されます。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	VTV がある TapePlex の名前
Tapeplex Exported To	VTV の電子エクスポート先の TapePlex の名前
MVC Volser Exported To	VTV の電子エクスポート先の MVC
Block ID Exported To	VTV の電子エクスポート先のブロック ID
VTSS Exported To	VTV の電子エクスポート先の VTSS の名前
Rejected	電子エクスポートが拒否されたかどうかを示します。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Vary Output

「**Vary Output**」詳細タブには、「**Command Log**」で選択した Vary コマンドの結果が、コマンドの結果を確認できる該当の「**Display**」ページ(「**Display CLINK**」、「**Display Drive**」、または「**Display VTSS**」)へのリンクとともに表示されます。

Submitted	Username	Tapeplex	Command Type	Command	Status	Completed	Exception
2014-12-22 10:35	joanne	FI0N	AUDIT	AUDIT VTSS(Y9)	Submitted		
2014-11-18 11:13	joanne	FI0N	VARY VTSS	VARY VTSS(X8) HOST(MC ) ONLINE	Submitted		
2014-11-18 10:25	joanne	FI0N	VARY DRIVE	VARY RTD(C304) ONLINE	Completed	2014-11-18 10:27	
2014-11-17 12:34	joanne	FI0N	VARY VTSS	VARY VTSS(Z9) HOST(VSM1) OFFLINE	Completed	2014-11-17 12:35	
2014-11-10 10:55	joanne	FI0N	VARY CLINK	VARY CLINK(1C) VTSS(X8) ONLINE	Completed	2014-11-10 11:01	
2014-10-06 14:57	joanne	HSCVTCS	RECLAIM	RECLAIM MVC(MVC000)	Completed	2014-10-06 14:57	
2014-10-06 12:41	joanne	HSCVTCS	MVCDRAIN	MVCDRAIN STORCLAS(S1)	Completed	2014-10-06 12:41	
2014-10-06 12:26	joanne	HSCVTCS	MVCDRAIN	MVCDRAIN MVCPPOOL(POOL1)	Completed	2014-10-06 12:26	
2014-10-06 10:08	joanne	HSCVTCS	MVCDRAIN	MVCDRAIN	Completed	2014-10-06 10:08	
2014-10-05 12:26	joanne	HSCVTCS	AUDIT	AUDIT MVC(MVC000,VLE000)	Completed	2014-10-05 12:26	
2014-10-05 12:25	joanne	HSCVTCS	AUDIT	AUDIT VTSS(VTSS1)	Completed	2014-10-05 12:25	
2014-10-05 12:25	joanne	HSCVTCS	RECLAIM	RECLAIM STORCLAS(S2)	Completed	2014-10-05 12:25	
2014-10-05 12:25	joanne	HSCVTCS	RECLAIM	RECLAIM MVC(MVC000)	Completed	2014-10-05 12:25	
2014-10-05 12:25	joanne	HSCVTCS	RECONCILE	RECONCILE MGMTCLAS(M0)	Completed	2014-10-05 12:25	
2014-10-05 12:25	joanne	HSCVTCS	RECONCILE	RECONCILE MVC(VLE000)	Completed	2014-10-05 12:25	

## Cancelled Processes

「Cancelled Processes」詳細タブには、「Active Processes」タブまたは「Queued Processes」タブの「プロセスの取り消し」機能を使用して手動で取り消された、キューに入れられたプロセスおよびアクティブなプロセスが一覧表示されます。

Tapeplex	MVS Host	Process ID	Function	Parent ID	Parent ID	VTV Volser	MVC Volser	RTD Device Address	VTD Device Address	Task Type	Reason	ACS	LSM	Storage Manager	Internal Device Type	For Mount	For VTV Move	Local Wait Time (min)	Storage Class	Refreshed
YSM8	cbamvs	40544	AUDIT#	40544						IBV										2015-08-19 07:28

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	TapePlex 名。
MVS Host	プロセスを実行している MVS ホスト。
Process ID	0 - 65536 の範囲の一意の番号である、機能のプロセス ID。プロセス ID が 65536 に達すると、ゼロに戻されます。
Function	要求のタイプ:  AllocSCR: スクラッチ VTV のジョブ割り当て要求。  AllocVTV: 特定の VTV のジョブ割り当て要求。  Audit#: 監査ユーティリティ要求。  Cancel@: 取り消しコマンド。  Consold#: 統合またはエクスポートユーティリティタスク。

列	説明
	<p>Consolid: 統合 MVC への再移行のために VTV をリコールします。これは、Int_cons または Consold# 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>Dismount: VTD から VTV をマウント解除します。</p> <p>Display@: 表示または問い合わせコマンド。</p> <p>Drain: 排出またはリクレイム処理中に、再移行のために MVC から VTV をリコールします。これは VtvMover 要求の子です。</p> <p>Drain@: 排出コマンドまたはユーティリティ。</p> <p>DrainMVC: 排出される MVC ごとに 1 つの DrainMVC 要求があります。Drain@ 要求の子要求である DrainMVC は、単一の MVC の排出プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p> <p>DELETSCR: スクラッチユーティリティを削除します。</p> <p>Getmgpol: 現在の管理およびストレージクラス定義を取得します。</p> <p>Getconfig: 構成情報を取得します</p> <p>HSCChnge: 変更されるパラメータファイルの通知。</p> <p>Import#: ユーティリティによる VTV または MVC のインポート。</p> <p>Int_cons: PGMI が統合要求を開始しました</p> <p>MEDVERfy: メディア検証の親タスク</p> <p>Migrate: VTV の MVC への移行を実行するための一般的な要求。これは、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。</p> <p>Migrate@: 移行コマンドまたはユーティリティ。これには、しきい値への移行と自動移行が含まれます。</p> <p>Mount: VTD 上に VTV をマウントします。状況に応じて、これはあとで VTV の転送またはリコール要求として表示されることがあります。</p> <p>Move MVC: 調整またはアーカイブによって処理される MVC ごとに 1 つの Move MVC 要求があります。MoveVTV# 要求の子要求である Move MVC は、単一の MVC の VTV 移動プロセス全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。</p>
	<p>MoveVTV#: これは、MVC 間で VTV のコピーを移動するための ARCHIVE または RECONCILE ユーティリティコマンドからの要求です。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。</p>

列	説明
	MvcMaint: MVCMAINT ユーティリティー要求。
	MVC_chek: MVC のステータスをチェックします。
	MVC_eot: 排出またはリクレームの完了後に MVC のテープ位置の最後をリセットします。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。
	MVC_inv: MVC の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。MVCpool#: ユーティリティーの MVC プールの詳細およびステータスを取得します。PGMI_req: まだデコードされていない、PGMI インタフェースから受信した要求。Query@l: 問い合わせまたは表示コマンド。
	MVC_upd: MVC ステータスをリセットまたは更新します。
	Recall: MVC からの VTV のリコールを実行するための一般的な要求。これには、マウントシステムからの Cross TapePlex Autorecall (CTA) 要求が含まれることがあります。「Recall」は、ほかの要求タイプに対する子として表示されることがあります。
	Recall@: リコールコマンドまたはユーティリティー。
	Reclaim@: 自動リクレーム要求、あるいはリクレームコマンドまたはユーティリティー。「VTV」列の値「-TIME-」は、ELAPSED パラメータが指定されていたことを示しています。
	ReclmMVC: リクレームされる MVC ごとに 1 つの ReclmMVC 要求があります。Reclaim@ 要求の子要求である ReclmMVC は、単一の MVC のリクレーム処理全体を管理します。「VTV」列は、MVC に対する処理のステータスを示しています。
	Reconcil: クラスタ内にある 2 つの VTSS の内容のクロスチェックを実行します。
	Replicat: クラスタ内にある VTSS 間で VTV のレプリケーションを実行します。
	Scratch: HSC から VTV 要求をスクラッチします。
	Sel_scr: PGMI スクラッチ選択
	Set@: 設定コマンド。
	Transfer: 2 つの VTSS 間で VTV を転送することで、VTD 上に VTV をマウントします。
	Unload: RTD から MVC をアンロードします。
	Uscratch: HSC から VTV 要求をアンスクラッチします。

列	説明
	<p>Vary_dev: 個々の RTD または CLINK に対して変更処理を実行します。これは、VARY@ 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>Vary@: 変更コマンド。</p> <p>VtvMaint: VTVMAINT ユーティリティー要求。</p>
	<p>VTVMover: 排出またはリクレイムされる MVC ごとに 1 つの VTVMover 要求があります。これは、DrainMVC、ReclmMVC、または Move MVC のいずれかの要求の子です。この要求は、ある MVC から別の MVC への VTV の移動を行います。</p> <p>VTSS_inv: VTSS の監査。これは、Audit# 要求に対する子要求として表示されます。</p> <p>VTSS_list: VTSS 内にある VTV のリストを取得します。これは、Reconcil 要求または自動移行要求の子要求として表示されます。</p> <p>VTV_upd: VTSS 内の VTV ステータスを CDS と再同期します。</p>
Parent ID	要求に関連付けられた親プロセスの ID。
VTSS	要求に関連付けられた VTSS 名または VTSS リスト名。
VTV Volser	プロセスで現在、使用されている VTV の volser。
MVC Volser	プロセスで現在、使用されている MVC の volser。
RTD Device Address	プロセスで現在、使用されている RTD のユニットアドレス。
VTD Device Address	プロセスで現在、使用されている VTD のデバイスアドレス。
Task Type	キューを処理しているタスク、または要求がキューに入れられたタスク。
Reason	プロセスがアクティブな理由。
ACS	プロセスが使用している ACS。
LSM	プロセスが使用している LSM。
Storage Manager	プロセスが使用しているストレージマネージャー。
Internal Device Type	プロセスが使用している内部デバイスタイプ。
For Mount	プロセスがマウント用であるかどうかを示します。
For VTV Move	プロセスが VTV の移動用であるかどうかを示します。
Local Wait Time (mins)	ローカル待機時間 (分)。
Storage Class	移行ターゲットのストレージクラス。
Refreshed	データが格納または更新された日付と UTC 時間。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

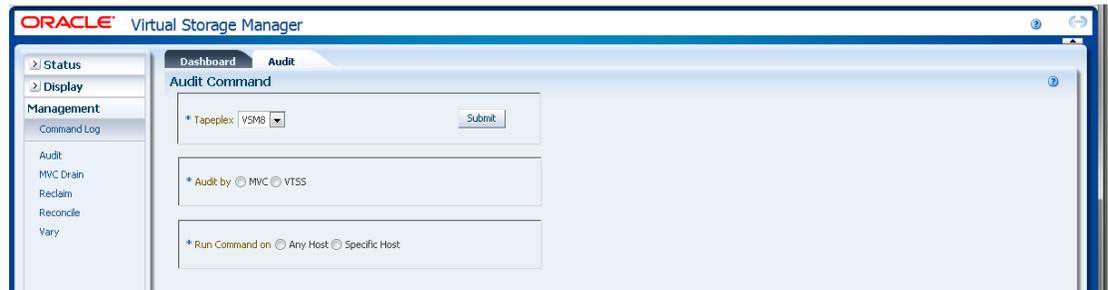
表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Print	出力可能なページとして表示します
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Run ELS	必要な ELS コマンドを実行することによってデータをリフレッシュし、このページで参照されるすべてのデータベース表を更新します。
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## Audit

**Audit** コマンド要求は、AUDIT コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。AUDIT は、HSC CDS で MVC および VTV の情報を更新します。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Audit**」を選択します。

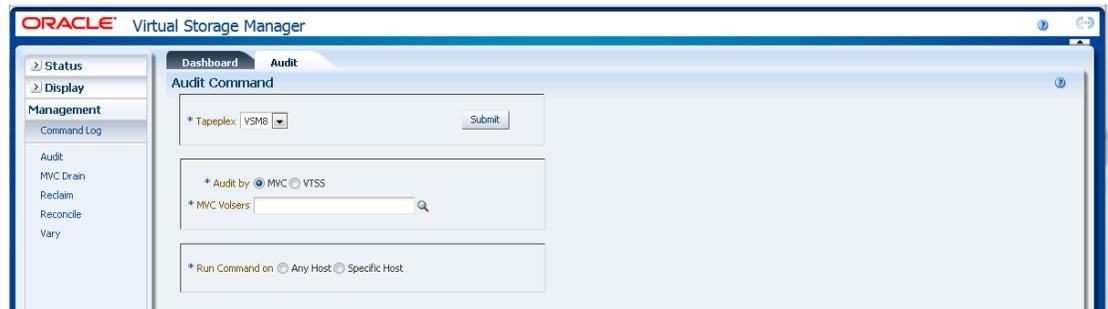


監査する TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

次のいずれかを選択します。

- 「[Audit by MVC](#)」
- 「[Audit by VTSS](#)」

## Audit by MVC

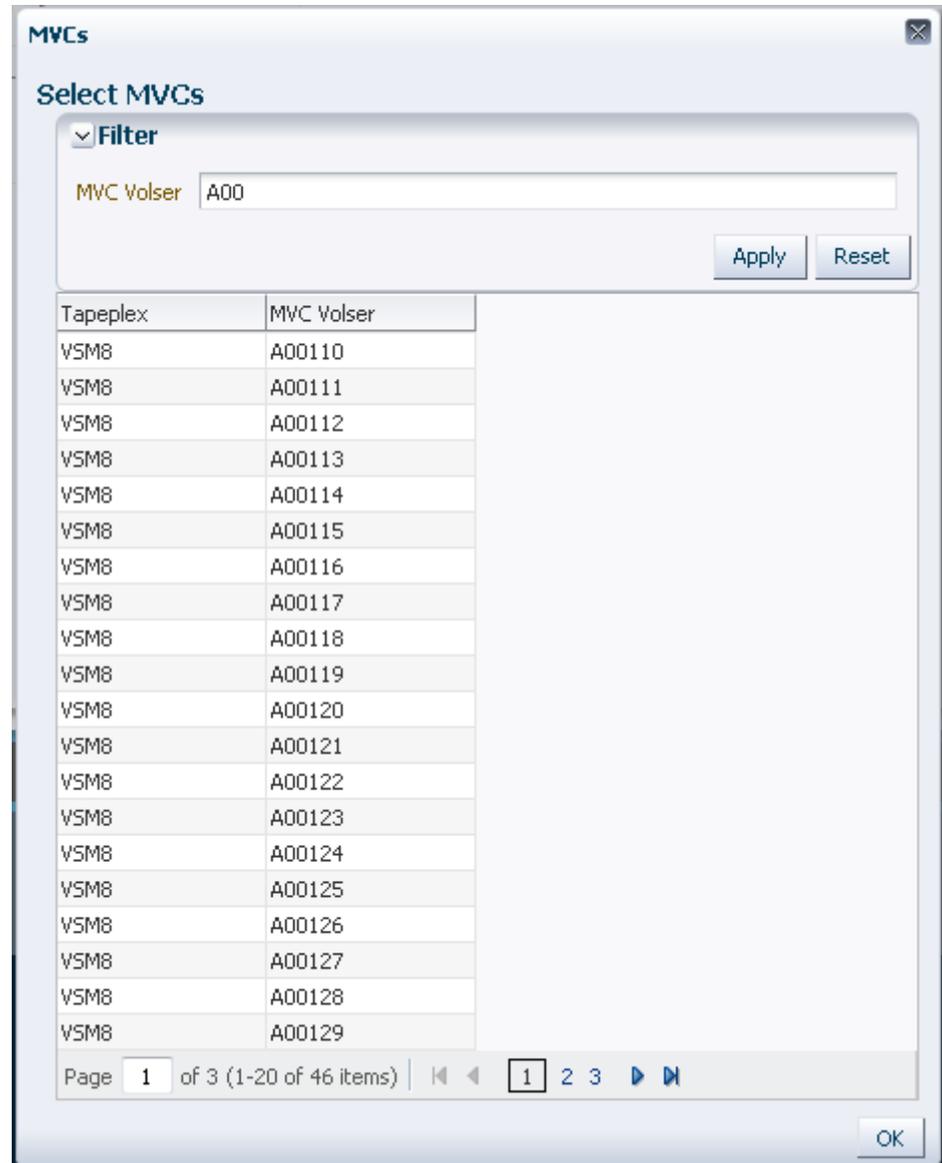


「**Audit by MVC**」を選択した場合、監査する MVC の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select MVCs**」ダイアログボックスを表示します。



「**Select MVCs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む **volser** が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**MVC Volser**」フィールドに一覧表示されます。



再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して、volser の範囲を定義します。次に、「**OK**」をクリックします。

監査する MVC の volser を選択した場合、「**Audit Command**」ペインに表示されます。



要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

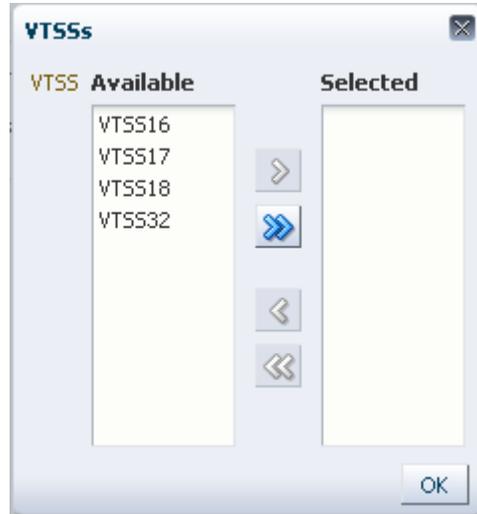
「**SUBMIT**」をクリックして続行します。ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

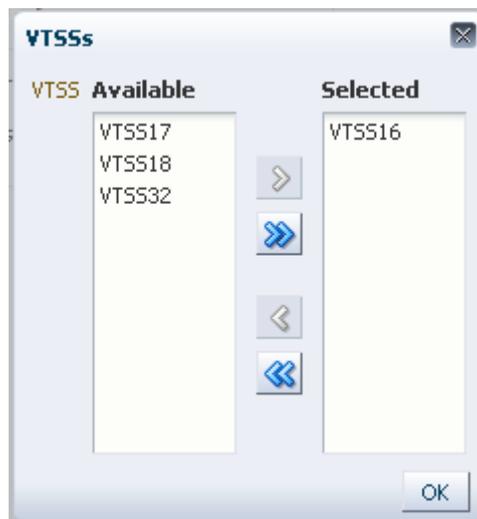
## Audit by VTSS



「**Audit by VTSS**」を選択した場合、虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で使用可能な VTSS が示されたダイアログボックスを表示します。



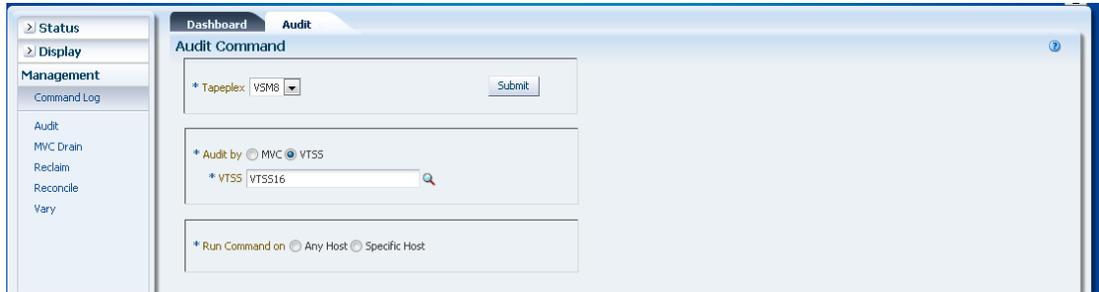
「**Available**」列で、監査する VTSS をクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこの VTSS を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。



VTSS の範囲を選択するには、範囲内の最初の VTSS をクリックしてから、下矢印キーを使用して範囲を定義します。矢印ボタンを使用して、VTSS の範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべての VTSS を「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTSS が、ホストへの送信のために「**Audit Command**」ペインに表示されます。



要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

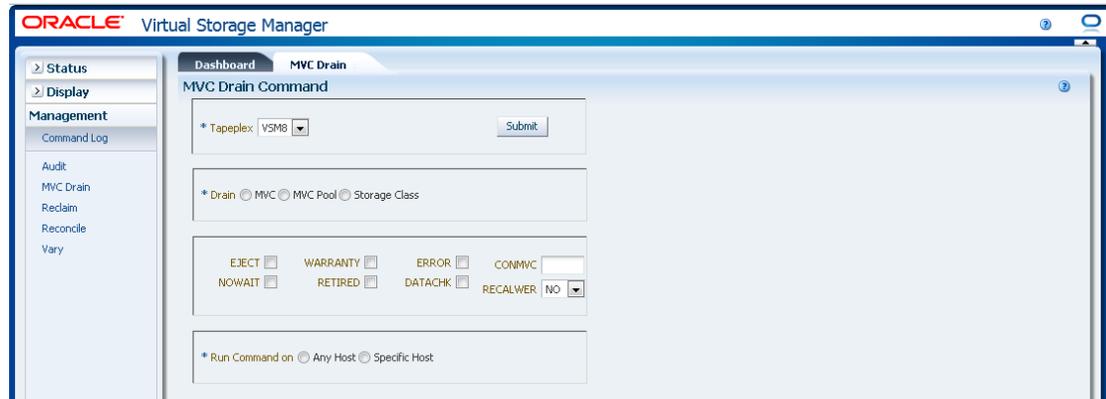
操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## MVC Drain

**MVC Drain** コマンド要求は、MVCDrain コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。MVC Drain は、現在およびスクラッチ済みのすべての VTV を MVC からリコールして、オプションで MVC を仮想的にイジェクトします (ライブラリから物理的にイジェクトしないで、VSM で使用できないようにします)。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**MVC Drain**」を選択します。

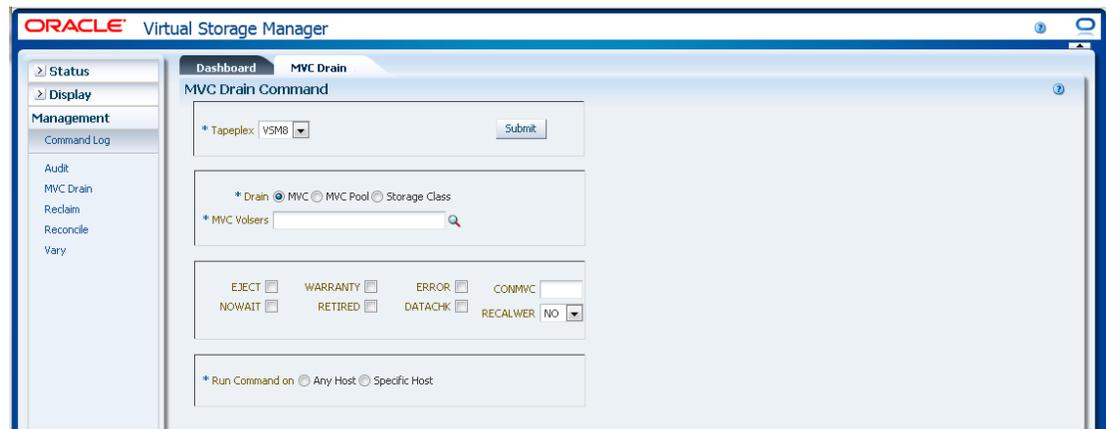
排出する TapePlex をドロップダウンリストで選択します。



次のいずれかを選択します。

- 「Drain by MVC」
- 「Drain by MVC Pool」
- 「Drain by Storage Class」

## Drain by MVC

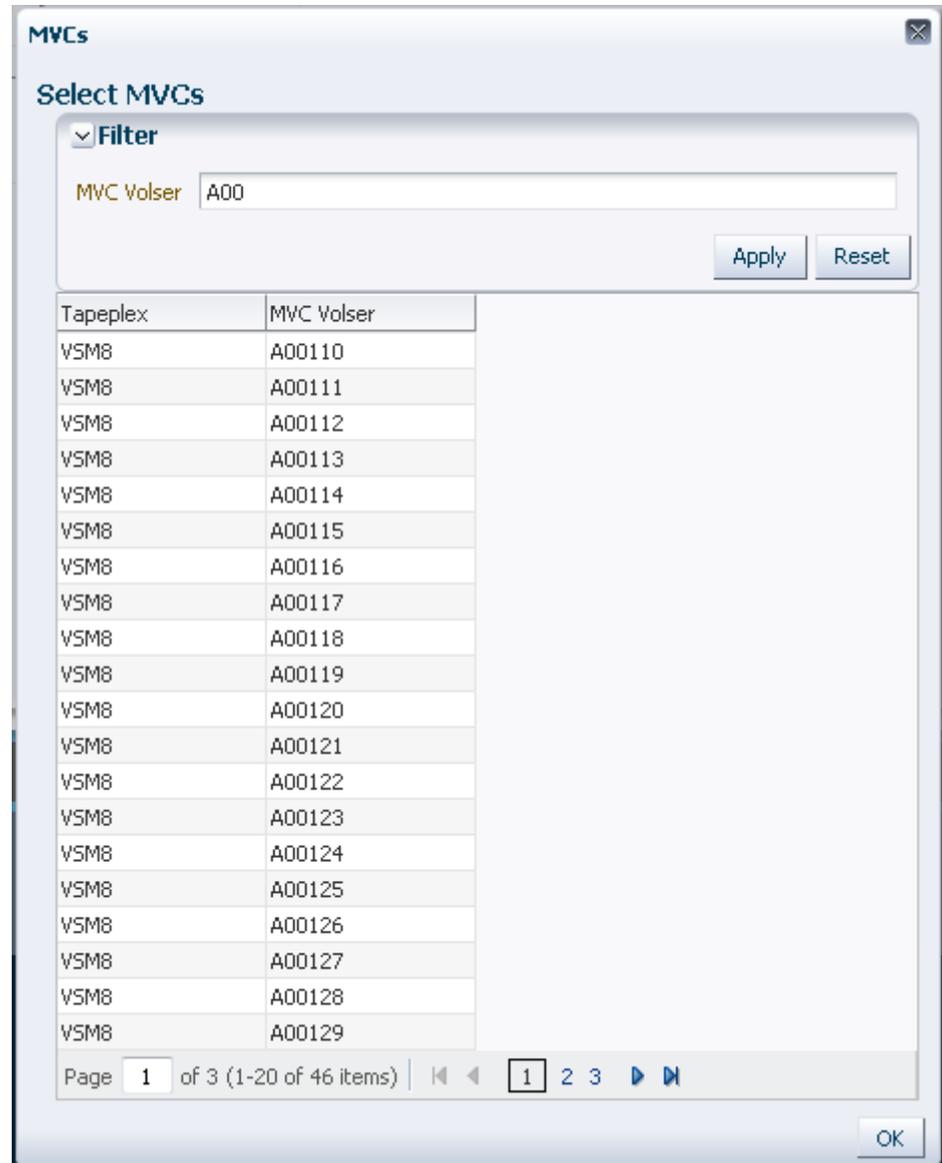


「Drain by MVC」を選択した場合、排出する MVC の volsers をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「Select MVCs」ダイアログボックスを表示します。



「**Select MVCs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**MVC Volser**」フィールドに一覧表示されます。

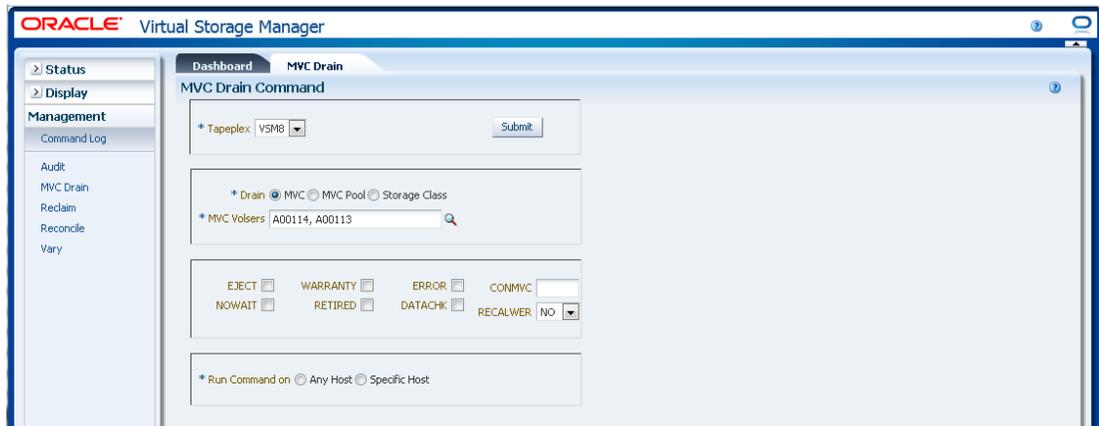


再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser を選択して強調表示してから「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して、volser の範囲を定義して強調表示します。次に、「**OK**」をクリックします。

MVC の volser を選択した場合、「**MVC Drain Command**」ペインに表示されます。



オプションパラメータを選択します。

- **EJECT** は、VTCS が MVC を仮想的にイジェクトして (MVC は出力には使用されませんが)、VTV を物理的に削除します。このパラメータを指定しない場合、VTV は物理的には削除されませんが、MVC に VTV を表示しないように CDS レコードが更新されます。
- **WARRANTY** は、保証期限が切れた MVC を選択します。
- **ERROR** は、エラーがある MVC を選択します。
- **CONMVC** は、VTCS が排出とリクレイムの両方の処理を同時に行う MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、デフォルトは、CONFIG RECLAIM ステートメントで指定した CONMVC 値です。
- **NOWAIT** は、要求が送信されたあとで、ユーティリティーが操作の完了を待機せずに戻ることを指定します。
- **RETIRED** は、期限切れにされる MVC を選択します。
- **DATACHK** は、データチェックがある MVC を選択します。
- **RECALWER** は、VTCS が読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールするかどうかを示します。「**NO**」がデフォルトです。「**YES**」は読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールします。

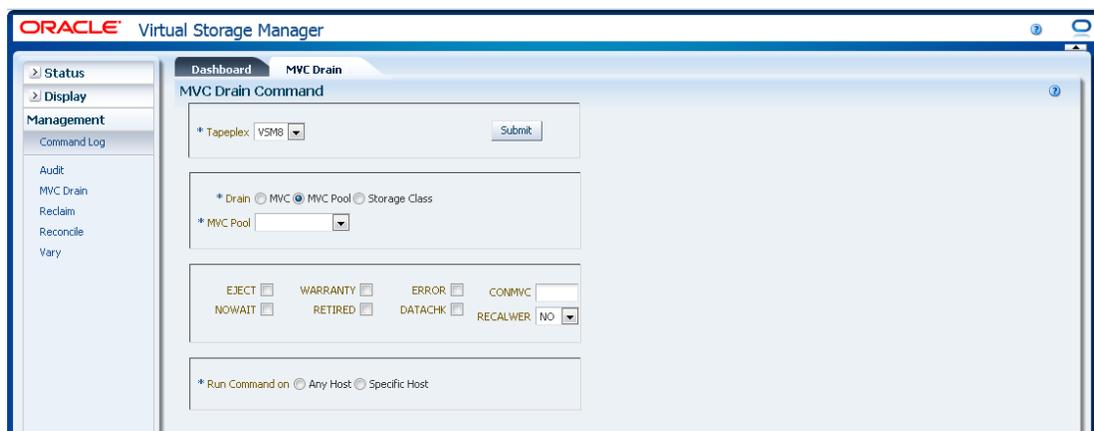
要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Drain by MVC Pool



「**Drain by MVC Pool**」を選択した場合、排出する MVC プールをドロップダウンリストで選択します。

「MVC Pool」を選択した場合、「**MVC Drain Command**」ペインに表示されます。



オプションパラメータを選択します。

- **EJECT** は、VTCS が MVC を仮想的にイジェクトして (MVC は出力には使用されません)、VTV を物理的に削除します。このパラメータを指定しない場合、VTV

は物理的には削除されませんが、MVC に VTV を表示しないように CDS レコードが更新されます。

- **WARRANTY** は、保証期限が切れた MVC を選択します。
- **ERROR** は、エラーがある MVC を選択します。
- **CONMVC** は、VTCS が排出とリクレイムの両方の処理を同時に行う MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、デフォルトは、CONFIG RECLAIM ステートメントで指定した CONMVC 値です。
- **NOWAIT** は、要求が送信されたあとで、ユーティリティーが操作の完了を待機せずに戻ることを指定します。
- **RETIRED** は、期限切れにされる MVC を選択します。
- **DATACHK** は、データチェックがある MVC を選択します。
- **RECALWER** は、VTCS が読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールするかどうかを示します。「**NO**」がデフォルトです。「**YES**」は読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールします。

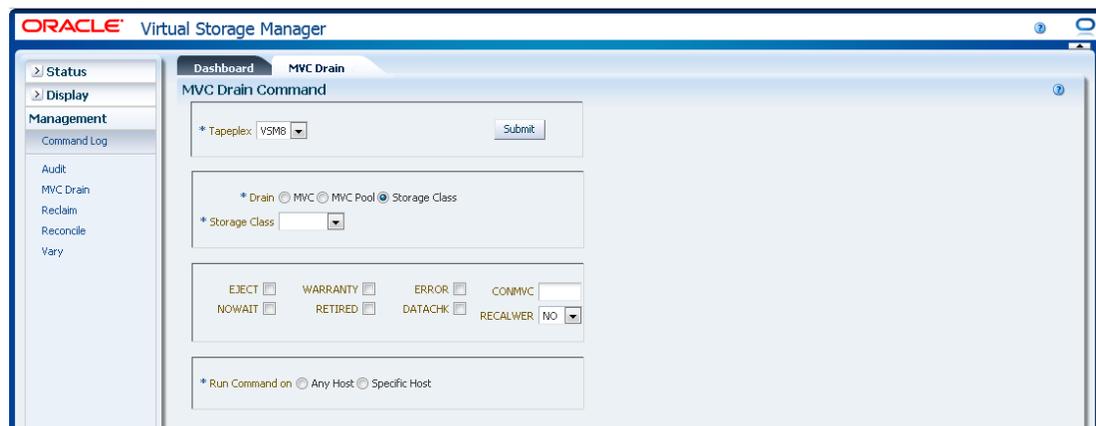
#### **要求を送信します。**

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

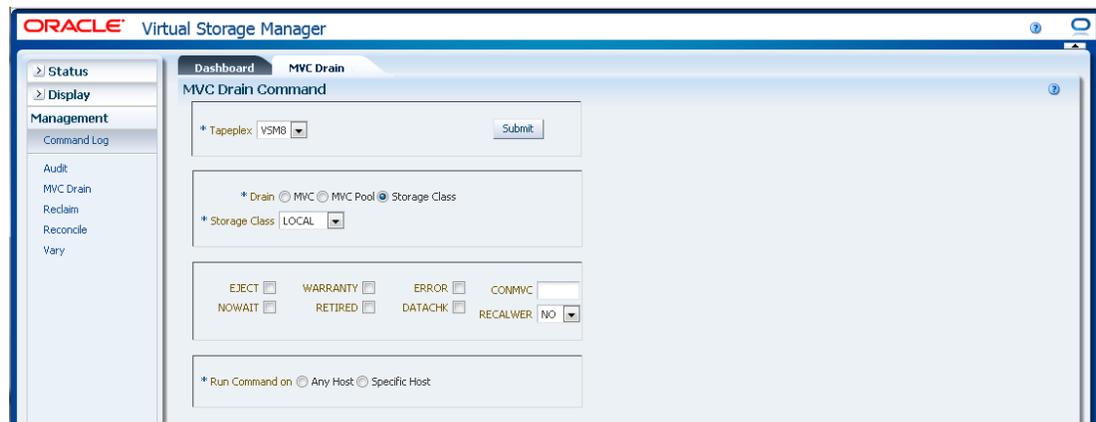
操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Drain by Storage Class



「**Drain by Storage Class**」を選択した場合、排出するストレージクラスをドロップダウンリストで選択します。

「Storage Class」を選択した場合、「**MVC Drain Command**」ペインに表示されます。



オプションパラメータを選択します。

- **EJECT** は、VTCS が MVC を仮想的にイジェクトして (MVC は出力には使用されませんが)、VTV を物理的に削除します。このパラメータを指定しない場合、VTV は物理的には削除されませんが、MVC に VTV を表示しないように CDS レコードが更新されます。
- **WARRANTY** は、保証期限が切れた MVC を選択します。
- **ERROR** は、エラーがある MVC を選択します。

- **CONMVC** は、VTCS が排出とリクレイムの両方の処理を同時に行う MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、デフォルトは、CONFIG RECLAIM ステートメントで指定した CONMVC 値です。
- **NOWAIT** は、要求が送信されたあとで、ユーティリティーが操作の完了を待機せずに戻ることを指定します。
- **RETIRED** は、期限切れにされる MVC を選択します。
- **DATACHK** は、データチェックがある MVC を選択します。
- **RECALWER** は、VTCS が読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールするかどうかを示します。「**NO**」がデフォルトです。「**YES**」は読み取りデータチェックを使用して VTV をリコールします。

### 要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Reclaim

**Reclaim** コマンド要求は、RECLAIM コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。RECLAIM は、強制 MVC スペースリクレイムを実行します。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Reclaim**」を選択します。



領域をリクレイムする TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

次のいずれかを選択します。

- 「Reclaim by All MVCs」
- 「Reclaim by MVC」
- 「Reclaim by MVC Pool」
- 「Reclaim by Storage Class」
- 「Reclaim by ACS」

## Reclaim by All MVCs



「Reclaim by All」を選択した場合、「MVC Pool」、「Storage Class」、または「ACS」に関係なく、TapePlex 全体のすべての MVC が、リクレイムの適格性について検査されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC:** 単一のスペースリクレームタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH:** パーティション分割された MVC を動的なリクレーム処理に適格にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRSH 値です。
- **CONMVC:** 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH:** MVC を強制または自動リクレームに適格にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE:** 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレーム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT:** 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

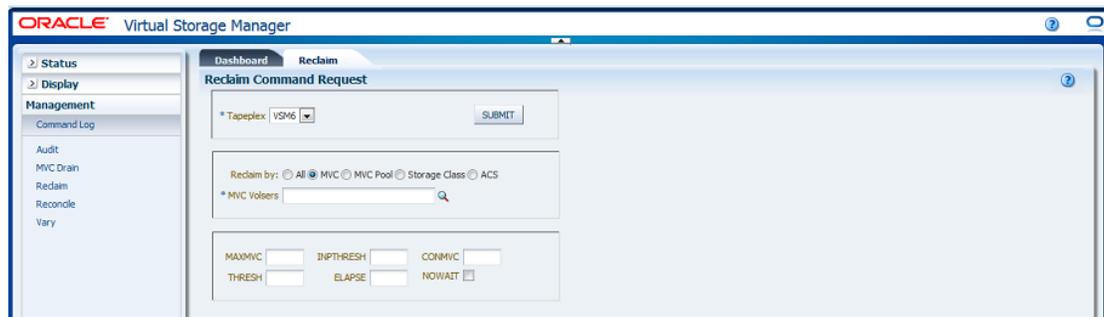
### 要求を送信します。

「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「SUBMIT」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「YES」をクリックして要求をホストに送信するか、「NO」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「[Command Log](#)」ペインに結果を表示できます。

## Reclaim by MVC

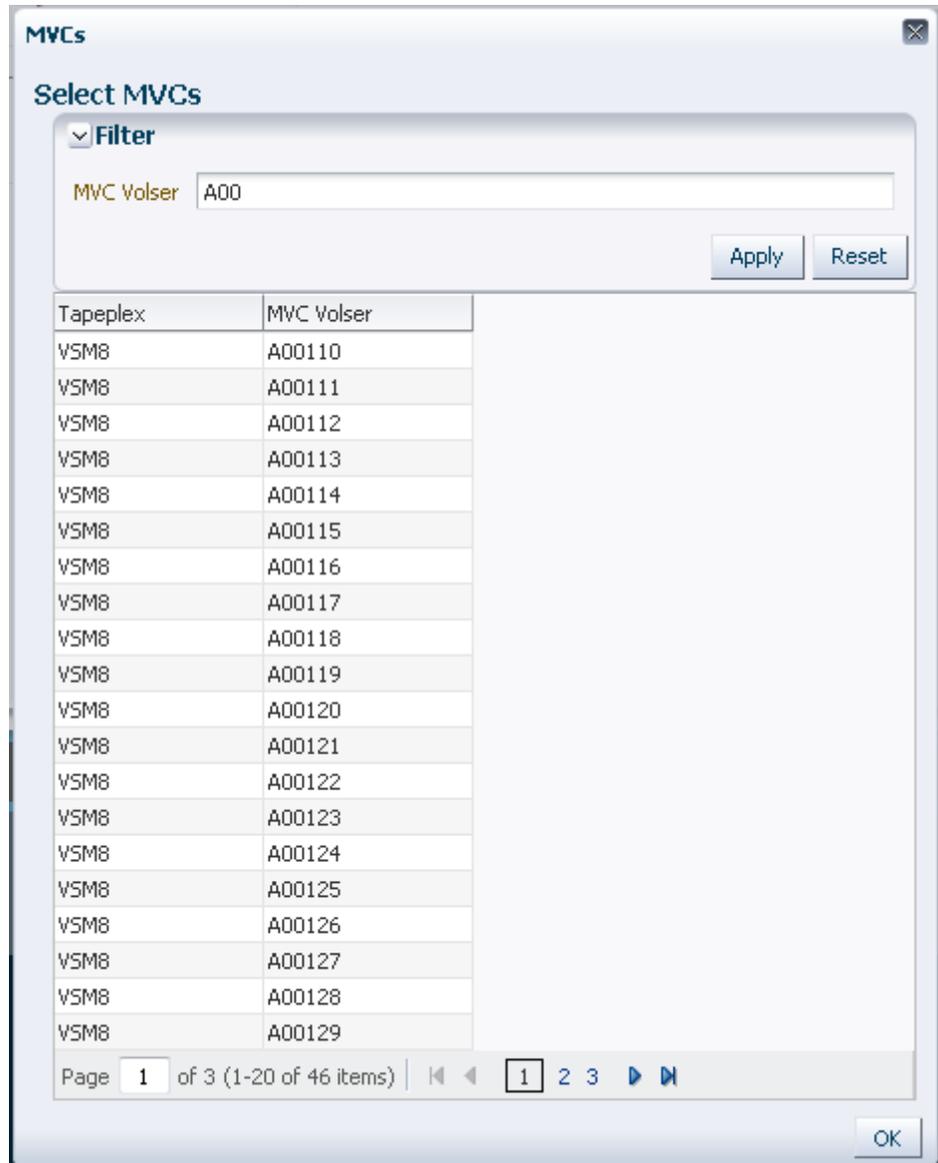


「**Reclaim by MVC**」を選択した場合、リクレイムする MVC の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select MVCs**」ダイアログボックスを表示します。



「**Select MVCs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**MVC Volser**」フィールドに一覧表示されます。



再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser を選択して強調表示してから「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して、volser の範囲を定義して強調表示します。次に、「**OK**」をクリックします。

MVC リクレイムの候補を選択した場合、「**Reclaim Command**」ペインに表示されます。



オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一のスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH**: パーティション分割された MVC を動的なリクレイム処理に適合にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRESH 値です。
- **CONMVC**: 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH**: MVC を強制または自動リクレイムに適合にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレイム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT**: 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Reclaim by MVC Pool

The screenshot shows the Oracle Virtual Storage Manager interface for the 'Reclaim Command' page. The left sidebar contains navigation options: Status, Display, Management (Command Log), Audit, MVC Drain, Reclaim, Reconcile, and Vary. The main content area is titled 'Reclaim Command' and includes a 'Submit' button. The 'Tapeplex' dropdown is set to 'VSM8'. The 'Reclaim by' section has radio buttons for 'All MVCs', 'MVC', 'MVC Pool' (selected), 'Storage Class', and 'ACS'. Below this is an empty 'MVC Pool' dropdown menu. There are input fields for 'MAXMVC', 'INPTHRESH', 'CONMVC', 'THRESH', 'ELAPSE', and a 'NOWAIT' checkbox. At the bottom, there are radio buttons for 'Run Command on' set to 'Any Host'.

「**Drain by MVC Pool**」を選択した場合、領域をリクレイムする MVC プールをドロップダウンリストで選択します。

This screenshot is similar to the previous one, but the 'MVC Pool' dropdown menu is now populated with the value 'DEFAULTPOOL'. All other interface elements, including the 'Submit' button, 'Tapeplex' dropdown, and various input fields, remain the same.

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一のスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH**: パーティション分割された MVC を動的なリクレイム処理に適格にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRSH 値です。

- **CONMVC**: 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH**: MVC を強制または自動リクレイムに適格にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレイム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT**: 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

### 要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Reclaim by Storage Class

「**Reclaim by Storage Class**」を選択した場合、MVC 領域をリクレイムするストレージクラスをドロップダウンリストで選択します。

### オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC:** 単一のスペースリクレームタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH:** パーティション分割された MVC を動的なリクレーム処理に適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRSH 値です。
- **CONMVC:** 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH:** MVC を強制または自動リクレームに適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **ELAPSE:** 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレーム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT:** 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

### 要求を送信します。

「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「SUBMIT」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「YES」をクリックして要求をホストに送信するか、「NO」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「Command Log」ペインに結果を表示できます。

## Reclaim by ACS

ORACLE Virtual Storage Manager

Dashboard Reclaim

Reclaim Command

\* Tapeplex: VSMB [Submit]

\* Reclaim by:  All MVCs  MVC  MVC Pool  Storage Class  ACS

\* ACS: [ ]

MAXMVC [ ] INPTHRESH [ ] CONMVC [ ]  
THRESH [ ] ELAPSE [ ] NOWAIT

\* Run Command on:  Any Host  Specific Host

「Reclaim by AC」を選択した場合、MVC 領域をリクレイムする ACS をドロップダウンリストで選択します。

ORACLE Virtual Storage Manager

Dashboard Reclaim

Reclaim Command

\* Tapeplex: VSMB [Submit]

\* Reclaim by:  All MVCs  MVC  MVC Pool  Storage Class  ACS

\* ACS: 01

MAXMVC [ ] INPTHRESH [ ] CONMVC [ ]  
THRESH [ ] ELAPSE [ ] NOWAIT

\* Run Command on:  Any Host  Specific Host

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC:** 単一のスペースリクレイムタスクによって処理される MVC の最大数。有効な値は 1 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **INPTHRESH:** パーティション分割された MVC を動的なリクレイム処理に適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 3 - 97 です。デフォルトは、現在アクティブかつグローバルな INPTHRESH 値です。
- **CONMVC:** 同時に処理する MVC の最大数。有効な値は 1 - 99 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。
- **THRESH:** MVC を強制または自動リクレイムに適切にする、断片化された領域のパーセンテージ。有効な値は 4 - 98 です。デフォルトは CONFIG RECLAIM 値です。

- **ELAPSE:** 調整の最大時間 (分)。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、リクレイム処理の時間制限はありません。
- **NOWAIT:** 操作の完了を待機しません。要求が送信されたあとで戻ります。

要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

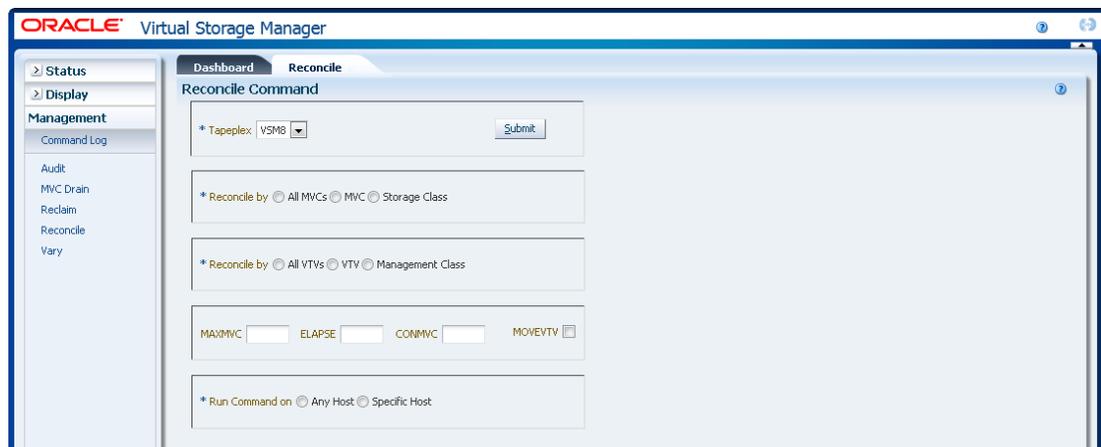
「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Reconcile

**Reconcile** コマンド要求は、RECONcil コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。Reconcile は、MVC、VTV、ストレージクラス、管理クラスの各定義の間でクロスチェックを実行します。VTV のメディアと場所を調整するために、VTV はオプションで、あるストレージクラスから別のストレージクラスに移動されます。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Reconcile**」を選択します。



調整する TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

チェックする MVC を定義するには、次のいずれかを選択します。

- 「Reconcile by All MVCs」
- 「Reconcile by MVC」
- 「Reconcile by Storage Class」

## Reconcile by All MVCs

すべての MVC を調整の候補として選択するには、「All MVCs」をクリックします。



MVC をさらにフィルタ処理して、次を調整できます。

- 「すべての MVC 内のすべての VTV を調整する」
- 「すべての MVC 内の選択した VTV を調整する」
- 「すべての MVC 内の管理クラスによって調整する」

## すべての MVC 内のすべての VTV を調整する

「Reconcile by All VTVs」も選択した場合、すべての MVC 内のすべての VTV が調整されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **ELAPSE:** 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC:** 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV:** VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

### 要求を送信します。

「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「SUBMIT」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「YES」をクリックして要求をホストに送信するか、「NO」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「[Command Log](#)」ペインに結果を表示できます。

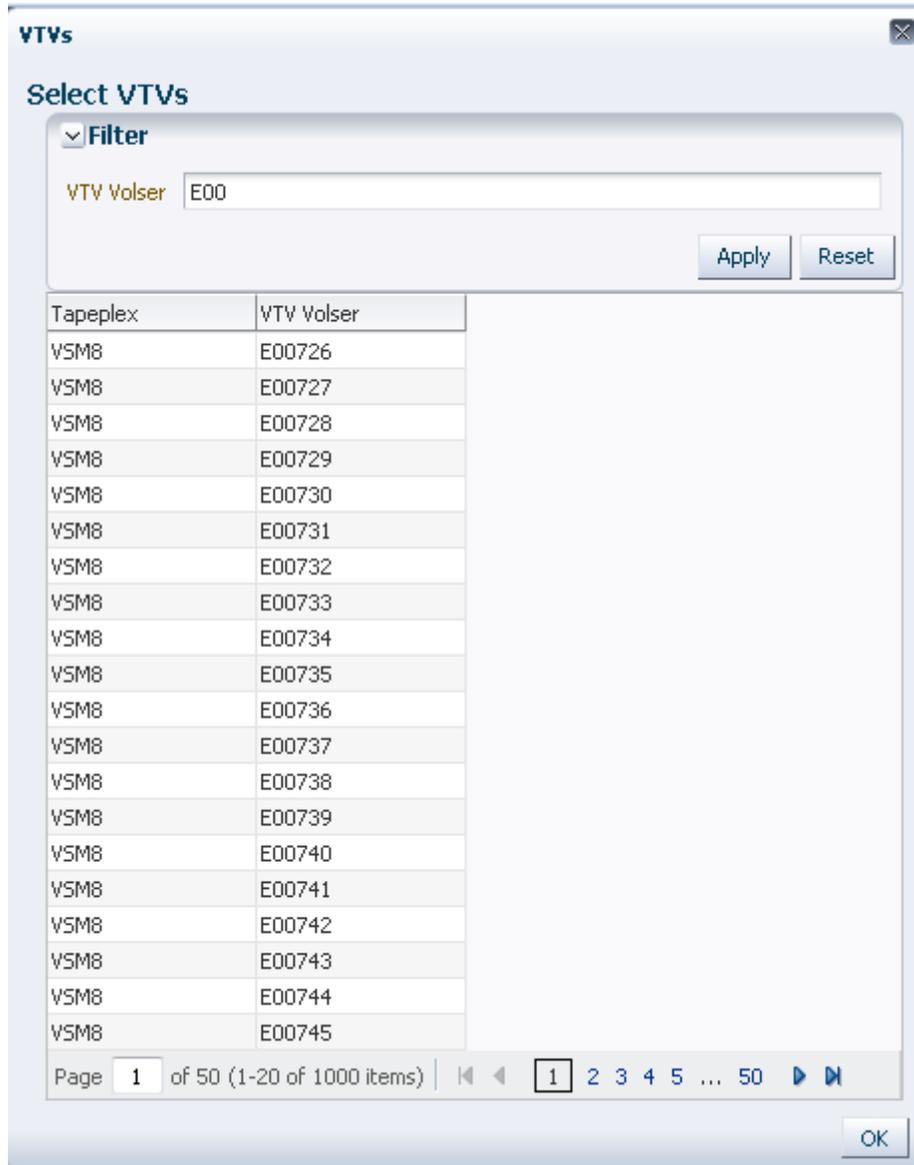
### すべての MVC 内の選択した VTV を調整する

「Reconcile by VTV」も選択した場合、すべての MVC 内の選択した VTV のみが調整されます。調整する VTV の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「Select VTVs」ダイアログボックスを表示します。



「**Select VTVs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**VTV Volser**」フィールドに一覧表示されます。

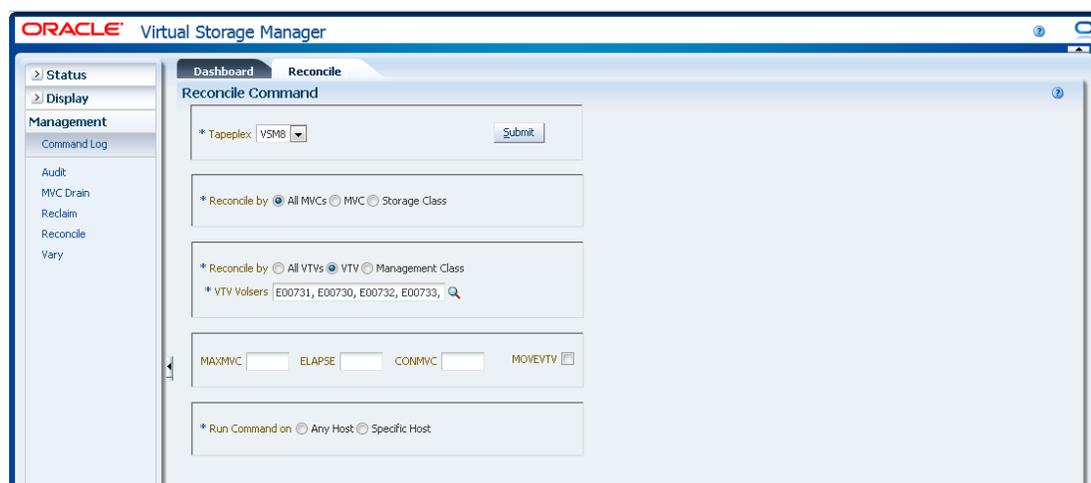


再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して、volser の範囲を定義して強調表示します。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTV が「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。



### オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

### 要求を送信します。

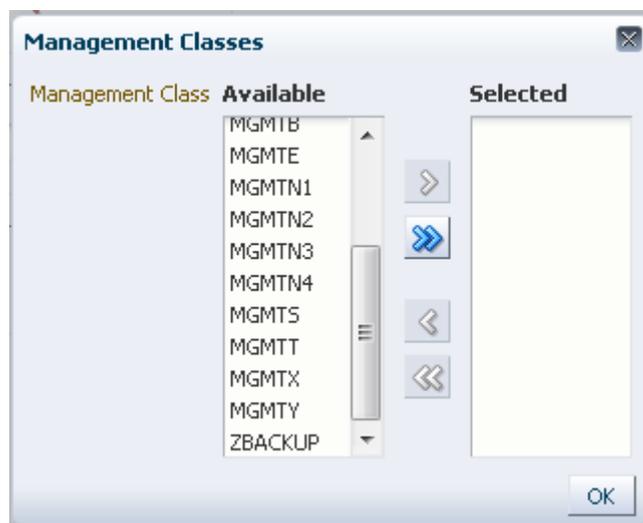
「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

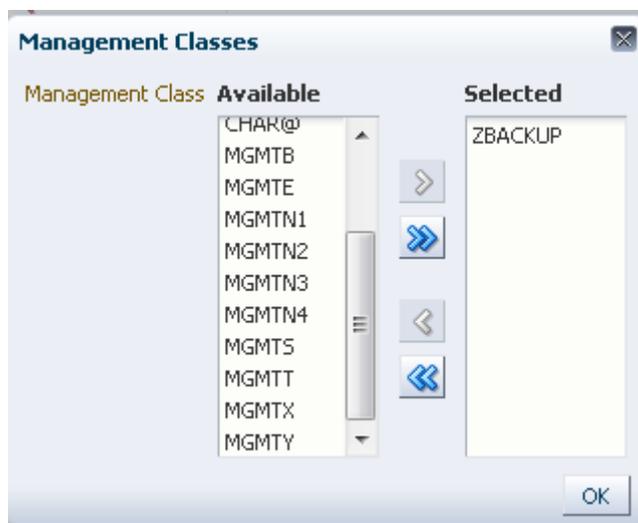
操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## すべての MVC 内の管理クラスによって調整する

「**Reconcile by Management Class**」も選択した場合、すべての MVC 内の選択した管理クラスにあるすべての VTV が調整されます。虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で定義済みのすべての管理クラスが示されたダイアログボックスを表示します。



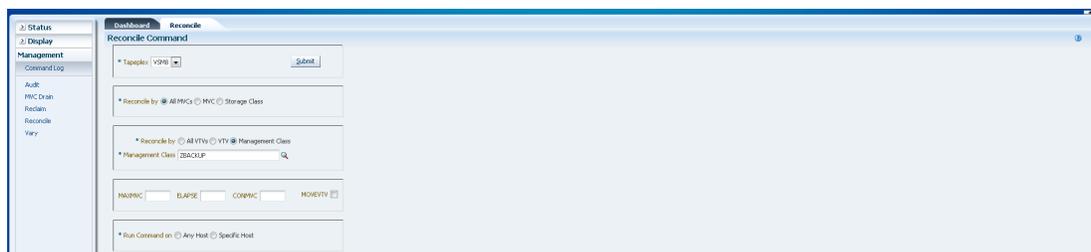
「**Available**」列で、調整するクラスをクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこのクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。



クラスの範囲を選択するには、範囲内の最初のクラスをクリックしてから、下矢印キーを使用して範囲を定義します。矢印ボタンを使用して、クラスの範囲を「Selected」列に移動します。次に、「OK」をクリックします。

すべてのクラスを「Selected」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「OK」をクリックします。

選択した管理クラスが「Reconcile Command」ペインに表示されます。



オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

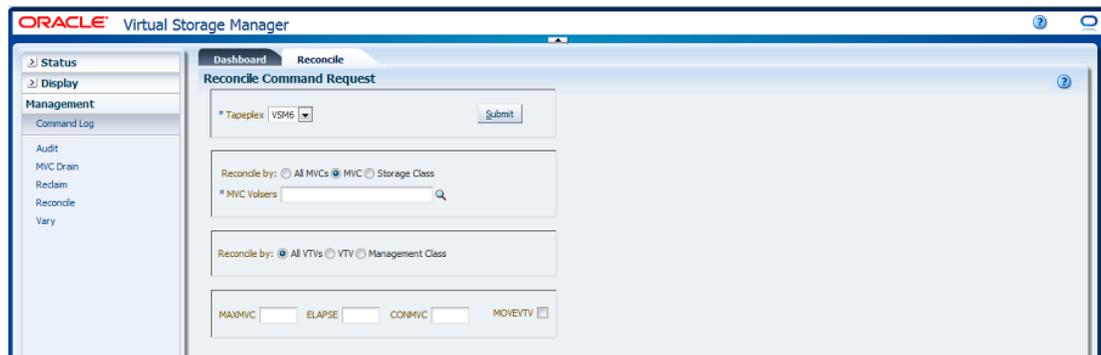
「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「SUBMIT」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「YES」をクリックして要求をホストに送信するか、「NO」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「[Command Log](#)」ペインに結果を表示できます。

## Reconcile by MVC

選択した MVC を調整の候補として指定するには、「MVC」をクリックします。

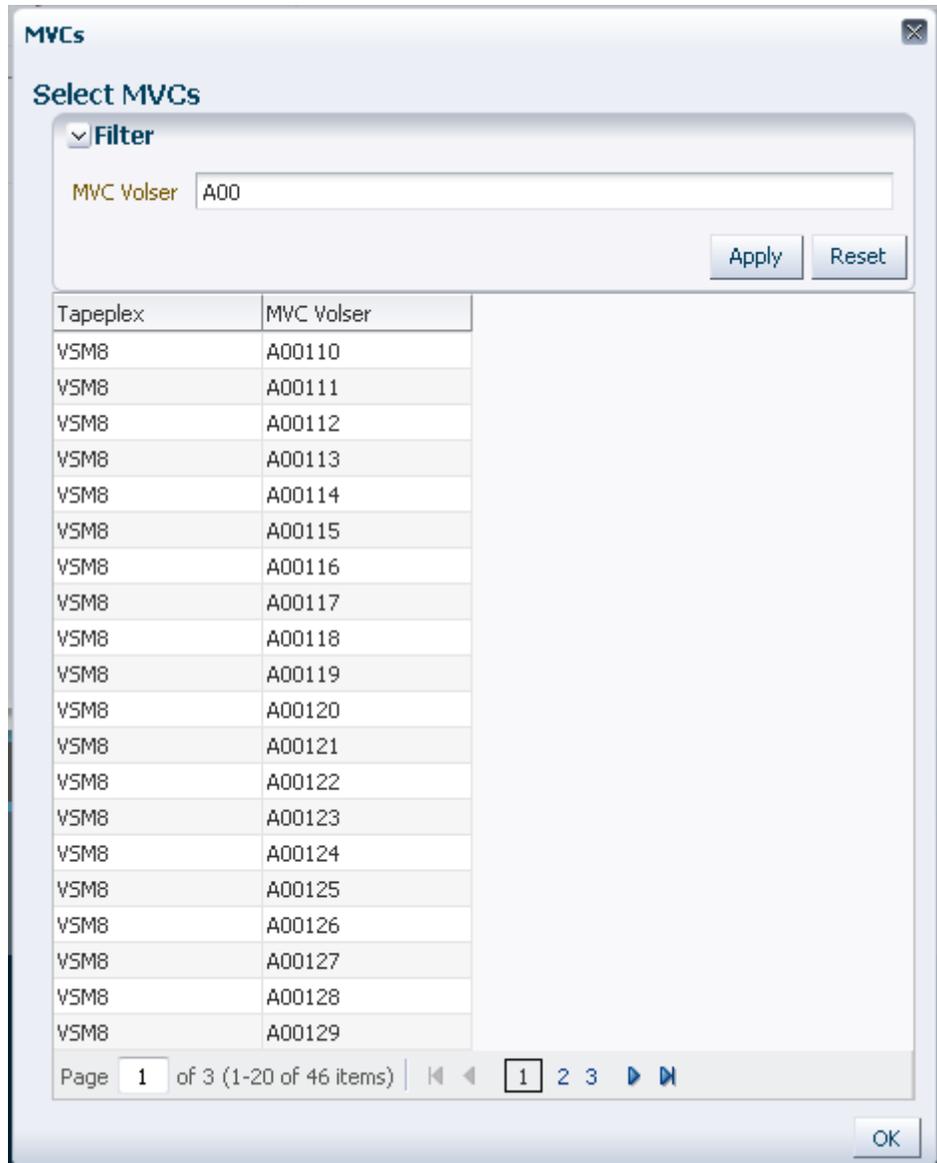


「Reconcile by MVC」を選択した場合、調整する MVC の volsers をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「Select MVCs」ダイアログボックスを表示します。



「**Select MVCs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**MVC Volser**」フィールドに一覧表示されます。

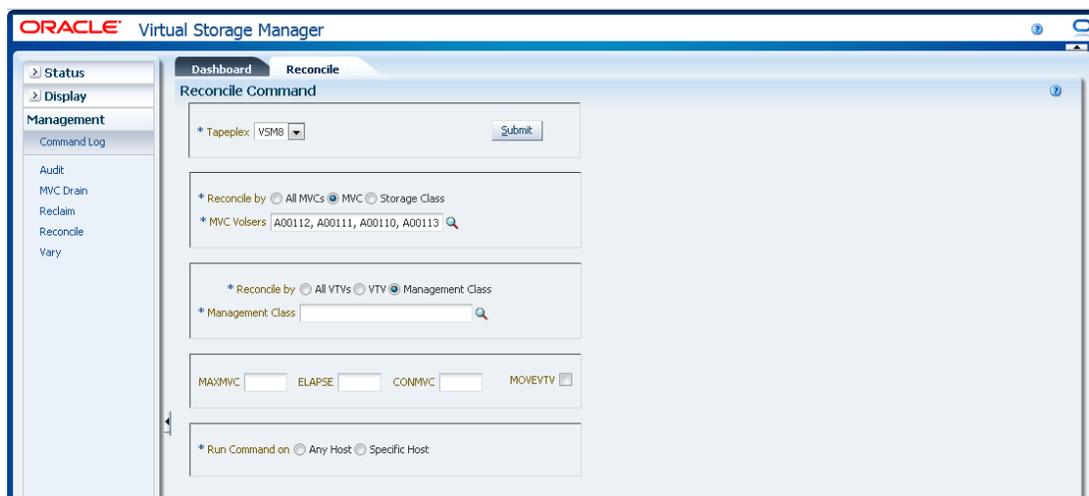


再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して、volser の範囲を定義して強調表示します。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTV が「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。



MVC をさらにフィルタ処理して、次を調整できます。

- 「選択した MVC 内のすべての VTV を調整する」
- 「選択した MVC 内の選択した VTV を調整する」
- 「選択した MVC 内の管理クラスによって調整する」

## 選択した MVC 内のすべての VTV を調整する

「**Reconcile by All VTVs**」も選択した場合、選択した MVC 内のすべての VTV が調整されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

### 要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

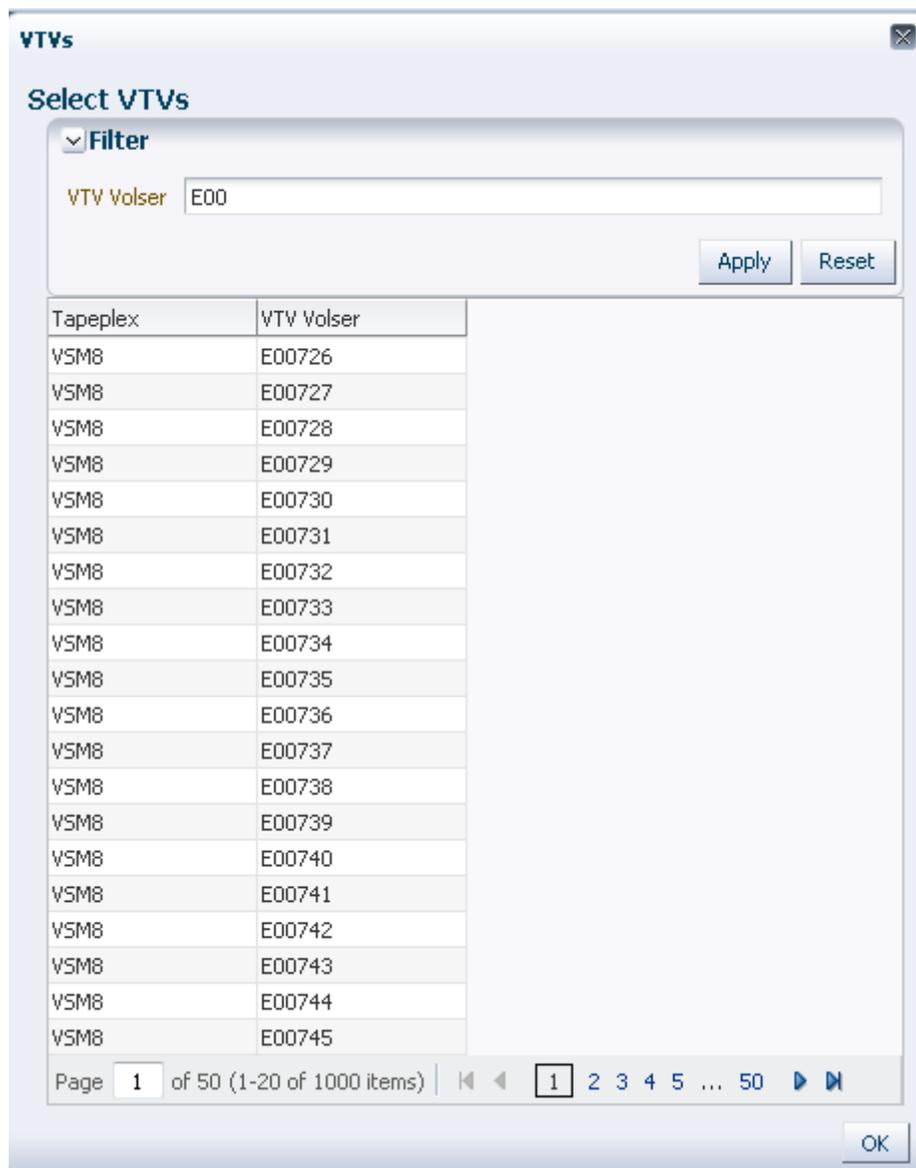
### 選択した MVC 内の選択した VTV を調整する

「**Reconcile by VTV**」も選択した場合、選択した MVC 内の選択した VTV のみが調整されます。調整する VTV の volser をコンマで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「**Select VTVs**」ダイアログボックスを表示します。



「**Select VTVs**」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「**Apply**」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「**Tapeplex**」フィールドと「**VTV Volser**」フィールドに一覧表示されます。

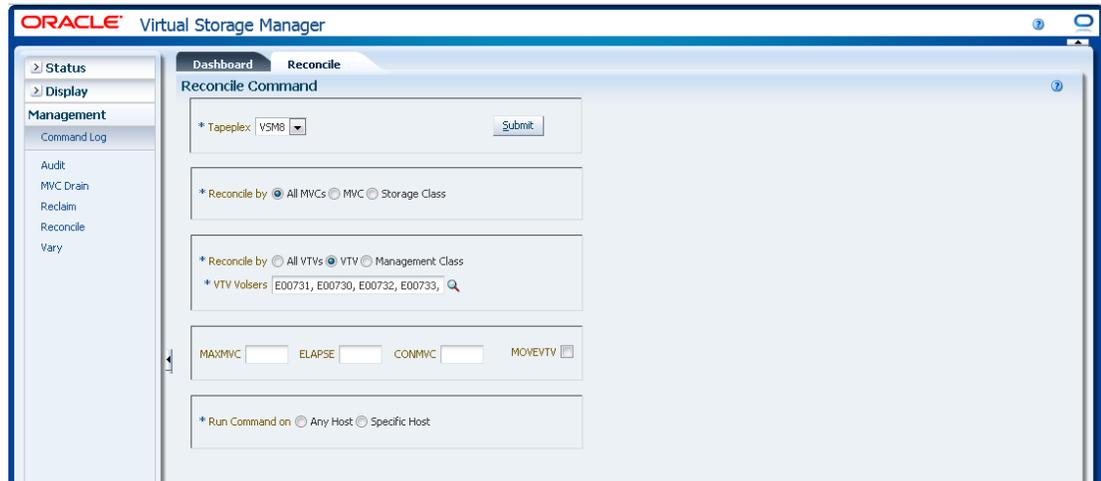


再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して、volser の範囲を定義して強調表示します。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTV が「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。



### オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

### 要求を送信します。

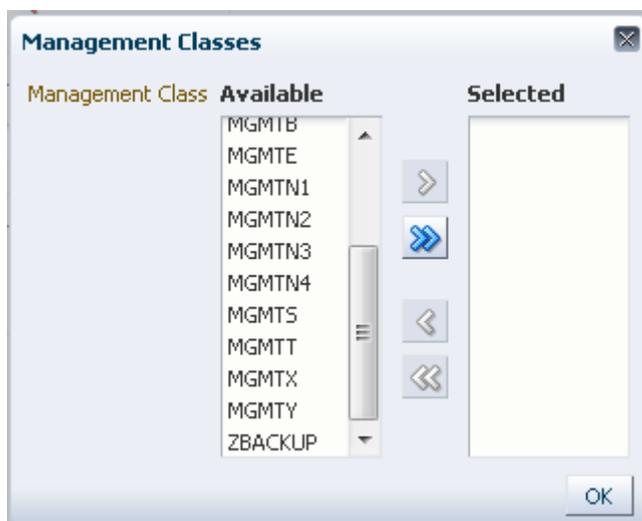
「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

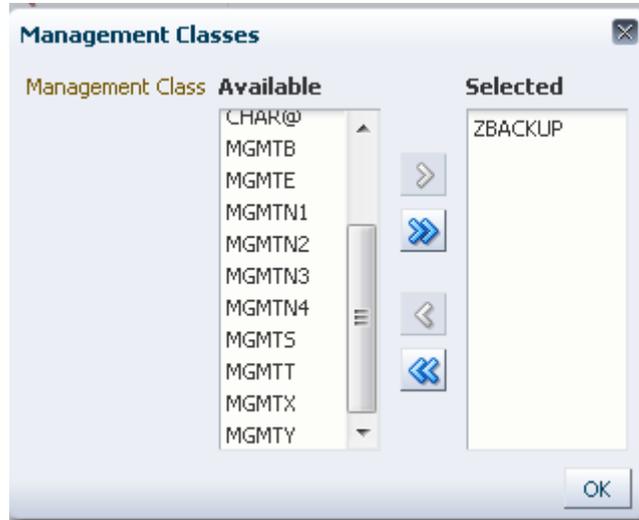
操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## 選択した MVC 内の管理クラスによって調整する

「**Reconcile by Management Class**」も選択した場合、選択した MVC 内の選択した管理クラスにあるすべての VTV が調整されます。虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で定義済みのすべての管理クラスが示されたダイアログボックスを表示します。



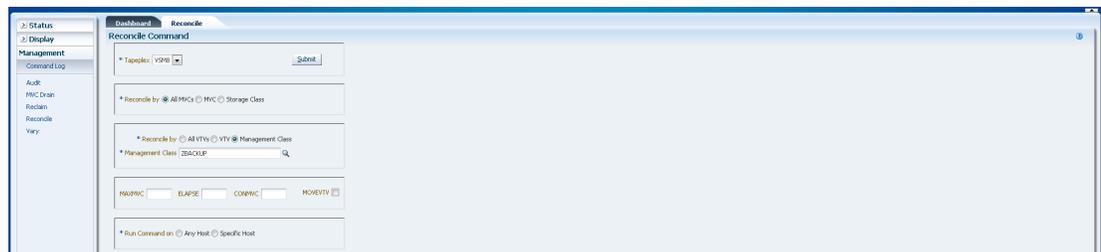
「**Available**」列で、調整するクラスをクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこのクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。



クラスの範囲を選択するには、範囲内の最初のクラスをクリックしてから、下矢印キーを使用して範囲を定義します。矢印ボタンを使用して、クラスの範囲を「Selected」列に移動します。次に、「OK」をクリックします。

すべてのクラスを「Selected」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「OK」をクリックします。

選択した管理クラスが「Reconcile Command」ペインに表示されます。



オプションパラメータを選択します。

- MAXMVC:** 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- ELAPSE:** 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

### 要求を送信します。

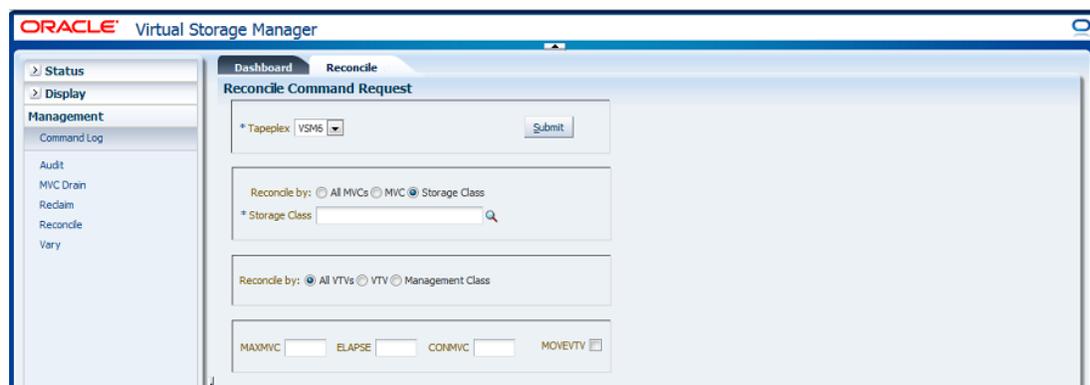
「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Reconcile by Storage Class

選択したストレージクラス内の MVC を調整の候補として指定するには、「**Storage Class**」をクリックします。



「**Reconcile by Storage Class**」を選択した場合、虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内のすべてのストレージクラスが示されたダイアログボックスを表示します。



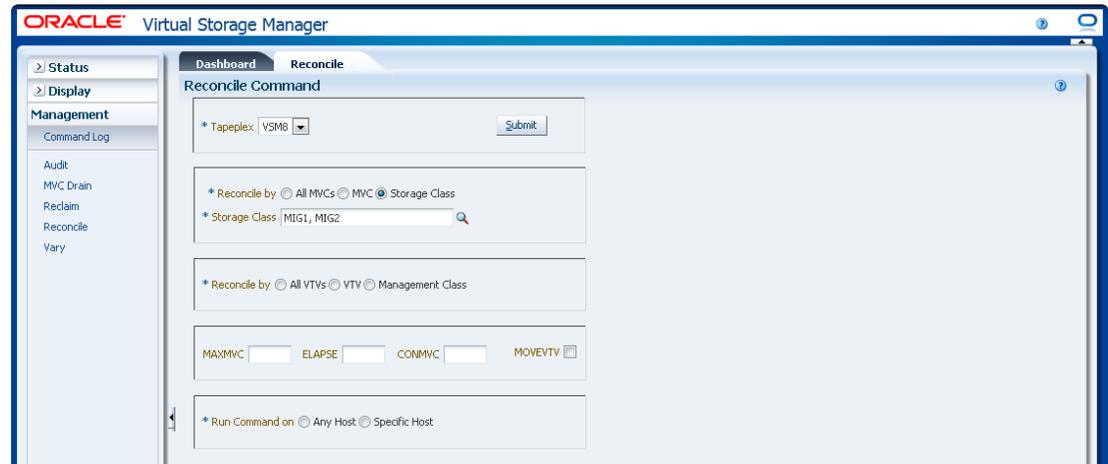
「**Available**」列で、ストレージクラスをクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこのストレージクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。



ストレージクラスの範囲を選択するには、範囲内の最初のストレージクラスをクリックしてから、下矢印キーを使用して範囲を定義します。矢印ボタンを使用して、ストレージクラスの範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべてのストレージクラスを「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択したストレージクラスが「**Reconcile Command Request**」ペインに表示されます。



MVC をさらにフィルタ処理して、次を調整できます。

- 「選択したストレージクラス内のすべての VTV を調整する」
- 「選択したストレージクラス内の選択した VTV を調整する」
- 「選択したストレージクラス内の管理クラスによって調整する」

## 選択したストレージクラス内のすべての VTV を調整する

「**Reconcile by All VTVs**」も選択した場合、選択したストレージクラス内のすべての VTV が調整されます。

オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

要求を送信します。

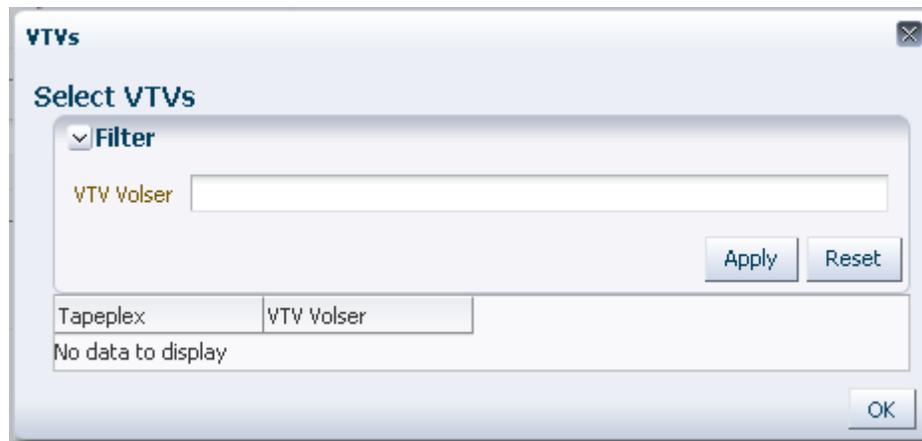
「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「SUBMIT」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「YES」をクリックして要求をホストに送信するか、「NO」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「Command Log」ペインに結果を表示できます。

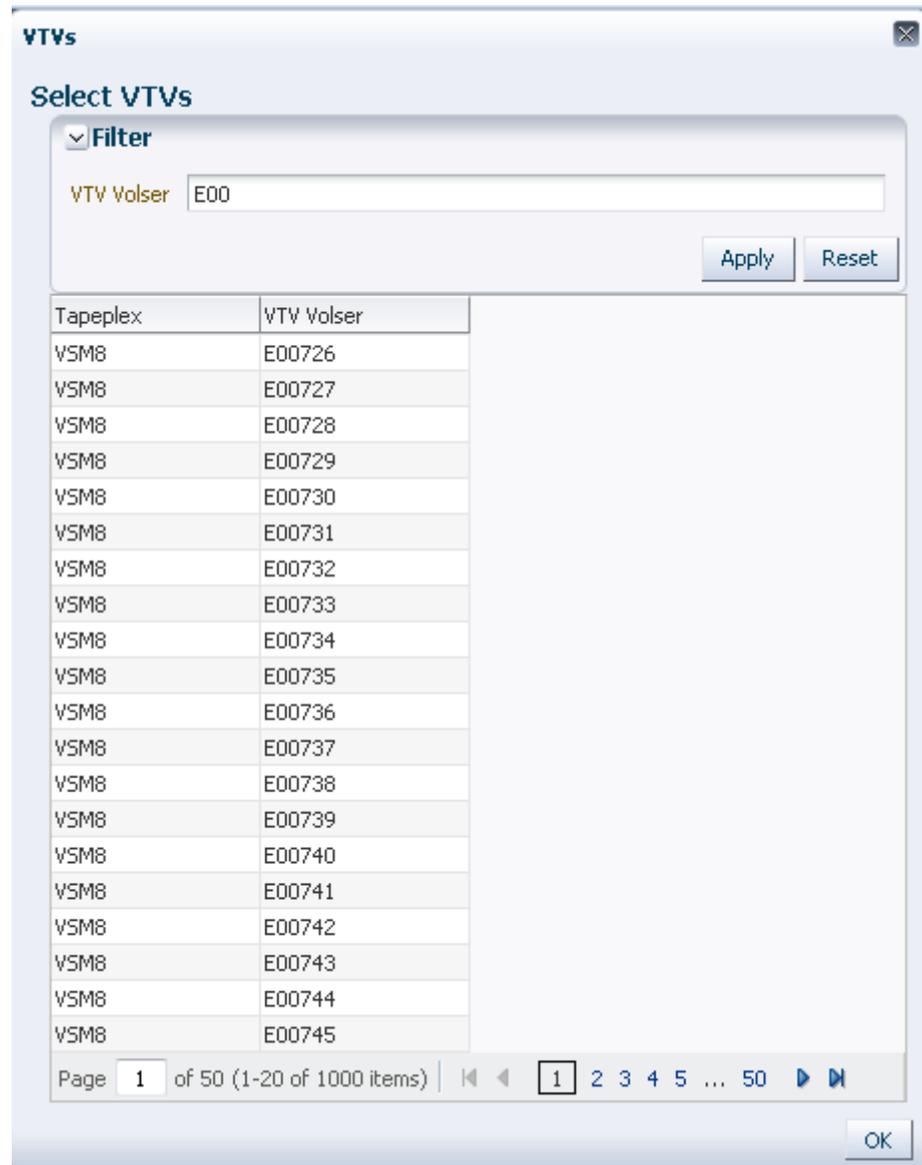
## 選択したストレージクラス内の選択した VTV を調整する

「Reconcile by VTV」も選択した場合、選択したストレージクラス内の選択した VTV のみが調整されます。調整する VTV の volser をコマンドで区切って入力するか、虫めがねをクリックして「Select VTVs」ダイアログボックスを表示します。



「Select VTVs」ダイアログボックスで、検索文字列を入力して、「Apply」をクリックします。検索演算子を使用すると、検索文字列を含む volser が検索されます。

検索結果が「Tapeplex」フィールドと「VTV Volser」フィールドに一覧表示されます。



再度検索するには、「**Reset**」をクリックして検索フィールドを空白にして、最初からやり直します。

volser を選択するには、volser をクリックしてから「**OK**」をクリックします。

volser の範囲を選択するには、範囲内の最初の volser をクリックしてから、**SHIFT** と下矢印キーを同時に押して、volser の範囲を定義して強調表示します。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した VTV が「**Reconcile Command**」ペインに表示されます。



### オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **CONMVC**: 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV**: VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

### 要求を送信します。

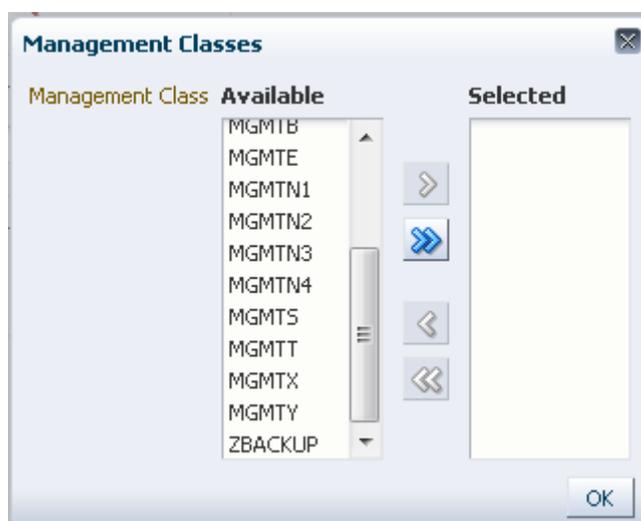
「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

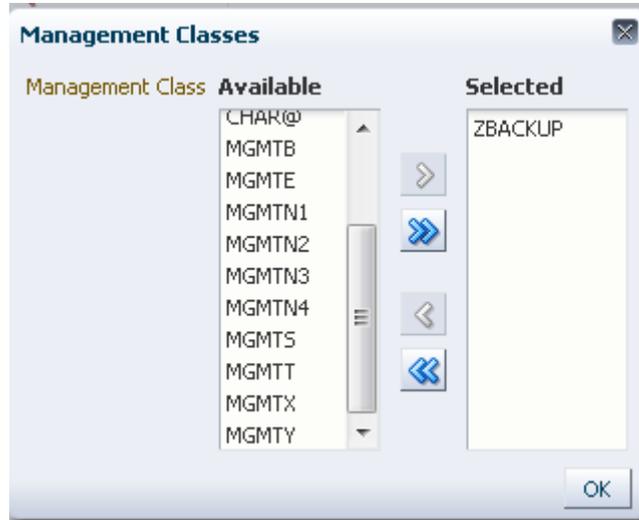
操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## 選択したストレージクラス内の管理クラスによって調整する

「**Reconcile by Management Class**」も選択した場合、選択したストレージクラス内の選択した管理クラスにあるすべての VTV が調整されます。虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で定義済みのすべての管理クラスが示されたダイアログボックスを表示します。



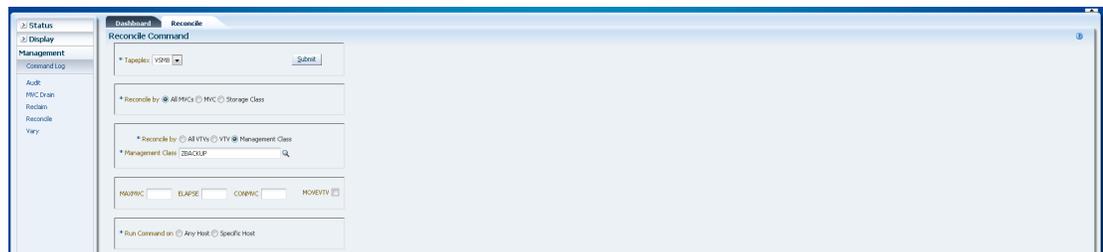
「**Available**」列で、調整するクラスをクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこのクラスを「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。



クラスの範囲を選択するには、範囲内の最初のクラスをクリックしてから、下矢印キーを使用して範囲を定義します。矢印ボタンを使用して、クラスの範囲を「Selected」列に移動します。次に、「OK」をクリックします。

すべてのクラスを「Selected」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「OK」をクリックします。

選択した管理クラスが「Reconcile Command」ペインに表示されます。



オプションパラメータを選択します。

- **MAXMVC**: 単一の調整タスクによって処理される MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 98 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **ELAPSE**: 調整の最大時間 (分) を指定します。有効な値は 1 - 1440 です。指定しない場合、調整プロセスの時間制限はありません。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。

- **CONMVC:** 後続のリコールおよび移行操作中に VTCS が同時に処理する MVC の最大数を指定します。有効な値は 1 - 99 です。指定しない場合、CONFIG RECLAIM 値 (またはデフォルト) が使用されます。MOVEVTV が指定されていない場合、このパラメータは無視されます。
- **MOVEVTV:** VTV に適用する MGMTclas ステートメントで指定された現在アクティブな管理ポリシーごとに VTV を移動します。MOVEVTV を指定しないと、レポートのみが生成され、VTV は移動されません。

### 要求を送信します。

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

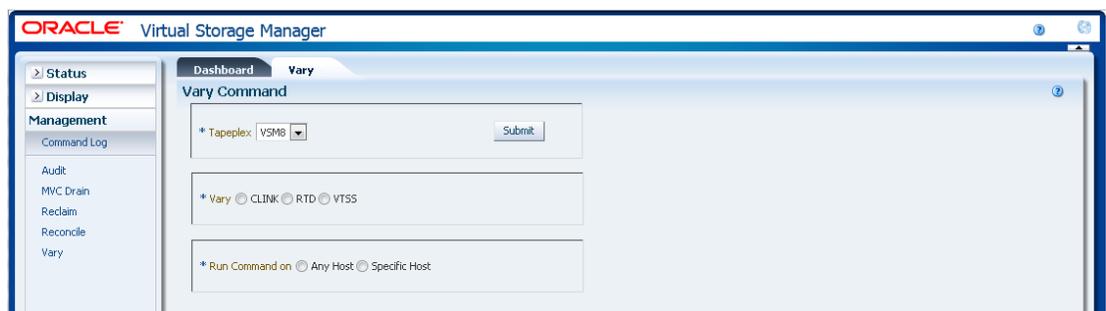
「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Vary

**Vary** コマンド要求は、VARY コマンドを実行するために ELS に対して直接要求を発行します。

このペインを表示するには、ナビゲーションツリーで「**Management**」と「**Vary**」を選択します。

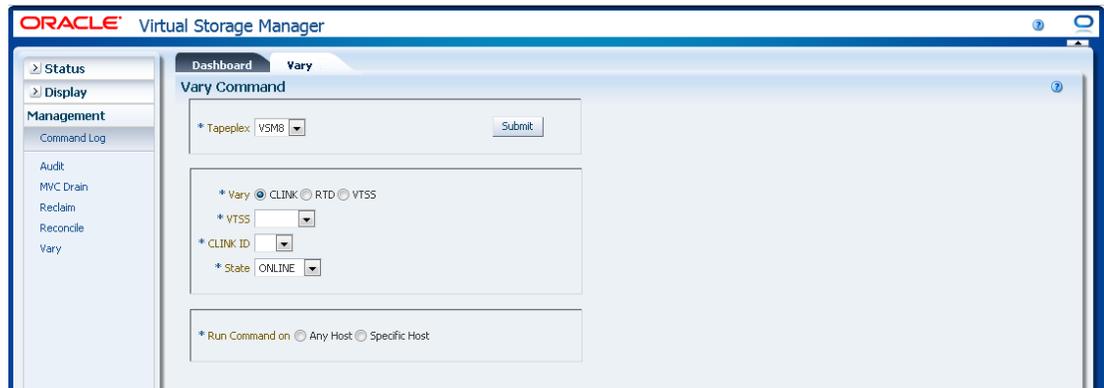


変更するデバイスがある TapePlex をドロップダウンリストで選択します。

次のいずれかを選択します。

- 「Vary by CLINK」
- 「Vary by RTD」
- 「Vary by VTSS」

## Vary by CLINK



「Vary by Clink」を選択した場合、VTSS と CLINK ID を選択します。

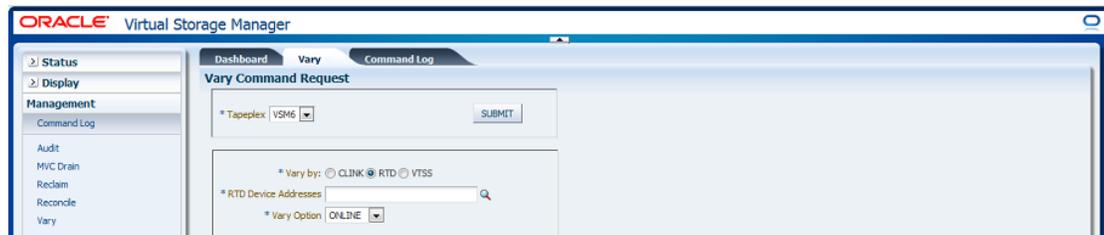
選択を「ONLINE」または「OFFLINE」に変更するかどうかを選択します。

「Run Command on」フィールドで、「Any Host」または「Specific Host」を選択します。「Specific Host」を選択した場合、「Server Address」フィールドでホストを示します。

「SUBMIT」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「YES」をクリックして要求をホストに送信するか、「NO」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「Command Log」ペインに結果を表示できます。

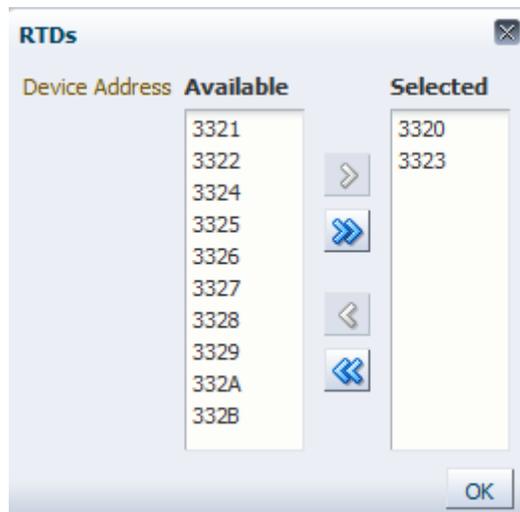
## Vary by RTD



「Vary by RTD」を選択した場合、虫めがねをクリックして、指定した TapePlex 内で定義されたすべての RTD が示されたダイアログボックスを表示します。



「**Available**」列で、変更する RTD をクリックしてから、矢印ボタンをクリックしてこの RTD を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。



RTD の範囲を選択するには、範囲内の最初の RTD をクリックしてから、下矢印キーを使用して範囲を定義します。矢印ボタンを使用して、範囲を「**Selected**」列に移動します。次に、「**OK**」をクリックします。

すべての RTD を「**Selected**」列に移動するには、二重矢印ボタンをクリックします。次に、「**OK**」をクリックします。

選択した RTD が「**Vary Command Request**」ペインに表示されます。

選択を「**ONLINE**」、「**OFFLINE**」、または「**MAINT**」に変更するかどうかを選択します。

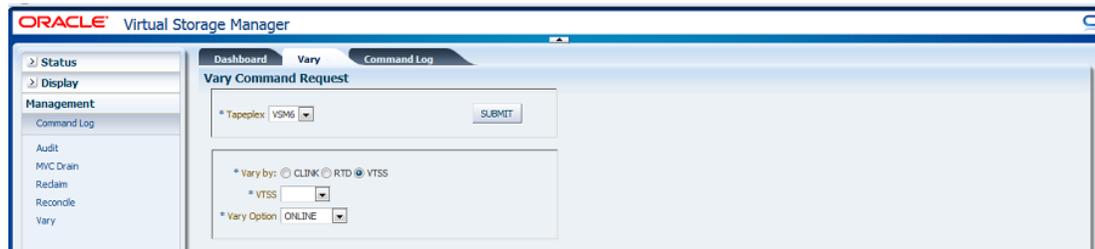
**要求を送信します。**

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

## Vary by VTSS



「**Vary by VTSS**」を選択した場合、変更する VTSS を選択します。

選択を「**ONLINE**」、「**OFFLINE**」、または「**QUIESCED**」に変更するかどうかを選択します。

**要求を送信します。**

「**Run Command on**」フィールドで、「**Any Host**」または「**Specific Host**」を選択します。「**Specific Host**」を選択した場合、「**Server Address**」フィールドでホストを示します。

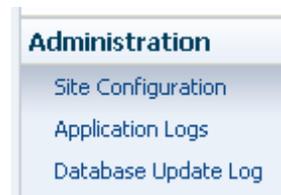
「**SUBMIT**」をクリックして続行します。確認ダイアログボックスが表示されます。「**YES**」をクリックして要求をホストに送信するか、「**NO**」をクリックして前のペインに戻ります。

操作が完了したら、「**Command Log**」ペインに結果を表示できます。

---

---

## 第7章 「Administration」メニュー



このメニューは次へのアクセスを提供します。

- [「Site Configuration」](#)
- [「アプリケーションログ」](#)
- [「データベース更新ログ」](#)

### Site Configuration

---

#### 注記:

サイト構成の値を追加または変更する前に、Ingest を無効化する必要があります。

---

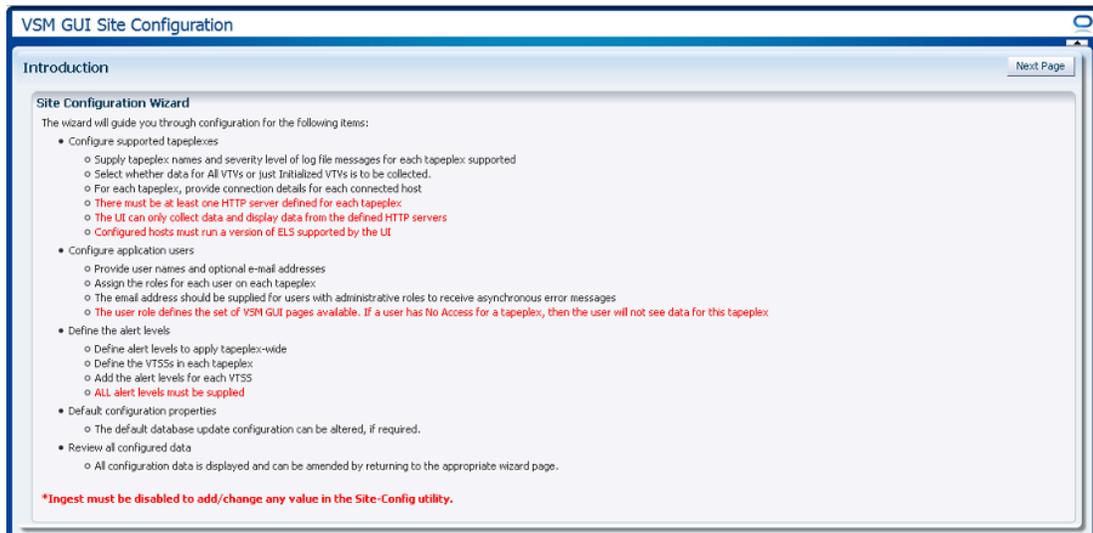
サイト構成では、VSM GUI によって必要なサイト固有の情報を定義および管理します。サイト構成は、初期インストールプロセスの一部として実行されますが、任意の構成の詳細を変更するためにインストール後のいつでも実行できます。

サイト構成は、複数ページのウィザードである Site Configuration Wizard を使用して実行されます。このウィザードでは、構成プロセスの手順を示します。

開始する前に、仮想マシン上の Ingest サービスを無効にします。

ナビゲーションツリーの「**Administration**」および「**Site Configuration**」を選択します。

「**Introduction**」ページが表示されます。



「Introduction」ページは、サイト構成タスクの要約を示します。

### 「Configure Supported Tapeplexes」

- TapePlex 名、およびサポートされている TapePlex ごとのログファイルメッセージの重要度レベルを指定します
- すべての VTV と初期化された VTV だけのどちらのデータを収集するのを選択します
- 各 TapePlex に対して、接続されたホストごとの接続の詳細を提供します
- 各 TapePlex 用に定義されている少なくとも 1 つの HTTP サーバーが存在する必要があります
- UI では、定義されている HTTP サーバーからのデータを収集し、データを表示することのみできます
- 構成されているホストは、UI によってサポートされている ELS のバージョンを実行する必要があります

### 「アプリケーションユーザーの構成」

- ユーザー名とオプションの電子メールアドレスを入力します
- 各 TapePlex 上の各ユーザーにロールを割り当てます
- 電子メールアドレスはオプションです

- ユーザーロールは使用可能な VSM GUI ページのセットを定義します。ユーザーが TapePlex にアクセスできない場合は、そのユーザーはその TapePlex のデータを参照できません。

#### 「Configure Alert Levels」

- TapePlex 全体に適用されるアラートレベルを定義します
- 各 TapePlex 内に VTSS を定義します
- 各 VTSS のアラートレベルを追加します
- すべてのアラートレベルを指定する必要があります
- デフォルトのデータベース更新構成を必要に応じて変更できます

#### 「デフォルト構成プロパティの編集」

- サイトのホストサイクル時間およびバッチレコードサイズを微調整するために、いくつかのサイト構成プロパティが編集可能です。

#### 「サイト構成のサマリーの確認」

- すべての構成データが表示され、適切なページに戻ることによって変更できます。

「Next Page」をクリックして「**Configure Supported Tapeplexes**」ページを表示し、サイト構成プロセスを開始します。

## Configure Supported Tapeplexes

The screenshot shows the 'Configure Supported Tapeplexes' page in the VSM GUI. It features two main sections: 'Create/Edit Tapeplex' and 'Create/Edit Host Data for Tapeplex VSM8'. The 'Create/Edit Tapeplex' section has a table with columns for Tapeplex, Logging Level, and Initialized VTs. The 'Create/Edit Host Data for Tapeplex VSM8' section has a table with columns for Tapeplex, Server Address, Server Port, SMC Subsystem, ELS Subsystem, and ELS Version.

* Tapeplex	* Logging Level	* Initialized VTs
VSM8	INFO	All VTs

* Tapeplex	* Server Address	Server Port	SMC Subsystem	ELS Subsystem	ELS Version
VSM8	celamvs.us.oracle...	8085	SMC8	VSM8	7.2.0

「**Configure Supported Tapeplexes**」には2つの要素があります。

- 「**Create/Edit Tapeplex**」では、サポートされている TapePlex に関するサイト構成情報を定義および管理します

- 「[Create/Edit Host Data for Tapeplex](#)」では、TapePlexに関連付けられたホストシステムに関するサイト構成情報を定義および管理します

## Create/Edit Tapeplex

「[Create/Edit Tapeplex](#)」では、サポートされている TapePlex に関するサイト構成情報を特定および管理します。



データ列および説明は次のとおりです。

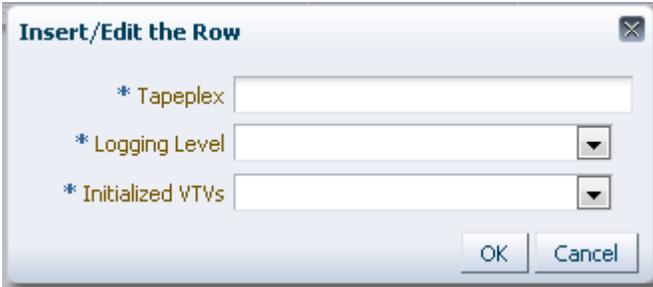
列	説明
Tapeplex	サポートされている TapePlex の名前
Logging Level	データベースのリフレッシュコードによってロギングエントリが作成されるレベルを定義します。指定されたレベルでロギングを有効にすると、それより高いすべてのレベルでのロギングも有効になります。  ロギングレベルは次のとおりです (最低から最高への昇順)。  ALL: すべてのメッセージがログに記録されます  FINEST: 非常に詳細なトレースメッセージがログに記録されます  FINER: 詳細なトレースメッセージがログに記録されます  FINE: 基本的なトレースメッセージがログに記録されます  CONFIG: 静的な構成メッセージがログに記録されます  INFO: 情報メッセージがログに記録されます  WARNING: 潜在的な問題を示す警告メッセージがログに記録されます  SEVERE: 深刻な障害を示す重大なメッセージがログに記録されます  OFF: メッセージはログに記録されません
Initialized VTVs	すべての VTV と初期化された VTV だけのどちらのデータを収集するかを決定します

アイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	新規 TapePlex を構成に追加します
	Edit	構成内の選択された TapePlex および関連するホストエントリを編集します
	Delete	構成から選択された TapePlex および関連するホストエントリを削除します

## 新規 TapePlex の追加

「Add」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



TapePlex の名前を入力します。

この TapePlex の「Logging Level」および「Initialized VTVs」設定を選択します。

「OK」をクリックしてデータを入力するか、または「Cancel」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「OK」をクリックすると、構成に記録されます。

別の TapePlex を追加するには、これらの手順を繰り返します。

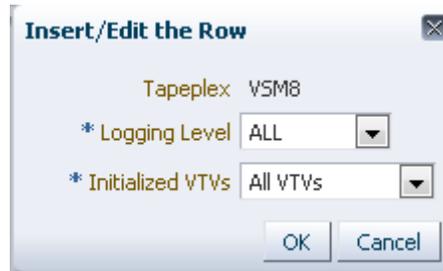
TapePlex の追加が終了したら、[「Create/Edit Host Data for Tapeplex」](#)に進み、TapePlex に関連付けられたホストシステムの情報を定義および管理します。

「Configure Supported Tapeplexes」を完了したら、「Next」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「Previous Page」をクリックして 1 ページ戻ります。

## Tapeplex の編集

編集する TapePlex を選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。変更は「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## Tapeplex の削除

削除する TapePlex を選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



「**OK**」をクリックして TapePlex および TapePlex に関連付けられたすべてのデータを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。「**OK**」をクリックすると TapePlex が削除されます。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## Create/Edit Host Data for Tapeplex

「Create/Edit Host Data for Tapeplex」は、選択された TapePlex に関連付けられたホストシステムに関するサイト構成情報を定義および管理します。

Create/Edit Host Data for Tapeplex VSM8					
					
* Tapeplex	* Server Address	Server Port	SMC Subsystem	ELS Subsystem	ELS Version
VSM8	name.us.name.com	8085	SMC8	VSM8	7.2.0

データ列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	ホストが関連付けられている TapePlex の名前
Server Address	ホストの IP アドレスまたはホストの完全修飾ドメイン名
Server Port	ホスト上で実行することが期待される SMC HTTP サーバーのポート番号。これが実行されていない場合、データベースのリフレッシュプロセスはこのホストからデータを収集しません。
SMC Subsystem	ホスト上の SMC サブシステム名
ELS Subsystem	ホスト上の ELS サブシステム名
ELS Version	ホスト上の ELS バージョンは ELS 7.1 以上である必要があります。サポートされていない ELS バージョンのホストからはデータが収集されません。

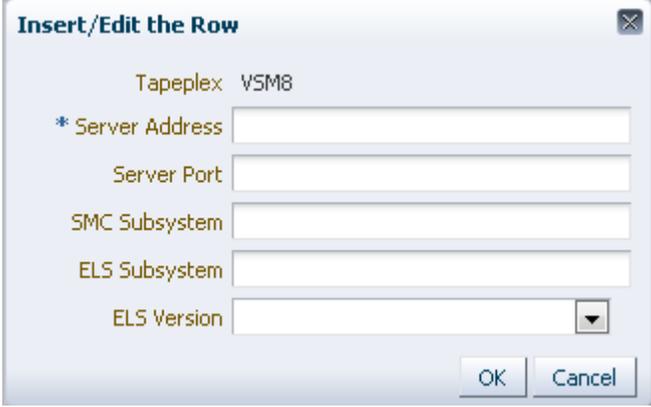
アイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	選択された TapePlex に新規のホストエントリを追加します
	Edit	選択されたホストエントリを編集します
	Delete	選択されたホストエントリを削除します

### 新規ホストの追加

「Create/Edit Tapeplex」テーブル内でホストに関連付けられている TapePlex を選択します。

「Create/Edit Host Data for Tapeplex」テーブルの「Add」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



Insert/Edit the Row

Tapeplex: VSM8

\* Server Address

Server Port

SMC Subsystem

ELS Subsystem

ELS Version

OK Cancel

ホストの HTTP サーバーアドレス、およびオプションでホストの HTTP サーバーポート、SMC サブシステム、ELS サブシステム、および ELS バージョンを入力します。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に記録されます。

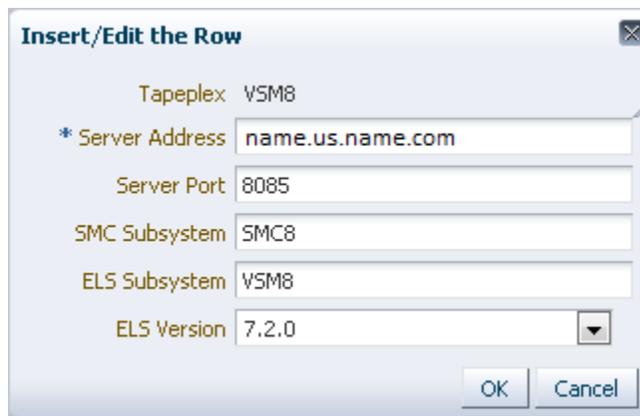
TapePlex に追加のホストを追加したり別の TapePlex にホストを追加したりするには、これらの手順を繰り返します。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして 1 ページ戻ります。

## ホストの編集

編集するホストを選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



Insert/Edit the Row

Tapeplex VSM8

\* Server Address name.us.name.com

Server Port 8085

SMC Subsystem SMC8

ELS Subsystem VSM8

ELS Version 7.2.0

OK Cancel

編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。変更は「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります

## ホストの削除

削除するホストを選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



Delete Selected Host for Tapeplex name.us.name.com

Delete selected host entry name.us.name.com

Confirm or cancel the request

OK Cancel

「**OK**」をクリックしてホストを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。「**OK**」をクリックするとホストが削除されます。

「**Configure Supported Tapeplexes**」を完了したら、「**Next**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## アプリケーションユーザーの構成

「**User Information**」では、VSM GUI にアクセスするユーザーに関する情報を特定および管理します。各ユーザーはサイトの LDAP directory.内にある必要があり、少なくとも 1 つの TapePlex で少なくとも 1 つのユーザーロールが割り当てられている必要があります。

「**User Information**」には 2 つの要素があります。

- 「[Create/Edit User Information](#)」では、VSM GUI ログインが承認されるユーザーを特定します
- 「[Create/Edit User Roles for User](#)」では、ユーザーロール、および特定ユーザーの TapePlex アクセスを定義および管理します



### Create/Edit User Information

「**Create /Edit User Information**」では、VSM GUI ログインが承認されるユーザーを特定します。

* Username		Email Address
aclarked		
hgwellsgw		
skinggw		

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Username	アプリケーションの実行を許可されるユーザーの名前。ユーザー名は、サイトの LDAP ディレクトリサービスで定義されたユーザーの名前である必要があります
Email Address	ユーザーの電子メールアドレス (オプション)。電子メールアドレスは <b>VsmGuiAdm</b> ロールを持つユーザーに情報メッセージを送信するために使用されます。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	構成内のユーザー承認情報を追加または変更します
	Edit	構成内の選択されたユーザーおよびそのユーザーに割り当てられているすべてのロールを編集します
	Delete	構成内の選択されたユーザーおよびそのユーザーに割り当てられているすべてのロールを削除します

## ユーザーの作成

「**Add**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



ユーザーのユーザー名を入力します。

オプションで、ユーザーの電子メールアドレスを入力します。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エンタリは「**OK**」をクリックすると、構成に記録されます。

別のユーザーを追加するには、これらの手順を繰り返します。

完了したら、「[Create/Edit User Roles for User](#)」に進み、作成するユーザーのユーザーロールおよび TapePlex アクセスを定義および管理します。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## ユーザーの編集

編集するユーザー名を選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。変更は「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## ユーザーの削除

削除するユーザー名を選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



「**OK**」をクリックしてユーザーを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。「**OK**」をクリックするとユーザーが削除されます。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## Create/Edit User Roles for User

「**Create/Edit User Roles for User**」では、ユーザーロール、および特定ユーザーの TapePlex アクセスを定義および管理します。各ユーザーは、少なくとも1つの TapePlex で少なくとも1つのユーザーロールが割り当てられている必要があります。



テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
User Name	ユーザーロールを作成または編集するユーザーの名前
Tapeplex	「User Role」フィールドが適用される TapePlex の名前
User Role	この TapePlex に対するユーザーのアクセスロール。  3つのユーザーロールがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>VsmViewer</b>: 「Status」および「Display」タブにのみアクセスでき、コンテキストメニュー、または指定された TapePlex の「Management」および「Administration」タブにはアクセスできません</li> <li>• <b>VsmOperator</b>: 指定された TapePlex の「Status」、「Display」、「Management」、および「Administration」タブにアクセスできます (「Site Configuration」および「Download Logs」オプションを除く)</li> <li>• <b>VsmGuiAdmin</b>: すべての TapePlex の「Status」、「Display」、および「Administration」タブにアクセスできます (コンテキストメニューへのアクセスを除く)</li> </ul>

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	構成内の新規ユーザーロールエントリを追加します
	Edit	構成内の選択されたユーザーロールエントリを編集します
	Delete	構成から選択されたユーザーロールエントリを削除します

---

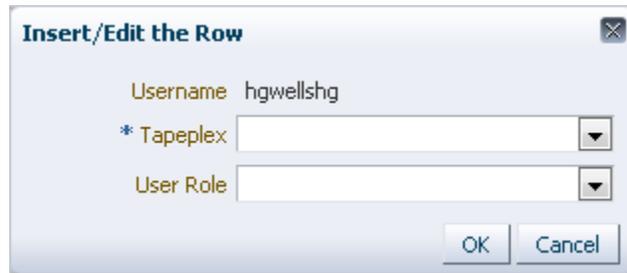
アイコン	名前	説明
------	----	----

---

## ユーザーロールエントリの作成

ロールエントリを作成するユーザー名を選択します。

「**Add**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



ユーザーロールの対象である TapePlex を選択します。

ユーザーロールを選択します。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に記録されます。

別のユーザーロールエントリを作成するには、これらの手順を繰り返します。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## ユーザーロールエントリの編集

ロールエントリを編集するユーザー名を選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。変更は「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## ユーザーロールエントリの削除

ロールエントリを削除するユーザー名を選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



「**OK**」をクリックして選択されたユーザーロールエントリを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。「**OK**」をクリックするとユーザーロールエントリが削除されます。

「**User Information**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## Configure Alert Levels

 The screenshot shows the "VSM GUI Site Configuration" window with the "Configure Alert Levels" page. The page has "Previous Page" and "Next Page" buttons in the top right. Below the title, it says "Fields marked \*\*\* are required". There are two main sections:
 

- Create/Edit Tapeplex Alert Levels:** A table with two columns: "\* Tapeplex" and "\* VTSS Critical Level". The row shows "VSM8" and "1".
- Create/Edit Alert Levels for VTSS VSM8:** A table with 11 columns: "\* Tapeplex", "\* VTSS", "\* Critical OBU Level (%)", "\* RTD Warning Level", "\* RTD Critical Level", "\* VRTD Warning Level", "\* VRTD Critical Level", "\* FICON CLINK Warning Level", "\* FICON CLINK Critical Level", "\* IP CLINK Warning Level", and "\* IP Lev". The rows show data for VTSS16, VTSS17, VTSS18, and VTSS32.

「**Configure Alert Levels**」には2つの要素があります。

- 「[Create/Edit Tapeplex Alert Levels](#)」では、TapePlex内でクリティカルアラートが発生するオフラインVTSSの数についてクリティカルアラートレベルしきい値を定義します
- 「[Create/Edit Alert Levels for VTSS](#)」では、TapePlex内のVTSSについてアラートレベルしきい値を定義および管理します

「**Configure Alert Levels**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## Create/Edit Tapeplex Alert Levels

「**Create/Edit Tapeplex Alert Levels**」では、TapePlex内でクリティカルアラートが発生するオフラインVTSSの数についてクリティカルアラートレベルを定義します。



データ列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	アラート値を定義または編集する TapePlex の名前
VTSS Critical Level	クリティカルアラートが発生する TapePlex 内のオフライン VTSS の数

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	構成内の新規 TapePlex アラートを追加します
	Edit	構成内の TapePlex の選択されたアラートおよび関連する VTSS アラートを編集します
	Delete	構成内の TapePlex の選択されたアラートおよび関連する VTSS アラートを削除します

## TapePlex の新規 VTSS Critical Level アラートの追加

「Add New Alert」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

VTSS Critical Level アラートが関連付けられている TapePlex を選択します。

選択された TapePlex の「VTSS Critical Level」を入力します。

「OK」をクリックしてデータを入力するか、または「Cancel」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「OK」をクリックすると、構成に入力されます。

## TapePlex の VTSS Critical Level アラートの編集

「VTSS Critical Level」アラートを編集する TapePlex を選択します。

「Edit Alert」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

「VTSS Critical Level」アラートの設定を変更します。

「OK」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「Cancel」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「OK」をクリックすると、構成に入力されます。

## TapePlex のアラートの取り消し

「Critical Alert Level」アラームが削除される TapePlex を選択します。

「Delete」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



「OK」をクリックしてアラートを削除するか、または「Cancel」をクリックしてダイアログを終了します。エントリーは「OK」をクリックすると、構成に入力されます。

## Create/Edit Alert Levels for VTSS

「Create/Edit Alert Levels for VTSS」では、TapePlex 内の VTSS についてアラートレベルしきい値を定義および管理します。

* Tapeplex	* VTSS	* Critical DBU Level (%)	* RTD Warning Level	* RTD Critical Level	* VRTD Warning Level	* VRTD Critical Level	* FICON CLINK Warning Level	* FICON CLINK Critical Level	* IP CLINK War Level
VSM8	VTSS16	98	2	3	2	3	1	2	1
VSM8	VTSS17	98	2	3	2	3	1	2	1
VSM8	VTSS18	98	2	3	2	3	1	2	1
VSM8	VTSS32	85	2	3	2	3	1	2	1

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	アラートを追加または編集する TapePlex の名前
VTSS	アラートを追加または編集する TapePlex 内の VTSS の名前
Critical DBU Level (%)	指定された VTSS についてクリティカルアラートが発生するディスクバッファの使用状況 (パーセンテージ)
RTD Warning Level	警告アラートが発生する VTSS に接続されているオフライン RTD の数
RTD Critical Level	クリティカルアラートが発生する VTSS に接続されているオフライン RTD の数
VRTD Warning Level	警告アラートが発生する VTSS に接続されているオフライン vRTD の数
VRTD Critical Level	クリティカルアラートが発生する VTSS に接続されているオフライン vRTD の数
FICON CLINK Warning Level	警告アラートが発生するオフライン FICON CLINK の数

列	説明
FICON CLINK Critical Level	クリティカルアラートが発生するオフライン FICON CLINK の数
IP CLINK Warning Level	警告アラートが発生するオフライン IP CLINK の数
IP CLINK Critical Level	クリティカルアラートが発生するオフライン IP CLINK の数
Queued Migrates Warning Level	警告アラートが発生する待機中移行の数
Queued Migrates Critical Level	クリティカルアラートが発生する待機中移行の数
Queued Replications Warning Level	警告アラートが発生する待機中レプリケーションの数
Queued Replications Critical Level	クリティカルアラートが発生する待機中レプリケーションの数

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Add	構成内の VTSS のアラートレベルを作成します
	Edit	構成内の選択されたアラートを編集します
	Delete	構成から選択されたアラートを削除します

## TapePlex の新規 VTSS アラートの追加

VTSS アラートを追加する TapePlex を選択します。

「**Add**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



VTSS 名を入力し、各フィールドにアラートレベルを入力します。

「**OK**」をクリックしてデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます

追加の VTSS アラートレベルを追加するには、これらの手順を繰り返します。

「**Configure Alert Levels**」を完了したら、「**Next Page**」をクリックして次の構成ページを表示するか、または「**Previous Page**」をクリックして1ページ戻ります。

## VTSS アラートの編集

VTSS アラートを編集する TapePlex 内の VTSS を選択します。

「**Edit**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled "Insert/Edit the Row" for TapePlex VSM8. It contains a table of configuration parameters for VTSS18:

Tapeplex: VSM8	
* VTSS	VTSS18
* Critical DBU Level (%)	98
* RTD Warning Level	2
* RTD Critical Level	3
* VRTD Warning Level	2
* VRTD Critical Level	3
* FICON CLINK Warning Level	1
* FICON CLINK Critical Level	2
* IP CLINK Warning Level	1
* IP CLINK Critical Level	2
* Queued Migrates Warning Level	10
* Queued Migrates Critical Level	20
* Queued Replications Warning Level	10
* Queued Replications Critical Level	20

Buttons for "OK" and "Cancel" are located at the bottom right of the dialog.

編集する設定を変更します。

「**OK**」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

## VTSS アラートの取り消し

VTSS アラートが削除される TapePlex および VTSS を選択します。

「**Delete**」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled "Delete VTSS alert VTSS17" with a close button (X) in the top right corner. The text inside the dialog reads "Delete selected VTSS alert VTSS17". At the bottom, there are "OK" and "Cancel" buttons.

「**OK**」をクリックしてアラートを削除するか、または「**Cancel**」をクリックしてダイアログを終了します。エントリは「**OK**」をクリックすると、構成に入力されます。

## デフォルト構成プロパティの編集



サイトのホストサイクル時間およびバッチレコードサイズを微調整するために、いくつかのサイト構成プロパティが編集可能です。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

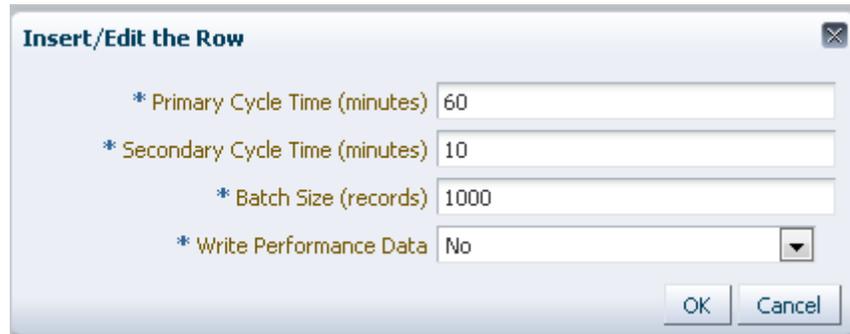
列	説明
Primary Cycle Time (minutes)	プライマリサイクル時間はデータ取り込みプロセス用です。プライマリ取り込みでは、VTCS から VTV および MVC データの更新を取得します。これにより、VTCS は CDS をスキャンし、MVS リソースを必要とします。ほかの本番アクティビティに影響を与えないようにするために、このプロセスを実行する頻度を少なくする必要があります。推奨される頻度は、デフォルトの 60 分です。
Secondary Cycle Time (minutes)	セカンダリサイクル時間はデータ取り込みプロセス用です。セカンダリ取り込みでは、プライマリ取り込みで更新されていないすべてのテーブルのデータを取得します。これは VTCS にとっては作業が少ないため、セカンダリサイクルはほかの本番アクティビティにほとんど影響を与えることなく頻繁に実行できます。推奨される値は、デフォルトの 10 分です。
Batch Size (records)	取り込みプロセス中に、1 つのアクションでデータベーステーブルに追加されるレコードの数。大きな数にするとデータロードが高速になりますが、バッチ結果になんらかのエラーがあると、残りの行は更新されません。推奨される値は、デフォルトの 1000 です。

グラフの上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Edit	構成プロパティを編集します

## 構成プロパティの編集

グラフの上の「Edit」アイコンをクリックします。ダイアログが表示されます。



The dialog box titled "Insert/Edit the Row" contains the following fields:

- \* Primary Cycle Time (minutes): 60
- \* Secondary Cycle Time (minutes): 10
- \* Batch Size (records): 1000
- \* Write Performance Data: No

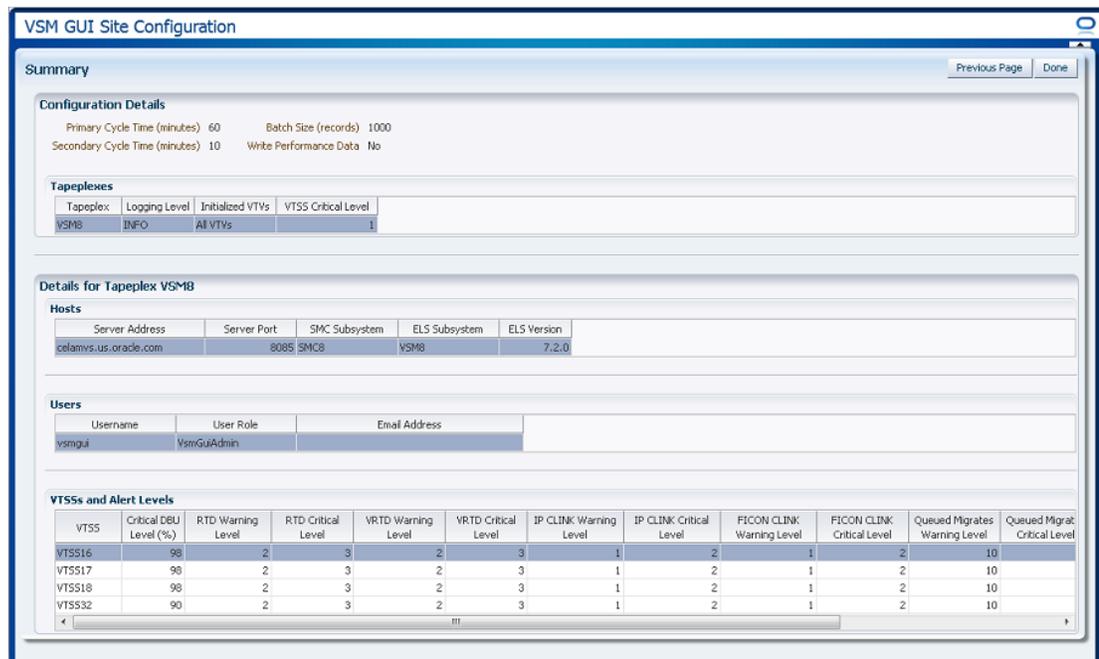
Buttons: OK, Cancel

編集する設定を変更します。

「OK」をクリックして修正されたデータを入力するか、または「Cancel」をクリックしてダイアログを終了します。エンタリは「OK」をクリックすると、構成に入力されます。

「Configure Properties」を完了したら、「Next Page」をクリックして「Summary」ページを表示するか、または「Previous Page」をクリックして Site Configuration Wizard を 1 ページ戻ります。

## サイト構成のサマリーの確認



The Summary page displays the following configuration details:

**Configuration Details**

Primary Cycle Time (minutes) 60    Batch Size (records) 1000  
 Secondary Cycle Time (minutes) 10    Write Performance Data No

**Tapeplexes**

Tapeplex	Logging Level	Initialized VTs	VTSS Critical Level
VSM8	INFO	All VTs	1

**Details for Tapeplex VSM8**

**Hosts**

Server Address	Server Port	SMC Subsystem	ELS Subsystem	ELS Version
celamvs.us.oracle.com	8085	SMC8	VSM8	7.2.0

**Users**

Username	User Role	Email Address
ysmgd	VsmGuAdmin	

**VTSSs and Alert Levels**

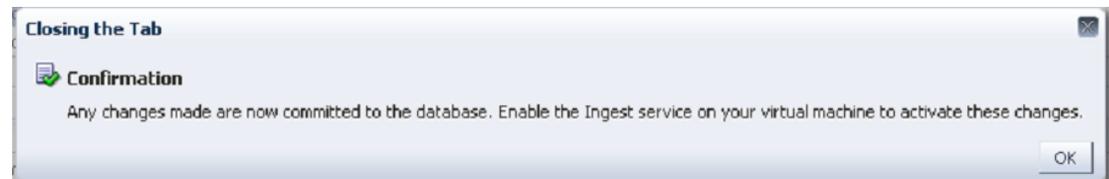
VTSS	Critical DBU Level (%)	RTD Warning Level	RTD Critical Level	VRTD Warning Level	VRTD Critical Level	IP CLINK Warning Level	IP CLINK Critical Level	FICON CLINK Warning Level	FICON CLINK Critical Level	Queued Migrates Warning Level	Queued Migrat Critical Level
VTSS16	98	2	3	2	3	1	2	1	2	2	10
VTSS17	98	2	3	2	3	1	2	1	2	2	10
VTSS18	98	2	3	2	3	1	2	1	2	2	10
VTSS32	90	2	3	2	3	1	2	1	2	2	10

「**Summary**」ページには、現在のサイト構成設定が一覧表示されます。

設定を確認して、それらが正確であることを確認します。

変更を行う必要がある場合は、「**Previous Page**」を使用して変更するページに戻ります。

終わったら、「**Done**」をクリックして Site Configuration Wizard を閉じます。ダイアログが表示されます。



「**OK**」をクリックして Site Configuration Wizard を終了します。

行われた変更はここでデータベースにコミットされます。

仮想マシン上の Ingest サービスを有効にして、これらの変更を有効にします。

## アプリケーションログ

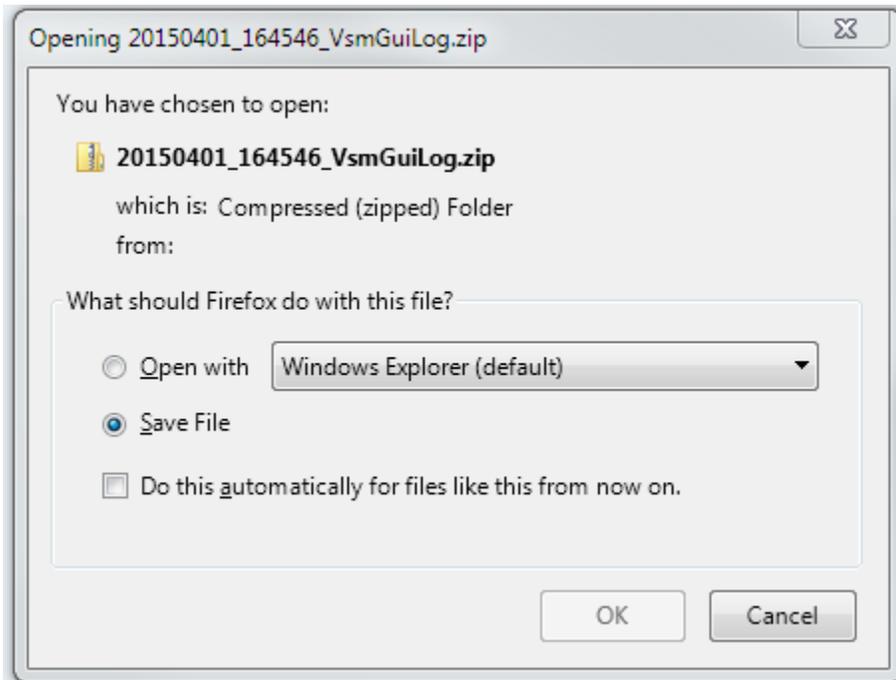
VSM GUI のアプリケーションログは、zip ファイルとしてコンピュータにダウンロードできます。

ナビゲーションツリーの「**Administration**」および「**Application Logs**」を選択します。



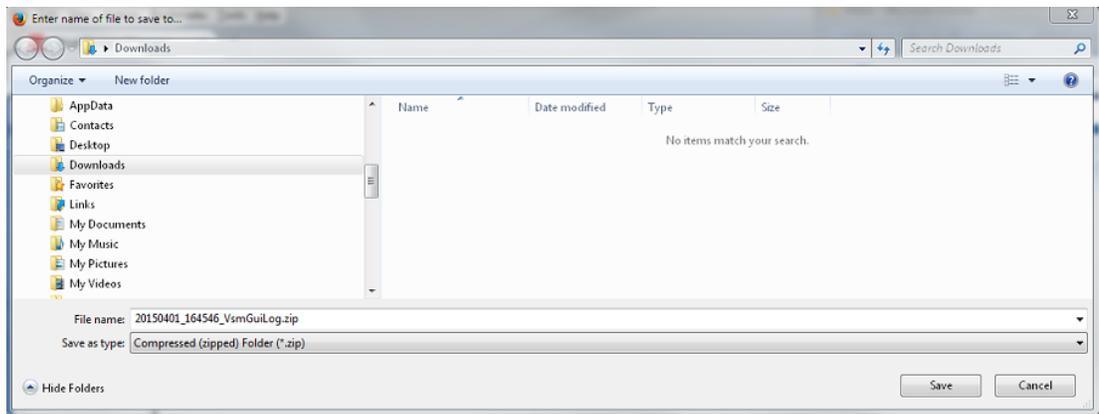
「**Download Logs**」をクリックしてプロセスを開始します。

ファイルを開くか保存するオプションのあるダイアログが表示されます。



「**Save File**」のオプションを選択し、「**OK**」をクリックします。

保存するファイルの名前を要求するダイアログが表示されます。



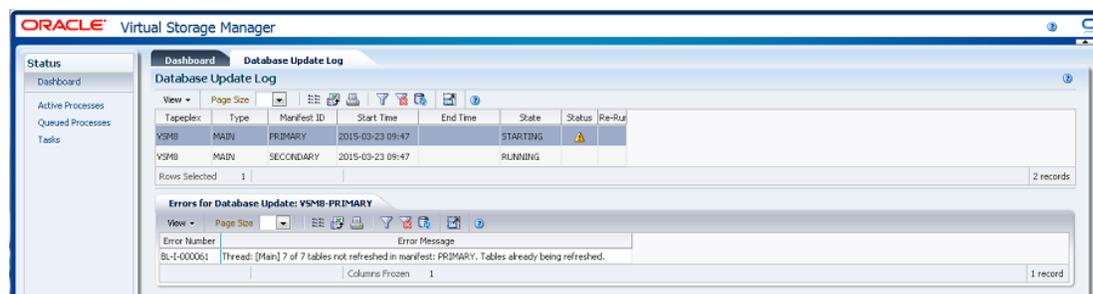
ダウンロードした zip ファイルを保存するファイル名とディレクトリを入力し、「**Save**」をクリックします。

zip ファイルの内容を抽出したりダウンロードしたアプリケーションログを表示したりするには、通常のアプリケーションを使用します。

## データベース更新ログ

データベース更新ログでは、VSM GUI データベースを更新するために実行されるプロセスの状態およびステータスの詳細、およびプロセスごとに生成されたエラーメッセージを表示します。

ナビゲーションツリーの「**Administration**」および「**Database Update Logs**」を選択します。



### データベース更新ログのデータ表

このデータ表は、VSM GUI データベース更新プロセスのステータスを表示します。

Tapeplex	Type	Manifest ID	Start Time	End Time	State	Status	Re-Rui
VSMB	MAIN	PRIMARY	2015-03-23 09:47		STARTING	Warning	
VSMB	MAIN	SECONDARY	2015-03-23 09:47		RUNNING		

エラーが発生した場合、「**Status**」フィールドにはステータスインジケータが含まれます。

ステータスインジケータが表示されている場合は、その行を選択して、「[データベース更新のエラー](#)」データ表にそのデータベース更新プロセスに関するエラー情報を表示します。

アイコン	名前	説明
	Warning	エラーが発生した可能性があることを示します
	Critical	クリティカルなエラーが発生したことを示します
	Unknown	ステータスを検出できなかったことを示します

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

コンテキストメニューインジケータのあるフィールドでは、特定のデータ項目で管理コマンドを開始できます。フィールドを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、目的のメニュー項目を選択します。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Tapeplex	データベース更新プロセスが実行された TapePlex
Type	データベース更新タイプ
Manifest ID	データベース更新プロセスのマニフェスト ID
Start Time	データベース更新プロセスが開始された日付および時間
End Time	データベース更新プロセスが終了した日付と時間
State	データベース更新プロセスの状態
Status	データベース更新プロセスのステータスインジケータ
Re-Run	対応するコマンドリフレッシュ更新を再起動できるようにします。これらの更新は自動的に実行されるため、これは PRIMARY および SECONDARY マニフェストには使用できません。

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「Page」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

## データベース更新のエラー

このデータ表は、エラーのある選択されたデータベース更新プロセスのエラー番号とエラーメッセージを表示します。



Error Number	Error Message
BL-1-000061	Thread: [Man] 7 of 7 tables not refreshed in manifest: PRIMARY. Tables already being refreshed.

任意の列ヘッダーの矢印をクリックして、データ表をその列の昇順または降順でソートします。

個々のデータ列のデータをフィルタして、特定の情報をさらに探し出すこともできます。この機能については、[付録A「フィルタの使用」](#)を参照してください。

テーブルの列および説明は次のとおりです。

列	説明
Error Number	選択されたデータベース更新プロセスのエラー番号
Error Message	選択されたデータベース更新プロセスのエラーメッセージ

「**Columns Hidden**」は、表で表示されていない列の数を示します。これらは、「**View**」メニューを使用して表示されます。

「**Columns Frozen**」は、水平方向のスクロールバーを動かしたときに固定される左側の列の数を示します。青色の縦線がこれらの列をほかと区切ります。

「**View**」メニューを使用して、次の操作を実行します。

「View」のオプション	説明
Scroll Table	スクロール機能を有効または無効にします。
Columns	すべてまたは選択した列を表示し、非表示/表示ステータスを管理します
Detach	表を別のウィンドウで表示します
Sort	列を昇順または降順でソートします
Reorder Columns	表示列の列シーケンスを選択します

「**Page Size**」メニューを使用して、データ表ページに含める行の数を指定します。

複数のページがある場合は、表の最下部にある「**Page**」機能を使用してそれらの間を移動します。ページ番号を入力または選択するか、または矢印ボタンを使用してページのリストを前後に移動します。

表の上のアイコンをクリックして、次の操作を実行します。

アイコン	名前	説明
	Selected Row Data	選択した行のデータを表示します
	Export to Excel	すべての行を Excel スプレッドシートにエクスポートします
	Print	出力可能なページとして表示します
	Filter	<a href="#">付録A「フィルタの使用」</a> を参照してください
	Reset Filter	データフィルタをリセットします
	Refresh	VSM GUI データベースからのデータをリフレッシュします

---

アイコン	名前	説明
	Detach	別のウィンドウで表示します
	Help	VSM GUI のヘルプを表示します
	Close All Tabs	すべてのタブを閉じて、「Dashboard」のみを表示します

---



# 付録A

## 付録A フィルタの使用

特定タイプの情報をさらに探し出すために、フィルタを VSM GUI データ表に適用できます。

データ表の上にあるツールバーの「**Filter**」および「**Reset Filter**」アイコンは、次のフィルタを制御します。

アイコン	名前	説明
	Filter	データをフィルタします
	Reset filter	データフィルタをリセットします

「**Filter**」アイコンをクリックすると、「**Filter Table**」ダイアログが表示されます。



すべてのフィルタリング条件に一致する場合のみ含まれる候補を表示する場合は、「**Match All**」をクリックします。

任意のフィルタリング条件に一致する場合に含まれる候補を表示する場合は、「**Match Any**」をクリックします。

表示されるデータフィールドの1つ以上にフィルタリング条件を入力します。

---

**注記:**

デフォルトでは、フィルタリングは指定されたフィルタリング条件が含まれているデータフィールドを識別します。より複雑なフィルタリングの場合は、「**Advanced**」ボタンで代替のフィルタリング演算子のリストのダイアログを開きます。

---

選択されたフィルタでデータ表を更新するには、「**Apply**」をクリックします。

フィルタをクリアして新規条件を入力するには、「**Reset**」をクリックします。

「**OK**」をクリックして、ダイアログを閉じます。

フィルタリングされていない表を再表示するには、表の上にあるツールバーの「**Reset Filter**」アイコンをクリックします。

より複雑なフィルタリングの場合は、ダイアログの「**Advanced**」ボタンをクリックします。

フィルタリングするデータ列ごとに次のいずれかの演算子を選択します。

- 「Starts with」：このエントリで始まる項目だけを含みます
- 「Ends with」：このエントリで終わる項目だけを含みます
- 「Equals」：このエントリと同一の項目だけを含みます
- 「Does not equal」：このエントリとまったく同一ではない項目だけを含みます
- 「Less than」：このエントリよりも小さい項目だけを含みます
- 「Less than or equal to」：このエントリ以下の項目だけを含みます
- 「Greater than or equal to」：このエントリより大きい項目だけを含みます
- 「Greater than or equal to」：このエントリ以上の項目だけを含みます
- 「Between」：このエントリの間にある項目だけを含みます
- 「Not between」：このエントリの間がない項目だけを含みます
- 「Contains」：このエントリを含む項目だけを含みます
- 「Does not contain」：このエントリを含まない項目だけを含みます
- 「Is blank」：空白である項目だけを含みます
- 「Is not blank」：空白ではない項目だけを含みます

データフィールドにフィルタリング条件を入力します。

選択された演算子およびフィルタリング条件でデータ表を更新するには、「**Apply**」をクリックします。

---

追加のフィールドをダイアログに追加するには、「**Add Fields**」をクリックします。現在データ表内にはあるものの「**Filter Table**」ダイアログにはないフィールドのリストから選択します。

新規データフィールドにフィルタリング条件を入力します。

新規データフィールドでデータ表を更新するには、「**Apply**」をクリックします。

フィルタをクリアして別の条件を入力するには、「**Reset**」をクリックします。

前の「**Filter**」画面に戻るには、「**Basic**」をクリックします。

「**OK**」をクリックして、ダイアログを閉じます。

フィルタリングされていない表を再表示するには、表の上にあるツールバーの「**Reset Filter**」アイコンをクリックします。

---

## 付録B 問題の報告

VSM GUI の問題が発生した場合、Oracle に対してサービスリクエストをオープンします。

問題を説明して、可能な場合はスクリーンショットをサービスリクエストに添付します。

VSM GUI アプリケーションサーバーから診断ログを収集して、サービスリクエストに添付します。

診断ログを収集するには、VSM GUI アプリケーションサーバーの端末から次のコマンドを実行します。

```
vsmgui@vsmguisvr:~$ /opt/vsmgui/scripts/vsmGui_getlogs.sh
```

生成されたログファイルは /opt/vsmgui/logs/archive/ 内にあります。

例:

```
vsmgui@vsmguisvr:~$ /opt/vsmgui/scripts/vsmGui_getlogs.sh
```

```
[ Feb 6 14:01:11 INFO: vsmGui_getlogs.sh: stage log files... ]
```

```
[ Feb 6 14:01:12 INFO: vsmGui_getlogs.sh: tar log files... ]
```

```
[ Feb 6 14:01:17 INFO: vsmGui_getlogs.sh: VSMGUI_LOGS-020615_140112.tar.gz log file is available in /opt/vsmgui/log/archive ]
```



# 索引

...

構成データの形式, 71  
構成プロパティの編集, 258  
新規 TapePlex の追加, 241  
新規ホストの追加, 243  
製品配布媒体, 13  
対象読者, 9  
必要なサイトデータ, 21  
表記規則, 9  
問題の報告, 271

## あ

アクセシビリティ設定, 25  
アクティブなプロセスの取り消し, 47  
アプリケーションユーザーの構成, 246  
アプリケーションログ, 259

## さ

サイトの構成手順, 22  
サイト固有の初期構成, 20  
サイト構成タスク, 20  
サイト構成のサマリーの確認, 258

## た

データベース更新のエラー, 263  
データベース更新ログ, 261  
データベース更新ログのデータ表, 261  
データ取り込みプロセスの開始, 23  
デフォルト構成プロパティの編集, 257

## な

ナビゲーションツリー, 28

## は

はじめに, 13  
フィルタ, 267  
ホストの削除, 245  
ホストの編集, 244

## や

ユーザーの作成, 247  
ユーザーの削除, 248

ユーザーの編集, 248  
ユーザーロール, 21, 26  
ユーザーロールエントリの作成, 250  
ユーザーロールエントリの削除, 251  
ユーザーロールエントリの編集, 250  
ユーザー名, 21

## ら

ログオフ, 27

## A

「Active Processes」データ表, 42  
「Administration」メニュー, 237  
「Audit Output」データ表, 167  
Audit コマンド要求, 184  
Audit by MVC, 185  
Audit by VTSS, 188

## C

「CLINK for Cluster」データ表, 68  
「CLINK for VTSS」データ表, 132  
「CLINK Status」グラフ, 61  
「CLINK Usage」グラフ, 63  
「CLINKs」データ表, 58  
「Clusters for VTSS」データ表, 135  
「Clusters」データ表, 64  
Cancelled Processes, 180  
Cluster, 64  
Command Log, 165  
Configure Alert Levels, 251  
Configure Supported Tapeplexes, 239  
Create/Edit Alert Levels for VTSS, 254  
Create/Edit Host Data for Tapeplex, 243  
Create/Edit Tapeplex, 240  
Create/Edit Tapeplex Alert Levels, 252  
Create/Edit User Information, 246  
Create/Edit User Roles for User, 249

## D

「DBU Percentage for VTSS」グラフ, 147  
「Display」メニュー, 57  
「Drive Allocation」グラフ, 83  
「Drive Paths for VTSS」データ表, 139  
「Drive Requests Queued」グラフ, 84  
「Drive Status」グラフ, 82

---

「Drives (RTDs and vRTDs)」データ表, 75  
「Drives (vRTDs) for VLE」データ表, 116

Dashboard, 31  
Display Cluster, 64  
Display Configuration, 71  
Display Drive, 74  
Display MVC, 86  
Display MVC Pools, 99  
Display VLE, 113  
Display VTD, 119  
Display VTSS, 128  
Display VTV, 148  
Drain by MVC, 191  
Drain by MVC Pool, 195  
Drain by Storage Class, 197  
Drive, 74

## E

「Electronic Exports」データ表, 178  
「Exceptions」データ表, 169

## F

「Features for VTSS」データ表, 141  
「Free MVCs」のグラフおよびデータ表, 38

## H

「Hosts for VTSS」データ表, 143

## M

「Management」メニュー, 165  
「MVC Pools」データ表, 100  
「MVC Results」データ表, 171  
「MVC Space Usage」グラフ, 98  
「MVC States in MVC Pool」グラフ, 109  
「MVC States」グラフ, 97  
「MVCs Containing VTV」データ表, 153  
「MVCs in Error」グラフ, 40  
「MVCs in MVC Pools」データ表, 103  
「MVCs」データ表, 86  
MVC, 86  
MVC Drain, 190  
MVC Pools, 99

## P

「Paths to Drive」データ表, 79

## Q

「Queued Processes」データ表, 47

## R

Reclaim コマンド要求, 198  
Reclaim by ACS, 207  
Reclaim by All MVCs, 199  
Reclaim by MVC, 200  
Reclaim by MVC Pool, 204  
Reclaim by Storage Class, 205  
Reconcile コマンド要求, 208  
Reconcile by All MVCs, 209  
Reconcile by MVC, 216  
Reconcile by Storage Class, 225

## S

「Sizes in MVC Pool」グラフ, 112  
「Status」データ表, 32  
「Status」メニュー, 31  
Site Configuration, 237

## T

「Tapeplex Results」データ表, 173  
「Tasks」データ表, 53  
TapePlex の VTSS Critical Level アラートの編集, 253  
TapePlex のアラートの取り消し, 253  
TapePlex の削除, 242  
TapePlex の新規 VTSS アラートの追加, 255  
TapePlex の新規 VTSS Critical Level アラートの追加, 253  
Tapeplex の編集, 241

## V

「Vary Output」データ表, 179  
「Virtual Library Extension (VLE)」データ表, 114  
「Virtual Tape Drives (VTDs)」データ表, 120  
「Virtual Tape Storage Subsystem (VTSS)」データ表, 129  
「Virtual Tape Volumes (VTVs)」データ表, 149  
「Volumes in MVC Pool」グラフ, 111  
「VTDs in VTSS」データ表, 145  
「VTV Compression」グラフ, 161  
「VTV Counts」グラフ, 36, 162

---

「VTV on MVC」データ表, 92  
「VTV Results」データ表, 176  
「VTV States」グラフ, 159  
「VTVs Moved」データ表, 174  
Vary コマンド要求, 233  
Vary by CLINK, 234  
Vary by RTD, 234  
Vary by VTSS, 236  
VLE, 113  
VM システムの OS/ソフトウェアスタックの詳細, 14  
VM システムの構成, 17  
VM ソフトウェアのバージョン, 13  
VM リソースの要件, 13  
VMware 環境用の VM システムの配備, 15  
VSM GUI ソフトウェアのダウンロード, 14  
VSM GUI の初期表示, 27  
VSM GUI へのログイン, 25  
VTD, 119  
VTSS, 128  
VTSS アラートの取り消し, 256  
VTSS アラートの編集, 256  
VTV, 148

---